# 2

# 建築と社会

## 特集●兵庫県―その風土と建築・建築界

社団法人 日本建築協会
昭和52年2月25日発行
毎月1回25日発行
昭和24年3月19日
第3種郵便物認可

1977
VOL.58
NO.659



ARCHITECTURE
AND
SOCIETY

日本建築協会

# 完全を求める二つの心から
# 一つの芸術品が生みだされた。



TOTOピエール・カルダン洗面化粧台。
美を創造するカルダンと、
機能を追求するTOTOの劇的な出会いから
生み出された世界に誇りうる
最高級の洗面化粧台です。

Pierre Cardin

TOTO
カルダン洗面化粧台

## ◀武庫川学院キャンパスを見る

昨年の甲南女子大学の見学に引きつづき、阪神間でも名声の高い武庫川学院のキャンパスを竹中工務店殿のご協力により見学することにいたしました。

武庫川学院は西宮市の東南に位置する全国有数の女子総合学院です。1965年、学院創立25周年の記念事業以来、学院のマスタープランにもとづき、着々と学舎が完成しております。

今回の見学の中心となる大講堂は創立35周年の記念事業の一つとして本年3月に竣工する予定です。

学院は有田系タイルを使用した第1学舎群と、常滑系タイルを使用した第2学舎群と、旧甲子園ホテルを改修した第3学舎にわかれており、各学舎ともタイルと木々の緑の調和のとれた女の園にふさわしいたたずまいをみせております。多数のご参加をお待ちいたします。

**日　　時**　2月25日(金)　集合13：45→解散16：30

**集合場所**　阪神電車・神戸線「鳴尾」駅・改札出口付近・目標会旗

〔参考〕集合所までの交通費は各自負担（大阪、神戸より運賃130円）

●大阪より…阪神電車急行に乗車（12分間隔発車）→ 尼崎で普通に乗り替えて4ツ目「鳴尾」下車（所要約30分）

**定　　員**　40名

**会　　費**　300円

**申込についてお願い**

- 雑誌発行が遅延いたしまして恐縮ながら今回に限り電話のお申込を受付けます。ただし、2月19日(土)限りといたしますので至急にお申込願います。
- 定員を超過した場合は抽せんにて決定し葉書でお知らせいたします。
- 申込先→建築協会事業課（TEL 06—231—9640・5936）へ氏名、勤務先名、連絡電話番号、返信用宛名、郵便番号を明確にTELして下さい。

**見学建物の概要**

**●公江記念図書館**（1968年竣工　B1F→3F　延 4,230㎡）

国道43号線の交通騒音に対する解決策として、書庫を周囲にめぐらし、内部に全階吹抜けの光庭をもつ閉鎖型の平面をとっている。書庫は30万冊の収容力をもち、視聴覚ライブラリー、マイクロフィルムリーダー室などの諸室を備え、開架書庫は必要に応じ、その範囲を伸縮して、蔵書数に応じて、閉架書庫への転用を可能にしている。

**●中央体育館**（1975年竣工　B1F→5F　延 7,150㎡）

25m・6コース温水プール、卓球室、ダンス室、道場、バレーボール・バスケットボールコート等の運動施設と体育系研究室、演習室、合宿室等の付属施設を5層に重ねた多層の体育館である。

**●大講堂**（1977年竣工予定　B1F→5F　延11,000㎡）

地上階に講堂、地下階に食堂、医務室等の厚生施設と機械室から成りたっている。講堂は固定席2,450席をもち、学院の年間行事にもとづき、式典、音楽会、講演会、映画会等の用途に充分な設備が計画されている。特に学院側（教職員・学生）で充分運営できるように、音響設備、照明設備、舞台装置などの簡略化、自動化と安全対策に配慮をはらっている。また、機械室は、このキャンパスの熱源の集中化と防災管理の集中化を計画している。

## ■「建築士手帳」紹介

大阪府建築士会の会勢渉外委員会（委員長：前野慶太郎）の企画で、建築士手帳編集委員会（委員長：本田勝実）の努力によって、このほど発行されたものである。

本書は、書名として「建築士必携」という名前もあがったように、建築士が日常、業務に直面して必要とするあらゆる事項を集約し、簡明に解説を加えた実務のチェックリストとして読者に利用していただくことを目的に、地域性を最大限に盛り込み編集している。

全体を三章にわけ、第一章法令では、士法をはじめ、難解とされている基準法等の図表化に努め、都計法、宅造法、消防法、建築関係法令、各種資格法（26種）等のエッセンス的なものをまとめ、第二章業務では、建築士の資格、業務のバックボーンをなすところの基本精神を遠く明治28年に発表されたフランスの建築士職責規程を掲げながら提唱したのをはじめ、工事監理、契約に係わる資料をとりあげ、第三章業務では、大阪府下全市町村及び近畿二府四県の関係諸官庁等の地図入り案内等を集約している。

このように、建築士の必携書として建築関係に携わる各位には好個の参考書になると考えます。

なお、申込等については、社名、担当者名、住所、電話番号、購入部数を明記し、代金を添えて、(社)大阪府建築士会建築士手帳係 〒541 東区博労町2-41 TEL 262-1861 へお申し込み下さい。

販売価格　1冊 600円(送料200円) 10冊以上一括申込の場合は5％割引

## ◀大阪府立成人病センター増築工事の見学会

大阪市東成区の森之宮の現成人病センターに隣接して建築中の成人病専門病院は、大阪府が下記建設趣旨のもとに2年有余の期間をかけて、がん・循環器疾患・脳血管疾患など、いわゆる成人病と呼ばれている難病を最高水準の設備と高度の技術により治療、研究していく機関として建設計画をされたもので、完成は府民の渇望するところである。

今回は特に、大阪府と共同企業体の多大のご厚意とご協力により見学することになりました。代表的な専門病院建築の見学に多数ご参加下さい。

**日　　時**　3月18日(金)　集合13：30→解散16：30

**集合場所**　成人病センター正門前路上・目標会旗

ただし、国鉄環状線「森之宮」・地下鉄中央線「森ノ宮」駅より東へ50m すぐ右側。

**定　　員**　50名

**会　　費**　300円

**申　　込**　往復はがきに限ります。はがきは1名に1枚限りとし、氏名・勤務先名・役職・連絡電話番号・返信用宛名・郵便番号を記入し、「成人病センターの見学」と明記の上3月5日(土)までに建築協会事業課へ。定員を超過した場合は抽せんにて決定してご通知いたします。

**●建設理由**

国民の死亡順位の上位を占めていた結核、肺炎、腸炎などの感染性疾患は戦後の予防対策の推進と医学、薬学の進歩、生活水準の向上などによって激減し、かわって的確な予防治療法の未だ十分でない脳血管疾患(脳卒中)、悪性新生物(がん)心疾患など成人病による死亡が上昇の一途をたどり、いまや総死亡の約50%は成人病によって占められている状況にある。

今後予測される人口構造の高齢化により、成人病死亡は絶対的にも相対的にも増大するものと思われ、国民の保健衛生上もっとも重要視すべき問題となって来た。

このような状況に対処して大阪府では成人病専門病床の不足に応え、あわせて成人病に関する医療水準の向上を図るために総合的な自動化システムによる成人病専門病院を建設することとした。

**●基本方針**

1. 成人病専門病院として、がん、循環器疾患を主対象として特に一般医療機関で取り扱い難い高度の技術を必要とする症例の治療を行う。
2. ベッド数は概数「がん」部門300床、循環器部門150床、その他成人病50床とする。
3. 高度の機能を有する重症患者監視治療室(I.C.U)、心筋硬塞治療室(C.C.U)、脳卒中特殊治療室(N.C.U)、無菌治療室、心臓、脳用特殊手術室、放射線治療室(リニアック、ベータートロン)およびRI治療室を整備する。
4. 心臓外科、脳外科、脳循環内科、食道外科などを整備する。
5. 新しい治療技術の開発に関する研究、研修施設を整備する。
6. 現成人病センターの診断、検査能力は落とすことなく、新設する病院に必要な検査および診断施設は新たに整備する。
7. 新病院と現成人病センターは相互に設備の重複をさけ、有機的に運営されるよう配慮する。
8. コンピューターなどの導入により、病院の機能をできる限り自動化し、診療の高度化、患者サービスの向上および各部門における省力化をはかる。

**●工事概要**

| | |
|---|---|
| 建築主 | 大阪府 |
| 建築地 | 大阪市東成区中道1丁目 |
| 基本設計 | 建築計画総合研究所（吉武・浦先生グループ） |
| 実施設計 | 大阪府建築部営繕計画課、工事課、設備課<br>建築計画総合研究所<br>双星社竹腰建築事務所 共同体<br>(株)新日本設備計画 |
| 監理 | 大阪府建築部営繕工事課<br>財団法人大阪府建設監理協会 |
| 施工 | (株)鴻池組、(株)竹中工務店　共同企業体 |
| 敷地面積 | 33,015.24㎡ |
| 建物概要 | SRC造　地下1F、地上12F、塔屋2F<br>建築面積　6,738.47㎡<br>〃 延面積　37,545.09㎡ |
| 工期 | 自 昭和49年10月 → 至 昭和52年1月末 |
| 見学時の状況 | 建物は完成、病院開設準備中 |

「建築材料を見る」

## ◀——ステンドグラスの世界——

教会建築の象徴芸術として、私たちが見慣れているステンドグラスには千年の歴史があり、その間、工法の変遷もいろいろあったと思われます。

今回は鉛のリボンで色彩ガラスを結合していく伝統的な工法をやっておられる浅井惇介氏（レッド工房）のご厚意により、ステンドグラスの製造過程の実演を交じえて講演をお願いすることにいたしました。

なお、氏などの制作されたステンドグラスのある北浜教会の見学も行います。

ステンドグラスの世界を知る恰好の機会と思われます。多数ご参加をお待ちしています。

**日　　時**　3月12日(土)集合13：30→解散17：00

**会　　場**　関西電力(株)大阪南サービスセンター・1階集会室
（大阪市南区難波新地6番丁6－4　難波センタービル1階）
電話 06－631－3333
ただし、地下鉄・御堂筋線「難波」駅下車→高島屋百貨店の東側、筋向い

**講　　師**　浅井惇介氏
上尾重之氏　（ステンドグラス企画製作・レッド工房）

**定　　員**　40名

**会　　費**　500円（資料代・その他、当日受付でいただきます。）

**スケジュール**

13：30→15：30　講演（ステンドグラスの製作工程他）

16：00→16：40　作品の見学（北浜教会＝東区北浜5丁目）
なお見学場所への移動は地下鉄を利用いたします。
運賃80円は各自負担のこと。

**申　　込**　往復はがきに限ります。はがきは1名に1枚限りとし、氏名・勤務先名・年令・連絡電話番号・返信用宛名・郵便番号を記入し、「ステンドグラスの世界」と明記の上3月3日(木)までに建築協会事業課へ。

なお、製作工程の実演など企画の都合上40名（定員）以上はお断りいたしますからご了承の上なるべく早くお申し込み願います。



上記作品は堂本印象画伯の作図によるもので浅井氏などの製作です。

上記2ツの会場は関西電力(株)殿のご厚意とご協力により大阪南サービスセンター集会室を拝借いたします。同センターの1階フロアは関西電力の実験展示コーナーなどのショールームになっておりますので、自由にご観覧下さい。

建築家に話を聞く(5)

## ◀漆原美代子のインテリア・アーキテクチュア…

昭和30～35年、交換学生として米国留学。ミシシッピー大学にて建築学及び家政学を専攻。その後ニューヨーク市のプラットインスチチュートオヴアートで室内建築を専攻。
昭和35年～45年、ジョージ・ネルソン設計事務所を経て鹿島建設、設計部嘱託。多摩美大講師。
現在、フリーランスデザイナー、美術評論家協会会員。
- 主要作品—38年、リッカー本社ビル設計に参画（日本建築学会賞）鹿島研究所、香川県五色台国民宿舎、その他。
- 主要著書—「インテリア・デザイン」彰国社、「環境をつくる」ポプラ社、「インテリアアーキテクチャー」彰国社（翻訳）その他。



漆原美代子氏

若い会員の集いでは「建築家に話を聞く」シリーズを企画してきましたが、今回は now で beautiful、かつ unique な作品を世に送り出され、新風を巻き起こされている、皆さまよくご存じの若くて美しい異色の女性デザイナー、漆原美代子さんを大阪にお招きし、ご自身の作品、デザイン論を中心に、つくり方、考え方、さらには生き方など……集まった人達と一緒に、自由に楽しく語り合いが出来る場を設けてみました。

ジャーナリズムで話題のデザイナー漆原さんを囲んで、早春の土曜日の午後のひとときを楽しく語り合いましょう。

会員の皆さまのご来場をお待ちします。

**日　　時**　3月26日(土)開場13：00
開会13：30→閉会17：00

**会　　場**　関西電力(株)大阪南サービスセンター・1階集会室
（大阪市南区難波新地6番丁6－4　難波センタービル1階）
電話 06－631－3333
ただし、地下鉄・御堂筋線「難波」駅下車→高島屋百貨店の東側、筋向い

**ゲ ス ト**　漆原美代子氏（漆原美代子事務所　主宰）

**定　　員**　70名

**会　　費**　500円（当日の諸費用、受付でいただきます。）

**申　　込**　往復はがきに限ります。はがきは1名に1枚限りとし、氏名・勤務先名・年令・連絡電話番号・郵便番号を記入し、「漆原美代子に聞く」と明記の上3月10日(木)までに建築協会事業課へ。ただし定員を超過したときは抽せんにて決定の上お知らせします。
なお、会場の都合上当日受付はお断りいたします。

## ■日本建築協会の展示窓紹介

本誌1月号の作品欄でもご紹介いたしましたが、今回は昨年11月、大阪駅前地区に新しく業務商業センターとして誕生した『大阪駅前第2ビル』をご紹介いたします。

周知のように、このビルは大阪市が計画している「大阪駅前市街地改造事業」の第二弾として建設されたもので、機能性と多様性を追求した総合ビルディングとして水準の高い安全設計がなされており、都市の高度利用と不燃化による新しい街づくりの指標として注目されています。地上16階・塔屋3階の外観は「第1ビル」を基調としたデザインで構成されており、地下2階には吹抜けのある噴水広場を、1階中央部には三層吹抜けの光庭広場を設け、飲食店・洋品雑貨専門店などを収容するとともに、人々のにぎわいと憩の場となっています。

ショーケースには、ご覧のように再開発事業着手直前（昭和36年当時）の駅前地区と「第2ビル」完成時の航空写真および外観写真などを展示いたしました。

なお、常設展示場は昨年10月下旬に展示しました『街を緑に・第6回』から、下記のところに移転いたしましたのでお知らせいたします。

第34回展示写真『大阪駅前第2ビル』
▶展示期間　昭和51年12月25日より2ケ月間
▶展示場所　京阪電鉄　地下通路北浜寄り南側ショーケース
**※従来の場所より約20m 北浜寄りに移動**



日本建築協会法規委員会

# 法令コーナー

質疑などの投稿をお待ちしております。

## 111
## 開発指導要綱等の一覧表（その1）

近年の都市化現象における人口の急増と宅地の乱開発によって、居住環境の悪化や交通問題、自然環境の破壊等、種々の問題を引き起こすこととなったので、市町村においてはこれらの無計画なミニ開発に対する対策として、宅地開発指導要綱により、宅地開発と公共施設との関連性に対する規制策として、指導強化を行っているところである。
大阪府下各市町村の宅地開発指導要綱の概要をつぎのように一覧表としてまとめたので、建築確認申請等の参考に供されたい。
なお、紙数の都合により、3回に分割して掲載することを、ご了承願いたい。

（大阪府建築部建築指導課　**西尾宗晴**）

凡例　※…別に規定がある　○…公益負担を要する　　昭和51年11月末現在調べ

| 市町村名（担当課名） | 要綱名 | 施行年月日 | 適用範囲 | 一宅地規模 | 公園、緑地、広場 | 公益施設の負担 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 能勢町（企画室） | | | | | | | 能勢町土地開発行為に関する条例あり。 |
| 池田市（開発課） | 池田市住宅建設等指導要綱 | 51. 4. 1 | | 第1種住居専用地域 120m²<br>その他の地域 75m²<br>※ | | ○ | 3階以上。10m以上。<br>事前公開。標識設置。<br>日照、電波障害等。<br>住民同意。<br>池田市民の住環境をまもる条例あり。 |
| 箕面市（建築課） | 箕面市開発許可に関する指導要綱 | 47. 11. 1 | 1,000m²以上<br>1戸以上<br>※ | 75m²<br>※ | 3,000m²以上<br>3パーセント<br>※ | ○ | 日照時間の規制。 |
| 豊中市（開発指導課） | 豊中市開発指導要綱 | 51. 8. 16 | 1,000m²以上<br>10戸以上<br>※ | | | ○ | 豊中市環境保全条例あり。 |
| 吹田市（開発指導課） | 吹田市住宅建設等に関連する公共施設等整備要綱 | 47. 11. 1 | 1,000m²以上<br>30戸以上<br>※ | | 2,000m²以上<br>3パーセント | ○ | 10m以上。標識設置。<br>日照、電波障害等。<br>吹田市民の環境をよくする条例あり。 |
| 茨木市（開発課） | 茨木市開発協議基準 | 47. 10. 1 | 1,000m²以上<br>※ | 第1種住居専用地域 150m²<br>第2種住居専用地域 100m²<br>住居、準工業地域 75m²<br>※ | 3,000m²以上<br>3パーセント<br>※ | ○ | 茨木市建築確認申請取扱指導要綱あり。 |
| 高槻市（指導課） | 高槻市宅地等開発に関する指導要綱 | 48. 10. 1 | 1,000m²以上<br>20戸以上<br>※ | 第1種住居専用地域 150m²<br>第2種住居専用地域 100m²<br>住居地域及びその他の地域 70m²<br>※ | 3パーセント<br>※ | ○ | 2ヘクタール以上の低層住宅建築協定締結。<br>高槻市中高層建築物の建築に伴う日照確保等に関する指導要綱あり。 |
| 摂津市（建築課） | 摂津市開発協議基準 | 48. 4. 1 | 300m²以上<br>1戸以上 | 70m² | 3,000m²以上<br>3パーセント | ○ | |
| 島本町（建築開発課） | 島本町宅地開発等に関する指導要綱 | 48. 4. 1 | 300m²以上<br>※ | 100m²<br>※ | ※ | ○ | 中高層住宅。標識設置。<br>日影規制。電波障害等。 |
| 枚方市（開発指導課） | 枚方市宅地等開発行為に関する指導要綱 | 46. 6. 1 | 1,000m²以上<br>※ | | 3,000m²以上<br>3パーセント | ○ | 枚方市生活環境条例あり。 |
| 寝屋川市（開発指導課） | 寝屋川市開発指導要綱 | 48. 4. 1 | 1,000m²以上<br>※ | | 3,000m²以上<br>3パーセント<br>※ | ○ | |

## 建築確認申請前の関係法令の下見について（その2）

本誌1月号に引き続き、建築確認申請前の関係法令について、所管行政機関の下見、副申、協議等の主な内容と大阪府下の取り扱い窓口の一覧表を掲載します。（大阪市建築指導部 **西川幸之輔・松本好雄**）

### 2．建築物の用途・規模に関するもの

| 種類 | 規制の概要 | 担当部局 |
|---|---|---|
| 物品販売業を営む店舗<br>百貨店<br>（**大規模小売店舗における小売業の事業活動の調整に関する法律**） | 店舗面積の合計 1,500m² 以上<br>（大阪市内は 3,000m² 以上）<br>表示と届出が必要 | ●大阪府下<br>（市町村経由）<br>大阪府商工部商業課<br>●大阪市内<br>大阪市経済局商工課 |
| 風俗営業店舗（**風俗営業取締法**） | 建築確認申請前に公安委員会においてその位置（立地条件）および平面計画等について審査を受ける必要がある。 | 公安委員会<br>（所轄警察署および府警本部防犯部保安課） |

| 種類 | 規制の概要 | 担当部局 |
|---|---|---|
| 公衆浴場（**公衆浴場法**） | 1．構造（特に衛生設備）に関しての基準<br>2．公衆浴場の建築が禁止されている基準<br>他の浴場との間隔<br>(1)市の区域では 200m 以内<br>(2)その他の区域では 250m 以内 | ●大阪府下<br>大阪府衛生部環境衛生課<br>●大阪市内<br>大阪市環境保健局環境衛生課 |
| 危険物貯蔵取扱いを行う建築物 | | ●大阪市内のみ<br>所轄消防署 |
| 超高層建築物 | 高さが50m をこえる建築物<br>高さが31m をこえて50m 以下の建物 | 建設省<br>（各特定行政庁経由）<br>日本総合試験所<br>（各特定行政庁経由） |

| 種類 | 規制の概要 | 担当部局 |
|---|---|---|
| 工場（**工場立地法**） | 1．適用対象業種<br>全製造業（含む加工、修理）<br>電気・ガス・熱供給業<br>2．特定工場<br>敷地面積 9,000m² 以上<br>建築面積の合計 3,000m² 以上<br>3．手続　届出が必要 | |
| 工場・作業所（**公害基本法・大阪府公害防止条例**） | 新築・増築のいずれの場合でも、それぞれの設置基準に適合しなければならない。 | ●大阪市<br>（南港区のみ）<br>環境保健局規制課<br>●東大阪市・枚方市<br>公害規制課 |
| 1日の処理水 50t 以上、500人槽以上の浄化槽の設置（**瀬戸内海環境保全臨時措置法**） | 特定施設設置に関する許可申請 | ●大阪府下<br>（市町村経由）<br>大阪府生活環境部水質課<br>●大阪市<br>大阪市環境保健局規制課 |

日本建築協会建材委員会

# 新建材紹介コーナー

《新建材紹介 No. 19》

## 外装仕上材『バンタイル』

株式会社 梅 彦
本社：〒530 大阪市北区道本町40 TEL 06-312-6171
工場：〒567 大阪府茨木市清水246 TEL 0726-43-5185

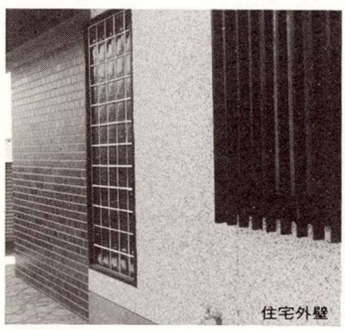
昨今、建築物の外部仕上材として無機・有機質の吹付材および左官仕上材が非常に多く出廻っているが、テクスチャーについては画一的でマンネリ化している感がある。ここに紹介する株式会社梅彦の製品『バンタイル』は防水性、耐候性などの機能上の要求性能の優秀さに加えて他商品にない独特のテクスチャーをもっている。さらに、材料構成に基づく性能として下地、躯体の亀裂が仕上材の表面にまで現われてこないという、外部仕上材として重要な特性を兼ね備えている。

### ■ テクスチャー

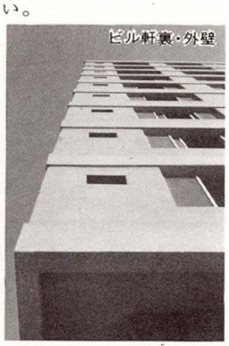
天然石洗い出し風でテラゾー的感覚が得られ、独特の骨材でユニークで斬新な豪華さが表現できる。

### ■ 主用途

一般住宅外壁、中高層ビル外壁、コンクリート塀、ブロック塀。


住宅外壁


塀


ビル軒裏・外壁

### ■ 特 長

1) 伸縮性

鱗片状のチップ（粘土と合成樹脂の混合物を焼成して破砕したもの）を合成樹脂バインダーと水で練り、これをコテで層状に塗り上げるので材料自体に弾性を有し、下地の亀裂に追従して伸縮し仕上表面に影響が出ない（下地のヘヤークラック程度なら絶対に仕上表面に現われない）。

2) 防水性

耐水性、耐湿性にすぐれ防水効果も大きい。

3) 軽量性

石材的重厚感のある仕上り面をもっているにもかかわらず軽量である。

（標準厚さ1.5mmの仕上り重量0.87kg/m²）

4) 施工の容易性

a)コテ塗り仕上げの左官材料なので吹付材のような養生が不要であり、周辺に飛び散って汚すようなこともない。

b)一度塗りで多彩色模様を描き得る。

c)工期も短い。（60m²/1人・日）

### ■ 塗膜としての諸性能試験成績表

| 試験項目 | 試験結果 | 試験基準 |
|---|---|---|
| 耐水性 | 7日間異状なし | JISA6909 96日間浸漬 |
| 耐アルカリ性 | 7日間異状なし | JISA6909 水酸化カルシウム飽和溶液 48時間浸漬 |
| 付着強さ 標準状態 | 8.4kg/cm² | JISA6910 7kg/cm² |
| 付着強さ 浸水後 | 6.3kg/cm² | JISA6910 5kg/cm² |
| 耐摩耗性 | 1,000回異状なし | JISA6909 外装 500回 |
| 耐候性 | 1,000時間異状なし | ウェザーメーター 250時間照射後はがれ、ひび割れ、変色、つやがいちぢるしく低下しないこと。 |
| 防火性 | 難燃2級 | JIS 1321による |
| 保水率 | 98.7% | JIS 6908 60%以上 |

### ■ 工事標準仕様

1) 下 地

モルタル、コンクリート、PC板、ALC板など。尚、錆の出る下地には直接施工できないのでスチールサッシ、ラス頭などには十分な防せい塗装を行うこと。

2) 施工ポイント

a)気温が0℃以下の日、雨天の日は施工しない。

b)厚塗りをすると乾燥が遅くなり、乾燥期間中に雨水が材料中に浸透するような事故の原因を作るので仕上り厚さで2mm以下となるように施工する。

c)乾燥期間として一般的に夏で約1日、冬で約2日間必要である。

建材委員／原 尚弘（クラレエンジニアリング(株) 建築課長）

《新建材紹介 No. 20》

## 流し延べ施工用石膏系床下地材『USジプコン』

サンエス石膏株式会社
本社：〒530 大阪市北区堂島北町20(藤田ビル本館) TEL 06-344-6526～6529
東京：〒160 東京都新宿区東大久保1－331 TEL 03-202-6464・0396

最近のコンクリート床版の仕上げ下地は、打込まれたコンクリートを直接金ごて仕上げするモノリシック工法が採用されることが多い。この工法は仕上げた床面が作業床になるので損傷しやすいという難点がある。『USジプコン』はこの難点を解消する材料と思われる。

『USジプコン』は高強度・無収縮性・早硬安定性を有するアルファ石膏を主体とした粉末で、加水混練したスラリーをコンクリート床面に流し延べするだけで高精度の平たん性と早期高強度が得られるという、表面仕上直前に施工が可能なセルフレベリングタイプ床下地材である。

### ■ 特 長

1) 強度の発現が早く、24時間後には表面仕上げの施工が可能である。

2) スラリー状であるためセルフレベリング性に富み、平たん度の維持が容易である。

3) ポンプ圧送が容易に行え、大面積の施工が短時間に終了する。

4) 無収縮性であり、亀裂・うきの心配がない。

### ■ 施工法

1) 下地調整・墨出し

下地のほこり除去、スラブ貫通穴の穴埋めなどを行った後、下地の吸水調節のために合成樹脂系エマルジョンプライマーを塗布する。仕上高の表示は壁際に出した墨や床面に固定したレベル標示ピンで行う。

2) せき板のセット

施工区画割りはポンプ吐出量に応じて、せきを設けるが、通常15m²を1区画とする。せきはスラリーの硬化に応じて撤去する。

3) 混練

ジプコン1袋(25kg)に水7ℓを加え、ミキサーで攪拌して約15ℓのスラリーが得られる。

4) 流し込み

ミキサーで混練したスラリーをグラウトポンプで圧送し、トンボなどで延ばしながら所定レベルまで流し込む。

5) 養生

流し込み後1時間で硬化が始まり、4時間後には軽歩行可能となる。乾燥時間は最低24時間必要。

6) 表面仕上材の施工

貼り物、敷き物、塗り物(合成樹脂)などモルタル下地と同様に施工可能である。

### ■ 流し厚および使用量

厚さ15～50mmまで可能、使用量は15mm厚で1m²当りジプコン1袋(25kg)である。

### ■ ジプコンの物性

| 試験項目 | 測定値 | 備考 |
|---|---|---|
| 硬化体比重 | 1.9g/cm³ | |
| 硬化時間 | 1～1.5時間<br>3～4時間 | 始発<br>終結 |
| 圧縮強度 | 250kg/cm²<br>300 〃<br>450 〃 | 1日後<br>7日後<br>乾燥後 |
| 硬化膨張率 | 0.04% | コンクリート下地拘束状態 |
| 摩耗試験 | 85g | Ton Industrie 社(独) 摩耗試験機 |
| 衝撃試験 | 異状なし | 1.5kg鋼球1mの高さより落下20回 |
| 飽和吸水率 | 7% | |

### ■ 下地との接着強度

| 下地 | 処理方法 | 接着強度 |
|---|---|---|
| コンクリート | 酢ビ系プライマー(注)塗布 | 8kg/cm² |
| セメントモルタル | | 17kg/cm² |
| ALC | | 6kg/cm²以上 |

(注) NSハイフレックスHF-1000（日本化成(株)製）4倍液を使用。

### ■ 施工状況


▲手作業による流し込み


▼ポンプによる流し込み

建材委員／堀内成樹 ((株)松村組工務部研究室)

# 読者の頁

## 「アメリカあんどメキシコとびある記」

森田茂夫

ロスを昼すぎに飛びたつ。メキシコシティに向けて機上の人となったわけだが、この飛行機ではビールが無料であった。メキシコではビール（スペイン語でセレベサ）は水がわりなのであろう。機内はなんとなくローカル色があって、楽しいふんい気である。むろん何を話しているのかは全く理解できない。手引に書いているような会話は旅行者のみに通用することで、教科書通りには話してくれないわけである。

やがて機は、今回一番楽しみにしていたメキシコシティにつく。が、ここでトラブルにあう。友人のスーツバッグが出てこないので、税関で待ちつづける。お国がら何事もゆっくりで大変なことである。出てくればホテルか日航を通じて連絡してもらうようにし、タクシーで早々にダウンタウンにあるホリディ・インへ直行した。しかし、料金をかけあわずに乗ったため、倍近くを取られどうしようもない。もし、これから行かれる人は、必ず乗る前に交渉することが大事である。但し、日中の流しはメーターがあるのでだいじょうぶ。

メキシコシティはスモッグのひどい町である。そしてやはり貧しい国である。しかし、文化的には非常に興味深い所である。古いカテドウルや城などと近代的なビルが立ちならび、音楽好きな国民があちらこちらで集まり楽しむ。そしてレストランではゆっくり食事をし、お酒をチビチビのみながら話しに花を咲かせている。そんな生活の楽しみ方がうらやましく思われる。いつも感ずることだが、日本人の食事の楽しみ方というのはやはり独特であろう。

街のあちこちを歩いていて、わりと道がわかりにくい。道路が斜めに交差しているためであろうか。しかし、地図を片手に片道タクシーで行き、帰りは寄り道をしながら1～2時間歩く。そうして気にいった店があると飛びこんで、ハンドブック片手にねぎりながら買物をする。また、ひやかしたり、ウインドーショッピングをしたり、そのあいだに写真をバチバチとりまくる。カメラ、8ミリと両手はいっぱいになってしまうが、まあむこうの人にはバカな旅行者とみられようが、こちらは、そう行けるところでもないし、とれるだけとって記録に残したい気持でいっぱいだし、おみやげも買っておきたいというきわめて日本的な旅行になったのである。

やはり一番の見どころはカテドラム、そして、チャペルテペック城、シケイロスの壁画などで有名な自治大学、他にはタイルの家や公園などである。

警察官は一般に親切で、大体英語が話せ、なかには片言の日本語を話す人もいる。これはメキシコオリンピックの際、多くの国からの観光客受け入れのために訓練したらしい。いつも同じ街角であう交通警官は愛想よく毎回あいさつしてくれたし、おまけに地元の人の行く安いマーケットを教えてくれたりした。タクシーで行くと高いので、1ペソ（約25円）の市バスにのせ他の客にちゃんと目的地で教えてやってくれとたのんでくれたのである。そういう非常に純な所もあるのに、一番最初きたときのタクシーの運転手のようにぼったくる人もいる。観光客に高く値段をいうのは当然のような顔をしているが、反面は皆熱心なカトリック教徒である。このへんは日本人の信仰の観念と異なる気がする。食事はあまり大きなレストランには行かず、市民の行っているマーケットや大衆食堂にとびこんで、みんなと同じようなものを食べる。しかし、タコスひとつ注文しても通じずに困ってしまった。いろいろ種類が豊富なので結局、人が食べているものを見て、おいしそうなものを注文するといったぐあいであった。

たまに英語をしゃべれる人は、日本人などというのをあまり見かけられぬところなので、珍しそうに話しかけてくる。こちらもへたくそな英語にもならぬ英語で、結構、相方楽しくやってきた。しかし、何かにつけて言語というのは一番大切なことであると痛感するが、日本に帰ると、また勉強するのがおっくうになってしまう。ほとほと自分の不勉強を恥入るばかりである。

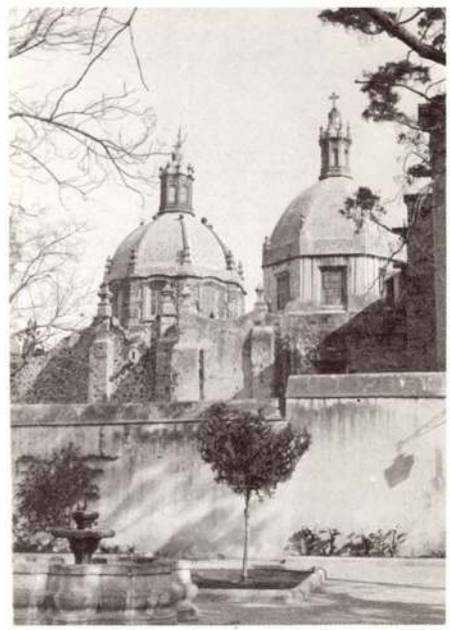
メキシコは非常に幅広く楽しめる国であり、音楽に興味ある人も、美術に興味のある人にも、十分満足のいく国だと思います。どこかへ行こうかと思っている方や、アメリカ西海岸へ行かれる方は、ぜひメキシコへ行かれることをおすすめする。

おみやげに、パンフレット類や、銅製品、銀製品、皮製品、衣類その他もろもろの物を買いこんで、こんどはアカプルコへ向かった。

（もりた　しげお　柴田石本建築事務所）



有名な「タイルの家」。古いモザイクがとても美しく見える。



教会の尖塔のモザイクが美しい。くずれかけた古い教会だが、何か心に残る。

〖私たちのグループ No. 5〗

## 『明治建築研究会』

—近代建築の遺産を未来へ—

昭和48年にルネサンス建築をまねたユニークな旧泉北郡浜寺町役場の建物（大正13年、RC造2階建、当時堺市役所浜寺出張所）が取りこわされる時、「明治、大正期の建築を守る会」が作られた。建物の実測、写真撮影、模型作成、建物の評価などをして、その建物の保存の必要性などを堺市、地元の人々などに訴えていったが、そのかいもなく取りこわされてしまった。これを機会にこれからも近代建築について勉強していこう、ということでその会を残し、その後名称を「明治建築研究会」に変えた。

定期的な活動というものはないが、今までには取りこわしの予想される建物があれば、それについてできるだけ多くの資料を集めて関係方面に配布した。また、近代建築に関する書物、新聞記事、写真の収集などもしている。どれも中途半端なものではあるが手元の資料で一応の調べはできるようにして、建物がその価値を十分知られないままに簡単に取りこわされないようにしなければと思っている。それらに対して「他者が無責任なことをするな」というきびしい声、また、「他から言ってくれるならもっと検討してみなければ」という声もあり、受けとめ方は様々である。

いずれにしても保存というものは大変むつかしい問題であり、数枚の資料で現状が変わるものとは思えないが、一時的にしろ取りこわしにブレーキがかかり、今まで何も知らなかった近代建築の価値について考えるようになることは事実である。あまり成果はないが、コツコツと資料を集めている。

去年から会員が分担してある小さな新聞に「よみがえる明治建築」を紹介している。一人でも多くの人に近代建築を知ってもらうために、人数は少なくともこのグループの灯は消さずにおきたい。現在進めているのは「旧天王貯水池正面アーチの門」（明治43年、煉瓦造、堺市）の実測調査である。将来は「明治建築ニュース」を発行したいと思っている。この小さなグループに皆々様の御指導をおねがいします。

文責　柴田正己



明治建築の見学会

# 建築と社会 ニュース

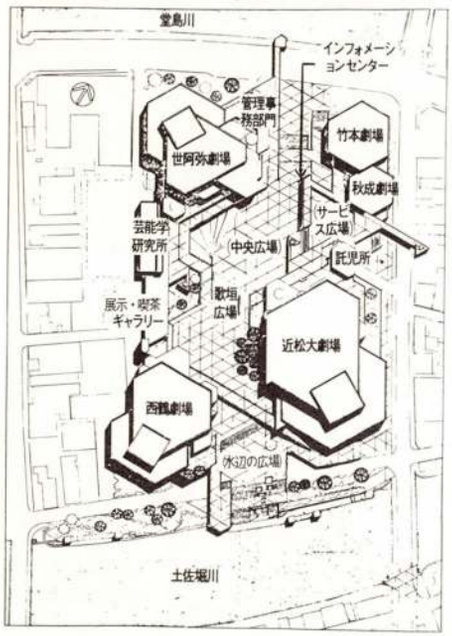
ニュース原稿をお送りください。

## 中之島芸能センター構想

**■基本的構想**

社団法人関西経済連合会（会長芦原義重）は、このほど大阪・中之島の元阪大跡地に建設する「中之島芸能センター」の構想を発表した。これは大阪に思いきった文化的投資を行い、西日本を中心とする国民全体に高度の文化を提供する役割を果すものとして構想された試案で、その基本構想は大阪の顔であり、すべての芸能について複合した施設であり、大阪の知的、情緒集約的産業の担い手としてのイメージ生産への刺激を与え、さらに市民自身のための空間でハレの舞台を提供することにある。

以上のような構想に基づいて四つのイメージ・モデル（1．屋上庭園、2．広場、3．高層廻廊、4．記念碑）が提起され、それぞれの長所を検討して、水辺のいこい、劇場公園、市民の舞台、囲まれた空間、開かれた眺め、自由な造形、芸能を語る廻廊、観客のたのしみ、解りやすい路順、ミナミからキタから、使いよい劇場などの諸要素を重視して、パイロット・プランが策定された。




**■パイロット・プラン**

五つの劇場を具体化するプロセスにおいて日本の劇場はもちろんのこと、世界の複合芸能センターの多くが検討の材料となった。近松大劇場、西鶴劇場、世阿弥劇場、竹本劇場、秋成劇場とよばれるそれらは、広場をとりかこみ、カフェテラス、みどり、噴水などの豊富な散歩道とギャラリーによって一体として連結される。

広場は土佐堀川の水面に接する水辺のいこいの広場、野外劇場でもある中央広場、そして堂島川ぞいの正面入口と、地下鉄肥後橋からの既存アプローチのまじわるところにインフォメーションセンター、託児所などのあるサービス広場との三つがあり、これをとりまとめて歌垣の広場と称することになる。

劇場をつなぐデッキの下は観客が雨にぬれず、炎天にすずしいアプローチを提供し、同時に、芸能資料の展示、フリーコンサートの場となることができる。デッキの上は低い灌木と背の高い落葉樹の木陰があり、各劇場のレストラン、カフェテラスのにぎわいを見通すことができる。さらに劇場ロビーの一部を渡り廊下で通りぬけながら劇場内をかいまみることもできる。広場で夏の夜のたそがれコンサートが開かれるとき、デッキは客席としての役目を果すことになる。

近松大劇場は本格的オペラの上演を可能とする。

西鶴劇場は交通の少ない土佐堀川ぞいに配され、外部騒音の完全にない本格的コンサートホールとして使うことができる。世阿弥劇場は多目的ホールとしてあらゆる利用に対応できるが、西鶴劇場もこれと同じ性能をもっていて、ロング・ランの公演が発生したときには予定の公演をどちらかにふりかえて使うことも可能となる。

竹本、秋成の二劇場は本格的古典芸能、未来的実験演劇、音楽の公演を可能とする。

徒歩の来場者は安全と快適さが、バス、タクシーの利用者は乗降の即時的便宜が、自家用車には広い駐車場（500台）が準備されるもよう。

切符の前売、当日の発券、チェックはインフォメーションセンターで迅速にコンピューター方式で行われ、さらに託児所の設置は来場者に多大な便宜を与えることになり、身障者のためのアプローチ確保はこのセンターがより多くの人に親しまれるものとなるために欠くことができない。

**■規模と内容**

近松大劇場は 3,000席、西鶴劇場は 1,500席、世阿弥劇場は 1,500席、秋成劇場は 400席（移動席）、竹本劇場は固定席 600、移動席 200。その他、関連施設として、リハーサルルーム、歌垣広場（中央広場、水辺の広場、サービス広場）、インフォメーションセンター、芸能学研究所などが構想されている。

**■プロジェクト・メンバー**

◇主査　梅棹忠夫（国立民族学博物館長）
◇委員　上田篤（京都大学工学部助教授）　木村重信（大阪大学文学部教授）　小松左京（作家）　山崎正和（大阪大学文学部教授）
◇製作・設計委員　高口恭行（奈良女子大学家政学部助教授）

## 樹の話シリーズ・29

# かいづかいぶき

Juniperus chinensis L. var Kaizuka Hort.
ひのき科

かいづかいぶきは造園樹木の代表としてかなりその名を知られており、また実物を見る機会も多い。しかし、その植物学的分類はまだ定説もなく、その語源も不明な点が多いナゾの樹木なのである。かいづかいぶきはひのき科のびゃくしん属であるが、この親にあたるびゃくしんという樹がそもそもややこしい。びゃくしんは「柏槙」と書き、またの名をイブキ、あるいは二つ合わせてイブキビャクシンともいう。イブキは「伊吹」と書き、その由来は伊吹山にたくさん自生していたからだという説もあるが、もともとこの樹は宮城県以南の海岸地帯に産するもので、伊吹山にあるのは人工植栽したものだという説もあり、マユツバものである。

さて、このびゃくしんがなぜややこしいかというと、同一株に二つの型の異なる葉を生ずるからである。一つは針状で、他の一つは鱗状である。主として幼木や徒長枝や大木の下枝などに針葉が現われ、成木や古枝は鱗葉である。この針葉が現われることを植物学上では先祖返りの現象という。昔はこの葉の型により針葉のものをビャクシン、またはスギビャクシン、鱗葉のものをイブキ、またはタチビャクシンと別々に名をつけ、一見別種のように思われていたが、植物学的には全く同一のものである。

ところで本題のかいづかいぶきであるが、これはびゃくしんの変種であると考えられているが、別に匍匐性のミヤマビャクシン(Sabina Sargenttii)を直立状にしたのと同型であるから、その変種だという説もある。このかいづかいぶきと前述のびゃくしんは外見上非常によく似ており、時々混同されている。共に常緑高木で成木の高さは10～15m、樹形は狭円錐型で、葉の色はダークグリーンである。しかし、かいづかいぶきは側枝が旋回してゴッホが描いたイトスギのような樹形となる。旋回のしかたは左巻が多い。葉は鱗型で、びゃくしんと違って針葉はめったに見られない。

びゃくしんは古くから社寺境内に多く植えられ、かなりの大木になり天然記念物に指定されているのもあるが、造園樹としてはかいづかいぶきが多く使われている。陽樹で海岸性のものであるから乾燥にも耐え、潮風に強い。大気汚染にも抵抗力がある方で、生長も早く、移植もしやすい。下枝の枯れ上がりがないので根元まで遮蔽でき、垣根によく利用されている。剪定は徒長枝だけ行い、病虫害も比較的少ない方である。しかし、浅根性なので風害に弱いのと、梨の大敵である赤星病の中間寄主なのが欠点といえる。梨類の果樹園の近くでは使用できない。

この樹は不可解なことに「雄本なし、それで実を生ず、これを播くも実生することなし」で繁殖は専ら挿木による。名称の「かいづか」もその由来が不明で、一説に貝塚市の寺院に多く植えられていたのでこの名になったというのもある。確かに関東では自生樹はめったに見られない樹である。樹形がまるくなるのにタマイブキという種類があり、またびゃくしんの盆栽仕立てでシンパクという名が有名である。

かいづかいぶきの美しい列植は京都府立植物園の沈床花壇周囲に見られるし、群植したものは大阪城公園の森林公園入口周辺に見られる。

（森下記）



# 建築の眼

## 統一感・画一感・アイデンティティ

大学教授A氏はかつてテラス団地に住んでいた。ある夏の昼さがり知り合いのB氏が突然予告なしにあがりこんできたので、冷たいものをだすなど歓待にこれ努めた。……が、はじめて顔をあげたB氏の言うことには、「いやあ、ここはAさんあなたの家でしたか、実は向かいの弟の家を訪ねるつもりだったのですが、どうも失礼いたしました。」これは関西建築界の長老たちの若き日の実話である。似たようなテレビドラマが放映されたこともある。住宅公団の要職にある人の話では、ある男は酔っぱらって住戸を間違え、そのうえ、その家の妻君を自分の妻君と、そのそばで眠っていたその夫を間男と間違って、刃傷沙汰におよんだというたいへんな事件があったとか。

最近、私のゼミの学生たちが、3棟で180戸の小規模な民間高層分譲団地で100人の主婦にアンケート調査をしたところ、「住戸などを間違えたことがある」者が実に3割に達していることが分った。より大規模な公的高層賃貸団地ならその数はどれぐらいに達するだろうか……続いて調査中である。

わが建築界は統一性＝くり返しの美＝経済的という名のもとに、画一性を偏愛し、溺愛しているといえよう。研究部門としては、画一的でアイデンティティ＝わが家らしさを演出することのできない設計は、結局のところ経済的でもなければ美的でもないことをきっちり証明する必要があろう。設計部門としては同一設計の繰返し利用を禁じるルールの確立にむかって運動を起こすことが必要かもしれない。 (U)

## ビルと古い町並み

ちょうど3年前の昭和49年の2月、京都市では、祇園新橋かいわいの町並みを保全するため特別保全修景地区を、さらにその周辺の景観保全のために美観地区1種地域（高さ15メートル以下）を指定すべく準備をすすめ、地元説明会を通じて住民のかたがたの意見をきいていた。

この古い町並みの真中に計画された4階建ビル建設に反対され、町並み保全のきっかけをつくった元吉町の人達は、その保全の必要性を身をもって体験され、十分に地区指定の趣旨を理解されていた。しかし、その周辺町内の人達にとっては、ビル問題は対岸の火事であり、町並みやその周辺景観の保全に対する認識は低かった。周辺町内での連日にわたる説明会では、反対意見が圧倒的に強く、まさに四面楚歌の状況にあった。

ごうごうたる非難と反対の渦のなかで、ふと思ったことがある。当時建設中の5階建、6階建のビルが、10数年、20年後の先に用済みとなり、壊されていくなかで、依然としてこの祇園新橋かいわいの町並みが生き続け、その情緒豊かな雰囲気を生かした町として再生し、発展していく様子を思い浮べていた。

いつの場合でも、5階建6階建のビルを建てていくことが、地域の発展になるとは必ずしも限らない。大量生産の茶碗を薄利多売していくのも商売であれば、一方、一品生産の高級茶碗を売るのも一つの行き方である。特別保全修景地区指定を受けられた地域のかたがたは、京情緒豊かな町並みの雰囲気を生かす方向で地域の発展を選ばれたということができる。その後、周辺町内のかたがたと十分話し合い、地区の範囲を修正の上、同年9月指定にこぎつけた。 (O)

## 欠陥建築問題と航空機エンジン事故の教訓

昨年8月居住者を中心として発足した「マンション問題を考える会」は、業者を施工不良と手抜き工事があったとして告訴した。このため欠陥マンション問題は、マスコミによって採り上げられ、大きな社会問題として、クローズアップされている。この問題をひきおこした根底は、第一に設計者としての建築士の責務である工事監理に対する取組み方の問題であり、第二には施工業者の管理体制に起因する処が大きい。そして、建築行政側の責任も強く指摘されている。

ロッキード事件で大きな政治問題になった、全日空の主力機トライスターは、11月25日にエンジン空中破裂事故を起こし、利用者の不安をかった。これに対して製造国の英民間航空局は、トライスターを運航している各国航空局へ耐空性改修命令を出した。これによりメーカーのロールスロイス社は、特定の改良型ディスクの製造時の検査態勢に不備があり、欠陥品が出まわったことを認めた。性能を改善する時には改良品にぬかりのないよう、メーカーの綿密な実験と万全な検査態勢が要求されることが報道により解説されていた。大事故につながる事態を考え、安全のため早めに総点検に踏み切った全日空と運輸省の対応は、航空会社のあり方として評価されている。

しかしこの二つの事件は、社会的影響の違いはあるにしても、問題に対応する姿勢とその取組み方に考えさせられるものがある。欠陥マンション問題が世間の俎上にのっているが、建築生産はどういう仕組みで出来上っているか、又その工事管理体制が行政上、監理上そして施工上どうあるべきか未だに未熟な面が多いことは否定できない。この欠陥マンション問題を契機として、一般建築工事すべてにわたって、欠陥工事の排除に業界は、あげて取組まねばならない。社会に対する信用の回復は、建築生産にのぞんで行政、設計監理そして施工がそれぞれの立場で責任を明確にし、且つ、生産過程での無理な注文を排除することにある。欠陥工事の問題は、基本的には業者の良心にまつところが大きいとはいえ、地道な努力の積重ねによって、社会的信用の回復をはかることが、建築関係者にとって肝要なことである。いっぺんの通達で改善されるものではない。関係者の努力を要望したい。 (Ok)

## 判らない言葉

ジャーナリズムは紙面の都合でか、とかく略号をこしらえるのが上手であるが、日本建築設計監理協会連合会のことを「設監連」、全国建築士事務所協会連合会のことを「全事連」とするのは、略しすぎて内容がわからなくなってしまう。どうもいただけない。

設監は折檻に通じ、全事連は全国自動車連盟に語呂が合うし、全国事大主義連盟などと皮肉りたくもなる。官庁工事で、提出図書のことを「成果品」ということがあるが、この言葉も変なもので、青果市場に積まれた品物を連想するのは私だけではないと思う。

それらの言葉はそれなりに単純明快で、現代的だともいえようし、狙いは論議にあるのであって、文学的価値などは最初から問題にしてはいないともいえよう。がしかし、「建築家は事業者か」とか、「建築設計は本来文化的行為である」とかの文章をみるにつけても、もともと文学的素養の少ない社会に育ったとはいえ、われわれはあまりにも無神経ではなかったか、一般社会人には全く理解できない、専門の部署のものだけが判る言葉、しかも字数が少いから合理的だとか、ひとりよがりで難解な言葉でもの申している限りでは、とうてい建築家が、人間社会にとって基本的な職能であることなど、一般社会からの理解を得ることなどできないのではないか、と考えるのである。 (Y)

湯川利和
奈良女子大学教授
家政学部住居学科

大西国太郎
京都市都市計画局風致課主幹

大生仁雄（おおぶきみお）
鹿島建設大阪支店建築部次長

山口安男
日建設計業務部長

★1月号から6月号まで上記4氏が担当

# 建築と社会

ARCHITECTURE AND SOCIETY

©1917年創刊

第58集

659号


# CONTENTS 1977 2

## 特集・兵庫県──その風土と建築・建築界

SPECIAL FEATURES ON THE CLIMATE AND ARCHITECTURE IN HYOGO REGION


| | | |
|---|---|---|
| 1 | 会　　告 | 武庫川学院キャンパスを見る。大阪府立成人病センター増築工事の見学会。「建築材料を見る」―ステンドグラスの世界―。建築家に話を聞く(3)…漆原美代子のインテリア・アーキテクチュア。日本建築協会の展示窓紹介。「建築手帳」紹介。 |
| 3 | 法令コーナー111 | 開発指導要綱等の一覧表(その1)／西尾宗晴<br>確認申請前の関係法令の下見について(その2)／西川幸之輔・松本好雄 |
| 4 | 新建材紹介コーナー11 | 外装仕上材「パンタイル」／原尚弘。「USジプコン」／堀内成樹 |
| 5 | 読者の頁 | アメリカあんどメキシコとびある記／森田茂夫。明治建築研究会／柴田正己 |
| 6 | 建築と社会ニュース | 中之島芸能センター構想。樹の話シリーズ29・かいづかいぶき |
| 7 | 建築の眼 | 統一感・画一感・アィデンティティ／湯川利和。ビルと古い町並み／大西国太郎。欠陥建築問題と航空機エンジン事故の教訓／大生仁雄。判らない言葉／山口安男 |


## ●特集＝兵庫県―その風土と建築・建築会


| | | |
|---|---|---|
| 10 | 兵庫のイメージ・アンケート<br>坂本勝比古／向井正也／茂木草介／光安義光／村松貞次郎／小松益喜／清家清／白川渥／山本学治／西山夘三／十河巌／富士正晴 | |
| | 第1章　兵庫県の地域特性 | |
| 14 | 1．地域づくりを考える―兵庫県の地域構造― | 鳴海　邦碩 |
| 17 | 2．兵庫県の古い町並 | 多淵　敏樹 |
| 20 | 3．中国縦貫自動車道について | 斉藤　昌之 |
| 23 | 第2章　兵庫の風土と建築と建築界<br>―地域設計事務所・建設会社アンケート―<br>I　風土と建築<br>神戸／姫路／尼崎／豊岡／三田／洲本<br>1．風土に根ざした建築<br>2．地域ドクターの可能性<br>3．プレハブ化の問題<br>4．設計上・営業上もっとも力を入れていること<br>5．技術力の向上方法<br>6．まとめ―建築界のかかえている問題点 | |
| 35 | 構造の頁 32 | 鋼構造柱脚部の固定度<br>(その1.鋼構造柱脚部の実状について)／中島茂壽 |
| 36 | 設備の頁 31 | 蓄熱そうの計画／吉村武 |
| 37 | 施工材料の頁 32 | 埋込杭の高止りについて／貝戸俊一 |
| 40 | 都市設計資料 17 | 都市にコモン空間を／神戸都市設計資料研究会 |
| 42 | 月　　報 | 日本建築協会月間の動き(昭和51年12月分) |


表紙絵・渡欧スケッチ―小泉豊(吉田建築事務所) シャルトルの坂道

次号特集予告

- ■3月号特集／ニュータウンの管理および60周年記念号
- ■4月号特集／コンクリートの品質管理と行政指導の方向
- ■5月号特集／建築基準法改正法
- ■6月号特集／身障者施設


編集委員会(昭和51年度)　○印副委員長　△印幹事

| | | |
|---|---|---|
| 編集委員長 | 隅谷康彦 | ○西村喜卿 |
| 中村甲一 | 田中弘成 | 石塚克彦 |
| | 中川洋一 | △藤田孝吉 |
| 編集理事 | 横川隆一 | 古荘昭憲 |
| 井上　滉 | 若野暢三 | △西尾宗晴 |
| 岡田光正 | △荒木兵一郎 | 松本好雄 |
| 北垣智造 | 石東直子 | ○芝山　昭 |
| 小西　岬 | 稲垣雅彦 | 高羽俊治 |
| 窪田　祐 | 五島信明 | 鈴木　武 |
| 松村慶三 | 塩崎賢明 | 船井美彦 |
| 三浦二三男 | 鈴木良介 | 阿部　坦 |
| 山田幸一 | 西岡康夫 | 上森　肇 |
| 前野慶太郎 | 大井恭二 | 岡田満夫 |
| 菅谷健児 | △須賀好富 | 桑田和明 |
| 伴　一郎 | 中塚　信 | 十倉　毅 |
| 渡辺　忠 | 中東達男 | 中野孝治 |
| | 内田昌文 | ○伴　一郎 |
| | 大倉良司 | 星　忠市 |
| 編集委員 | 河津隆之 | 松原孝史 |
| ○大辻眞喜夫 | △佐々木友喜 | 水嶋繁樹 |
| 黒田達雄 | 志田　康 | 渡辺　忠 |



| | |
|---|---|
| 編集人 | 松井昭光 |
| 印刷 | 昭和52年2月20日 |
| 発行 | 昭和52年2月25日 |
| 発行人 | 福中定三郎 |
| 発行所 | (社)日本建築協会<br>大阪市東区北浜3－37<br>電　06－231－9648<br>振替口座　大阪39975 |
| 印刷所 | 凸版印刷株式会社　関西支社<br>大阪市福島区海老江3－22－61<br>電　06－458－2251㈹ |
| 売価 | 600円(送料別) |

# 特集
# 兵庫県
# その風土と建築・建築界




そこには、それぞれの自然があり、歴史があり、そして生活がある。そしてそれらの全体を風土とするなら、風土に根ざした建築を求めるには、それらを具体的に掘り起こすことから始めなければならないと思う。“日本の縮図”としての兵庫の地域特性と、その地域で活動する建築界の実情が浮かびあがれば幸いである。

なお、この兵庫特集をくむにあたって、日本建築協会兵庫支部の物心両面のご賛同とご協力を得たことを付記して感謝する次第である。


1兵庫のイメージ・アンケート
坂本勝比古 / 向井正也 / 茂木草介 / 光安義光
村松貞次郎 / 小松益喜 / 清家清 / 白川渥 / 山本学治
西山夘三 / 十河巌 / 富士正晴

2兵庫県の地域特性
1.地域づくりを考える —兵庫県の地域構造— / 鳴海邦碩
2.兵庫県の古い町並 / 多渕敏樹
3.中国縦貫自動車道について—中間報告— / 斉藤昌之

3兵庫の風土と建築・建築界
—地域設計事務所・建設会社アンケート—
神戸
姫路
尼崎
豊岡
三田
洲本
1.風土に根ざした建築
2.地域ドクターの可能性
3.プレハブ化の問題
4.設計上・営業上もっとも力を入れていること
5.技術力の向上方法
6.まとめ—建築界のかかえている問題点



特集幹事（順不同）
黒田達雄（兵庫県営繕課）
船井美彦（神戸市住宅局）
稲毛政信（神戸市　〃　）
笹原和喜男（神戸市都市計画局）

●アンケート

# 兵庫県のイメージ

兵庫県内外の建築家・文化人に、兵庫県の風土と建築についてのアンケートを行いました。アンケートの質問項目は下記のとおりです。

**1** あなたは兵庫県について、どのようなイメージをお持ちですか。好きな都市・地域・風土があれば、それを例にして書いていただいても結構です。

**2** 兵庫県下に建つ建築・施設・住宅あるいは建築群で、あなたの好きなものをあげて下さい。その好きな理由をも含めて、地域・風土と建築のあるべき姿などについての簡単なコメントをお願いします。

## 坂本勝比古 神戸市教育委員会

**1** 兵庫県は全国的にみて屈指の大県であり、その県域は、北は日本海から南は瀬戸内海に臨み淡路島を含んでいる。それだけにこの地域の風土、生活環境、文化的蓄積、歴史的背景はきわめて多種、多彩であり、魅力ある景観、都市、町、建築、産業、風俗などがみられる。
兵庫県のイメージは、瀬戸内、日本海にまたがる広大な地域に展開した東西文化、土着文化の多様な交流、発展の場といえる。

**2** 県下各地をみるとたくさんありますが、先ず神戸の旧居留地、栄町通の近代建築群、山手北野町、東灘御影から西宮南郷山につながる山手の近代住宅群、灘の酒蔵群などをあげたいと思います。
神戸は兵庫県の中心的大都市であり、1868年の開港は、近代的都市神戸の今日をもたらしました。この町の発展過程は、其処ここに残る歴史的建造物のうえにあらわれています。阪神間の近代住宅群は、住宅近代化の生きた姿を語りかけています。
そのあるべき姿は、古い遺産と新しい建築との調和をどこに見出すかでありましょう。

## 向井正也 神戸大学教授

**1** 脊梁山脈によって、読んで字の如く、山陽と山陰に、風土的に分断され、この対極的ともいえる地域を同時にあわせもつという、わが国でも例を見ない両義的な環境条件が何よりも兵庫県のもつ今日的な魅力だと思います。このような強烈な対比の上に、地域文化的にも何かユニークなものが、建築の創造面などでも生れて来る可能性をさぐるべきではないでしょうか。好きな地域景観としては、国電で大阪から明石へ抜ける途中、最初に展開する本邦屈指の六甲中腹のすばらしい山岳都市の大パノラマが兵庫附近から一転〈絶佳の海景〉に転ずるあたりのドラマテイックな変化の妙など。

**2** いつもいうことですが、神戸の町は、えらくイキでショーシャな都会的センスと、ヤボでぶざまな田舎臭さとが同居しているのが気になります。これまでも両義的で面白いなどとはいえないと思います。ファッション都市を目ざすなら目ざすで、全般的にまだまだ大ナタをふるって改造、洗練すべきトコロが建築術的にも多々あるのでは？ホンの一例として、あの市章をカタどった陸橋など。新聞会館も増築でダメになりましたねえ。好きなのは、北野町界隈や海岸

（右下段へ）

## 茂木草介 劇作家

**1** 神戸と姫路を中心とした南と円山川流域を中心とした北とは人間の数と商業的発達の差がありすぎるので一括したイメージを申上げ難いのです。神戸の都市としてのフランクな性格は明治以来のもので、これの良さはいうまでもありません。

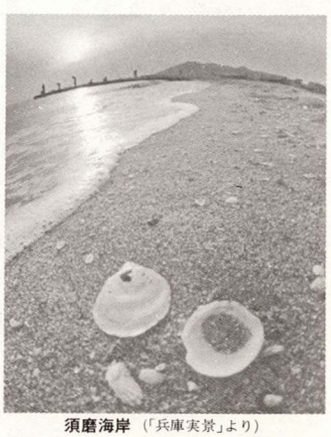
**2** ご質問に合わないかも知れませんが、西宮市殿山町、芦屋市山芦屋町付近の住宅エリヤは土地をかなり余裕を持って利用している点で良いと思っています。しかし、これはその地域の発生の時点の経済的素因に主な原因があるので、いまは無理でしょう。土地と緑と家を合致させるためには、生野以北を開発して、まっすぐ神戸市へ南北縦断の大きな高速道路をつけるしか方法がないでしょう。しかし、これを地価高騰だけに終わるなら、しない方がいいと思います。

（左段より）

通り、それに唯一の超高層、貿易センタービルとその外部空間。最後にアノニマスで生気あふれる港風景、これはもうリッパなものです。



但馬海岸



須磨海岸（「兵庫実景」より）



神戸港と市街・山なみ



室津の町並みを見おろす

●兵庫県のイメージアンケート

## 光安義光 建築家

**1** 私の足を強く引きとめた都市—神戸—。海、山に迫られた都市神戸は実に好ましい。太陽に溢れ、緑したたり、碧い海に囲まれて、はぐくまれた都市感情は、明朗・大らかで寛容な空気がある。聡明で感性豊かな律動が異人種をも融和してしまう。
合理性と適当なこびは現代の躍動を痛い程知らせてくれる。
今、息吹きの街こうべ——私はとても好きなのだ。

**2** 竜野市竜野町
さらさらと流れる溝に沿って、目をあげると白壁がふっと入ってくる。幾らか疲れ切った板塀や瓦との調和が何とも言えない。街並を曲がると妻壁が威厳と風格をもって、立っている。人々の現代へ駆けだそうとしている心を引きしめてくれる何かがある。酷(きび)しい強さではなく、暖かい和やかさ、包みこむような懐かしさなのである。日本瓦、木肌、白壁の素材が風土に合っているからだろう。

## 村松貞次郎 東京大学教授

**1** 一昨秋のことですが姫路・室津・相生を経て岡山に出たことがあります。置き忘れられたような室津の古い港町から、けわしい山路を経て眼前に展開した相生の巨大な造船工場との奇妙なコントラストに眼をみはる思いがしました。岬一つめぐっての別世界の併存。兵庫県にはそんな不可解があるところに、新しい魅力を感じました。もっともこれは海の兵庫のことでしょうが。

**2** 仕事の関係で、三木市へよくまいります。そこの鍛冶屋さんたちの住んで、仕事をしておられるあたりの雰囲気が好きです。その鍛冶屋さんたちが歌集「鍛冶職の歌」を、ごく最近上梓されましたが、すばらしいものです。
また石峯寺(しゃくぶじ)の境内、落ち着いて、しかも明るく、これも大好きな建物であり、環境です。もっともこのお寺を再度にわたって訪れたのは、その寺蔵の大鋸を拝見したかったため。これも道具に関係しています。

## 小松益喜 画家

**1** 兵庫県と云ふよりは神戸市が大好きです。戦前の神戸市は異人館三百軒以上ありほんとに楽しい町でした。それなのに戦争はその多くの異人館を失はせてしまい残っているのは二三十棟に過ぎなくなってしまいました。でも、まだ十年は描ける位はあります。大いに頑張って描き続けます。このためには色々と創意工夫しなければなりませんが、喜んで描いています。残った異人館を大切にしたいと思ひます。北野を守る会の宇都宮氏も頑張っています。

**2** 私はやはり山本通り北野町の異人館が好きです。北野町の小林秀雄氏邸などは殆んど昔のままで保存されているし、手入れもよく行届いています。山本通りの門兆鴻氏邸は随分大切に保存されていますがよる年波には勝てないのか棟が少しくづれはじめました。シュエケ氏邸は大丈夫ですが裏や横の鎧窓をとってしまったのが残念です。門氏邸は市県の税金を免除して早く修繕しないと赤信号です。早いうちに補強することが何よりも大切と思います。



竜野の街にて



石峯寺境内（三木—三田間）



異人館・門兆鴻邸（旧ディフレンスン邸）



「ここらより
杉の匂ひや
ほとゝきす」旅水
崖下にひっそりたつ碑・竜野

●兵庫県のイメージアンケート

## 清家　清　東京工業大学教授

**1**　説によると、ハイマート(故郷)という概念は少年時代に形成されるということです。少年時代を送ったところが、その少年のふるさとだと云うのです。ところで、私は東須磨尋常小学校から兵庫県立第二神戸中学校(現兵庫高校)を卒業しましたから、その少年時代というのが神戸に住んでいたことになります。従って、私にとってのハイマートは兵庫県であり、神戸市であり、須磨のわけです。兵庫県についての私のイメージはハイマートです。

**2**　センチメンタルな意味で上記の東須磨小学校の校舎。分離派風のR.C造で、私の少年時代のままです。それに私の作品を挙げては申訳ないのですが、御影の小原流家元会館と芦屋の蟻田さんの家。小原流の建物は、現場から出た本「御影」の石を使いました。蟻田さんの家はバタフライ屋根で、もう20年にもなりますが健在です。だいたいが山崩れでできた神戸の土地柄は、風土にマッチさせておかぬと、手きびしい仕返しを風土から受けるかもしれません。

## 白川　渥　作家

**1**　民家のたたずまいは、人間の郷愁をそそるものですが、兵庫県下でも、そう言う古い集落は殆んど消えてしまいました。いまはわずかに西播州と但馬地方に残っているだけでしょう。

**2**　神戸市生田区北野町の一画に残っているいわゆる異人屋敷の存在は、貴重な建築群と思われます。神戸のターミナルに近い地域だけに俗悪な巨大建物の侵入によって、昔日の面影を失おうとしております。これを守るには、地域の市民運動もさりながら、やはり強力な法的規制に俟たねばなりますまい。

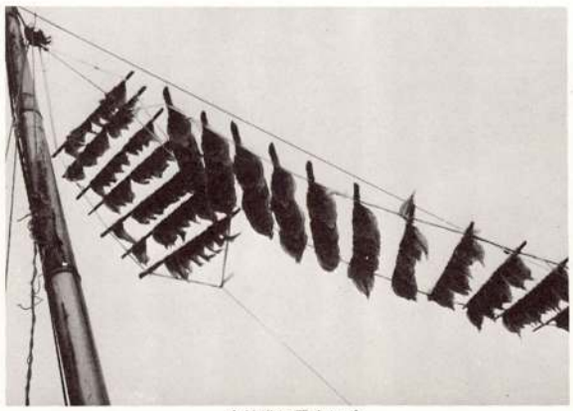
## 山本学治　東京芸術大学建築科教授

**1**　私は北兵庫や日本海岸の兵庫についてほとんど知りません。したがって私にとっての兵庫県は瀬戸内に南面して神戸から姫路にいたる細長く明るい傾斜地という印象が強いのです。勿論有名な浄土寺浄土堂や姫路城また円教寺などの名建築が頭に浮びますが、やはり地域に結びついた兵庫県の風土としては、徳川末から明治期に育まれた町並みや建物をかなり残している神戸港からトーア・ロードや北野町を経て六甲にいたる神戸市のあり方にもっとも興味をひかれます。

**2**　神戸市の所謂異人館だけでなく、活溌な西洋化を目指した明治日本の最先端にあり、他のどんな都市よりも早く深く西洋の生活文化に親しみ、その立場に誇りを持っていた人々の気持を残す建物群すべてが好きです。
異人館など現存の建物の保存再生は当然必要でしょうが、建築家がことさらに明治の神戸らしさを出そうとする近頃はやりの折衷デザインには疑問を持ちます。第2大戦前の神戸の雰囲気に誇りと愛情をもった施主たちの記憶と連想とが中心となるべきでしょう。



石峯寺附近の農家



室津港の干カレイ



室津・土塀

張出し窓のある旧キャセリン・アンダーセン邸
(広瀬安美「神戸の異人館」より)



●兵庫県のイメージアンケート

## 西山卯三　京都大学名誉教授

**1**　日本列島の中央に近い位置をしめながら、南側は瀬戸内海だが、とにかく日本海と太平洋の両方海に接しているという県。播州はすっかりコンビナート的風物景にかわったが、北の但馬は山陰の風土である。それに明治開国以来の近代化した神戸。この三つをつかまねば、兵庫をみるといえないだろう。いやそのほかに篠山とかいった中国内陸の、「とりのこされた」地域もある。みんな京阪神、東京へ何ものかを吸いとられつつあるようだが。

**2**　戦後深くかかわって来た地域に姫路と城崎がある。姫路の方は城の休憩所の設計。あの当時、戦災地姫路に嶄然としてそびえていた城は今はビルの影にかくれがちで、手柄山などひどい姿になった。日本の戦後開発が景観をメチャクチャにしている典型例。城崎の方もかわったが、それほどではない。大谷川にかかる戦前の「変な」デザインの橋が、今では城崎のシンボルになっている。外湯はのこしたいもの。篠山はこの間みて古い町がのこっているのに感心したが、改築期を迎えてどうするか？

## 十河　巖　洋画家・ジャーナリスト

**1**　わたしは散歩が好きです。散歩に目的があってはならない。雲もない青空のような心持になって足まかせに歩くことだ。しかもその街が薄ぎたない街では困ります。どちらかといえばヨーロッパのどこかの街でも歩いているような気持のするハイカラな街であってほしい。そんな街は建物も看板も街を歩いている人間の服飾もハイカラで気がきいたものでなくてはならない。そんな街は日本中に神戸を除いてはほかにありません。むろん兵庫県はハイカラな神戸という街の影響をうけていて、郡部の道わきのドライブインでも矢じるしの下にTOILETと書いていて便所なんて悪臭のする文字は使っていない。

**2**　神戸は前にあかるい海を抱え、うしろに緑の山を背負っている。この街にはいつもそよそよと西風が吹いて、東西にはしる帯のように長い街を快い風が吹き通しているのです。この快い西風と海が刎ねかえす明るい光を絶えず家の中へ導入するのが明治初年からある居留地風の建物がふんだんに用いている鎧窓である。この鎧窓をいっそう効果的にしたものが、六角形を半分に割った、三

(右段下へ)

## 富士正晴　文筆業

**1**　神戸市は育ったところだから、まあ好きです。それ以外は余り知りません。神戸にのみついていえば、山と海とが近くて風通しのいいのが好きです。

**2**　これは近頃あまり行ったことがないので、余り知りません。はなはだ残念です。

(左段より)

方窓の出窓である。この鎧窓に調子を合せた鎧張りの建物の外装——これらはいづれも居留地方の建物が備えている。ずっと以前のこと、六甲にあって俗に赤洋館といわれていた居留地風の建物に住んでいたことがある。毎朝この鎧窓から流れこむ柔らかい朝の光に朝の眼ざめのひとときを楽しんだものだが、神戸の街のクリマと居留地風の建物とはどうしても切り離しては考えられない。



篠山・古道具屋（河原町）



篠山・妻入り商家（河原町）

# 地域づくりを考える ——兵庫県の地域構造——

鳴海邦碩

## 1．地域構造の変化

この10～15年の間に大都市への過大集中が進行し、大都市問題といわれる多様な問題をひきおこしている。大都市への集中は順次近郊開発をひきおこし、量的にも面的にも非常に膨脹しつつある。大都市に依存した近郊部の開発は、人々にすまいを供給しつつも長距離の通勤を強い、一方、都市部における業務機能等の増大は、公益施設網（下水道、交通網等）に過大の負担をもたらしている。また、近郊地における住宅もすでに相当高額なものとなってきており、住宅の確保と通勤距離を代替しうる限界にきているように思われる。

三大都市圏を、人口をそのままにして日本列島からけずりとった状態を想起してみると、わが国土も広大であることに気がつく。面積シェア11%の地域に、45%の人々が住んでいるわけである。〝狭い国土〟観は大都市居住者の錯覚のようなところもある。三大都市圏外では、人口集中地区に住む人口の割合は37%、非人口集中地区が63%である。つまり、63%の人が農村的地域に住んでいると考えてよい(S45年)。昭和35年にはこの割合が、30%と70%であったことを考えれば、農村部から地方都市への人口の集中が進みつつあることを示している。

一般に、人口10万人以下の都市は衰退する傾向にある。昭和45～50年の国勢調査によれば、人口10万以上の都市では、3%の都市が人口減少を示しているのに対し、10万以下の都市では、その割合は、42%にもなっている。前のことを考えあわせれば、人口10万人以上の都市が各地域で拡大しつつあると考えられる。

人々の生活の多くが農業によっていた時代には、農業の基盤である耕地を求めて、人々は奥深い山の中にも居をかまえた。河川の下流に形成される広大な沖積平地はもちろんのこと、谷川ぞいの小さな平地まで人々は耕作したのである。そして、その土地の生産性に応じて人口が分布することとなった。地域によって、土地の生産性に差はあろうが、面的な生産基盤である耕地を基盤にした人口の地域分布は、比較的にホモジニアスであった。

しかし、都市は二次的には農業的な生産に立脚するものの、元来物資や情報の加工および交換機能を基盤に成立するものであり、一種の装置的なものとして考えることができる。都市には、空間のもつ経済的価値を高める作用があり、前の農業に立脚した人口のホモジニアスな地域分布の中に、ヘテロジニアスな凝集部を形成していく。

今日の日本の人口の国土的な分布は、このことを考えれば、非常に論理的な結末を示しているものといえよう。しかし、わが国における農業が2000年の歴史をもつのに対し、近代産業のそれは高々100年であり、これによって形成された現在の人口の地域的分布は、まだ励起状態(注)にあるのではないかと考えられる。すなわち、適当な地域開発によって、この構造はまだまだ変わりうるのではないか。

このようなわが国の地域構造において、居住空間の整備という観点からすれば、最も大きな問題が、前に示したような大都市の過集積および過密問題である。この対極にあるのが、山間および離島における過疎の問題である。つぎのレベルの問題としてあるのが、地方都市および、一般的な農業地域の居住空間の問題である。

これは、わが国に固有の問題ではなく、世界的な問題でもある。東南アジアや南アメリカでは、こうした問題はもっと極端な様相をおびている。農業地域から、地方都市を経ず、直接大都市に集中する人口は著しく、一次産業的地域構造の地すべり的変化を表しているといっていいだろう。

## 2．兵庫県の地域構造

兵庫県は衆知のとおり、わが国では特異な地域構成をもっている。すなわち、但馬、丹波、播磨、摂津(阪神)、淡路という、5つの地勢および風土的条件を異にする地域によって構成されており、大きくは表日本と裏日本の2つの性格をもつ。日本の縮図といわれる所以である。

実際、兵庫県の人々は、自分がどの地域の出身であるかをよく口にするし、また、それぞれの地域が独特の人情をもっていることを誇りにもしている。現在、兵庫県に含まれる摂津の地域は、むしろ大阪と一体的な性格をもつ地域であり、兵庫丹波は、県庁所在地である神戸に結びついているというよりも、京都よりの意識が強い。**図－1**は豊臣政権下の地域構成を示すが、ここに示される但馬、丹後、丹波、播磨、摂津、淡路の各地域は、それぞれ風土的にも、地勢的にも、まとまりをもつ地域である。現在の人々の地域に関する意識は、この時代の地域構成を反映しており、地域構造の歴史的な慣性の強さを示している。

こうした地域構成が、明治維新後の廃藩置県によって、いくつかの段階を経て現在の県域におちついたわけであるが、当時の論議は、兵庫県の現状とも共通していて興味深いものである。

まず、淡路であるが、近世初頭以来徳島藩の領地であり、廃藩置県後も徳島県に属していたが、紛争処理のために兵庫県管轄地域になった。

但馬、丹波の処置については、つぎのような経緯がある。当初、

---

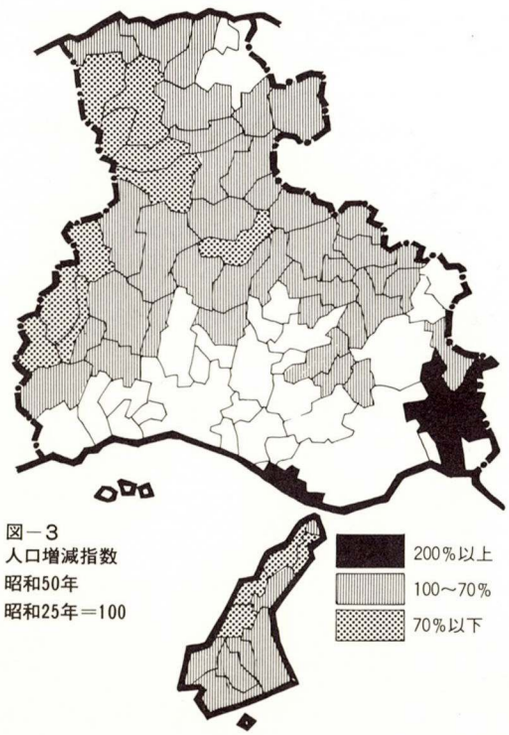
**励起**：量子論によると、原子や分子の外側電子は、基準状態で一定のエネルギー準位を占めるが、適当な刺激を受けると、一定のエネルギーを吸収して、高いエネルギーの状態に移る。この変化を原子または分子の励起という。




図－1　豊臣政権下の大名配置　　資料1による




図－2
近畿圏区域および
過疎地域




図－3
人口増減指数
昭和50年
昭和25年＝100

但馬に豊岡県を置き、現在の鳥取県もこれに合併すべきであるという意見があった。しかし、但馬と因幡の間には高山が起伏しており、往来が不便であるという理由で、この方針は拒否された。つぎに但馬、丹波、播磨、摂津、すなわち、豊岡県、兵庫県、姫路県の3つを合わせて、兵庫県とする案があった。しかし、これでは面積過大の県となるため検討を要した。

当時の内務卿大久保利通の『兵庫県は開港場をもっているので県力が貧弱であってはならない。』という意見をとり入れ、内務省地租改正局五等出仕、桜井勉は『それでは豊岡県を二分し、但馬一国と丹波二郡を兵庫県に合わし、丹後(丹波一郡も)は京都府に合わせられてはどうでしょう。こうなれば、兵庫県の地域は瀬戸内から日本海までも含む他に例をみない所になるが、中間に大きな山もなく交通が便利なので人民にとってもよいのではないか』と述べ、現在の兵庫県の県域が決定された。(資料1による)

このあたりの事情は、摂津臨海部の港湾機能を背景にした都市化の但馬地域への波及効果が期待されていたことを示すものである。しかし、現実には、地域整備の現状をみても、摂津や播磨の経済力が但馬の地域にどのような波及効果を及ぼしたかそれほどさだかではない。現在の但馬地域には、市制をしく自治体は豊岡市ただ一つであり、その人口も5万にみたない。これに比べ、鳥取県には人口10万を越える市が2つあり、地域整備の核をもちえている。

大久保利通は、『県力が豊かであるべし』といったが、これは単に面積の広さや人口の多さのみを示すものではあるまい。全国に例のない地域的な広がりをもつゆえに、縁辺部はいつも見すごされてきたのではないかという疑問もおこる。

県域というのは、地域計画でいえば、計画区域のひとつといえる。計画の際にはこの区域の設定の仕方が重要な意味をもつ。いったん計画区域が設定されると、その広がりの度合で具体性をもちうる要素についてのみ検討されがちである。また、区域外の条件については選択的にしか考慮されない。したがって広域的すぎる計画では、無視される地域や要素が生じうる。

近畿圏整備計画によれば、兵庫県は既成都市区域、近郊整備区域(阪神地域)、都市開発区域(播磨地域)をもち、但馬地域の一部を保全区域としてもっている。同時に、大都市圏にもかかわらず、過疎地域(注)がある。(**図－2**参照)

**図－3**は、県内市町の人口増減指数を示したものである。県全体では、150％を示しているが、全92市町のうち、100％を下まわるものが58市町、70％を下まわるものが14町となっている。これに対し、200％を上まわるものが6市町にあり、人口の都市集中を如実に示している。

兵庫県は国土的なスケールでみれば、大都市圏に含まれるが、細かくは、大都市(の一部)、大都市周辺部、地方中心都市、地方中小都市、農・山・漁村の各地域空間によって構成される。それぞれ固有の問題をもち、地域整備上の課題は多い。

**表－1**は、居住地の魅力度に関する意識調査の結果を示したものである。どの地域に住む人もやはり、居住したいと思う地域として現在自分の住んでいる地域をあげるものが多い。農・山・漁村の欄から、順に第2番目に住みたいという地域をみると、高次の都市域に居住したいという意向が働いていることがわかる。大都市およびその周辺の居住者は、大都市圏に居なおり型の意向を示している。

---

**過疎地域**：一般には人口が急激かつ大幅に減少したために、社会生活を営むことが困難となり、一定の生活水準を維持することができなくなった地域。過疎地域対策緊急措置法(S45)によれば、5年間の人口減少率が10%以上ならびに財政力指数0.4以下の地域をさす。

**表－1　居住地の選考意識**　資料2による

| 居住したいと思う地域 ＼ 居住地域 | (N) 人 | 大都市（東京、川崎、横浜、名古屋、京都、大阪、神戸） | 大都市の周辺 | 地方中枢都市（札幌、仙台、広島、福岡、北九州） | 地方中枢都市の周辺 | その他の地方都市 | 農・山漁村 | わからない | 計 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | % | % | % | % | % | % | % | % |
| 大都市（東京、川崎横浜、名古屋、京都大阪、神戸） | ( 642) | 49 | 33 | 6 | 4 | 3 | 3 | 2 | 100 |
| 大都市の周辺 | ( 768) | 11 | 59 | 7 | 6 | 6 | 5 | 6 | 100 |
| 地方中枢都市（札幌仙台、広島、福岡、北九州） | ( 165) | 4 | 5 | 59 | 19 | 4 | 5 | 4 | 100 |
| 地方中枢都市の周辺 | ( 292) | 3 | 10 | 19 | 40 | 14 | 7 | 7 | 100 |
| その他の地方都市 | (1,217) | 5 | 9 | 7 | 21 | 43 | 8 | 7 | 100 |
| 農・山・漁村 | (1,051) | 4 | 7 | 7 | 13 | 19 | 40 | 10 | 100 |

兵庫県はマクロにみれば大都市圏に含まれ、人々は生活のさまざまな側面において大都市の影響を受けている。とくに、内陸および但馬地域には、人々の都市居住指向をうけとめるような都市もない。このままでは、人口はさらに臨海地域に集中し、格差がますます広がるとも考えられる。ここでは、兵庫県の地域づくりの方向を具体的に述べることはできないが、海外の事例をひきながら、それを考える素材としたい。

## 3．地域づくりの事例

ドイツの自治体は、自治体の自立という強い伝統がある。西ドイツの連邦憲法であるボン基本法にも定められているように、市町村は最も基礎的な地方公共団体であり、強い自治権が保障されている。

西ドイツ全土に、23,629の市町村があり、人口1,000人以下のものは、15,940（1969年）を数え、日本のほぼ同時点の3,285に比べると約7倍にあたり、独立指向の強いことを示している。現在、いずれの州においても、合併、編入などによって統合が進められており、目標とする規模はほぼ8,000人、最低5,000人程度としている。どの州でも人口300人～500人以下の市町村の整理を最優先課題としているが、独立の伝統が強いため、なかなか合併は進行しないという。

こういう強い自治意識を反映して、町づくり、村づくり運動が進められている。人口3,000人以下の自治体を対象とした、〈われわれの村をもっと美しくしよう－Unser Dort soll schöner werden〉や、人口3,000人～50,000人の自治体を対象とする〈市民よ、君の町が問題だ－Bürger, es geht um Deine Gemeinde〉というコンテストはその例である。これらのコンテストでは、住民の参加による事業の成果、計画の有無およびその進行状態等多様な側面にわたって競われる。コンテストに入賞して得られる最も大きいメリットは、ラジオ、テレビや出版物を通じて、全国的に紹介されることである。このことは、観光客を誘致するためにも、また住民の誇りを高めるためにも役立つ。他の自治体への刺激にもなる。なによりも重要なのは、各地でのさまざまな実際的活動の成果が地域づくりの手法の事例として蓄積されていくことにある。ドイツ人には都市は新陳代謝するものであり、都市の生存競争にまけられないという意識があり、この意識を活用した地域づくりの事例である。

もうひとつの事例はブラジルの例である。ブラジル南部にサンタカタリナという州がある。この州の大西洋に注ぐイタジャイ河の流域にドイツ人が入植してから100年になる。ドイツ人を中心にこの流域にいくつかの中小都市群が形成された。この中心になっているのが、ブルトナウという人口11万余の町である。この地域は山がちな土地であって、大規模農業にはあまり適さなかった地域である。ドイツ人は森林を伐採し、牧場をつくり、新しく植林して、針葉樹林をつくり出した。そして、この地域から、独自の繊維産業、木材産業等の産業が生まれた。この流域の都市は、どんな小さな都市でもそれぞれいくつかの工場をもっているのである。町の郊外には、地域の特産を集めた展示場がつくられ、地域をおとずれる人のためのショーウインドーとなっている。町は整備され、どの住宅も花でかざられ充分に手入れされている。ブラジルでは美しい都市のひとつに数えられている。すまいを大事にし、そして自分が住むまちを大事にするというドイツ人の気質が、遠いブラジルでも開花したわけである。

## 4．おわりに

都市には、生存競争があるということは、だれもが認めることである。しかし、多くの人はそれはしかたのないことだとあきらめる。また政府がしっかりしないからだともいう。わが国の地方行政の中央集権制が、ある種の依存関係をつくり出してしまっていることは確かである。地方自治体にとっては上級官庁への陳情が、ひとつの地域整備の武器になっている。このシステムでは、あらゆる問題の責任を上へ上へとおしあげていく結果になりかねない。上級官庁にとっては、ひとつの自治体のことばかり考えるわけにいかないのだから、対策はおのずと一般論めいてしまう。これも悪循環である。

わが国の広域行政・広域計画は、国土的スケールでの産業や経済施策を考えるうえでは有効な手段であった。このことは、前に示した兵庫県の県域の例をみても理解できよう。大きな計画区域の設定では、一定レベル以上の問題しか意識されないからである。われわれの日常的な生活空間を考えていくためには、それに見あった計画区域の設定が必要である。

将来の地域づくりのためには、市町単位の計画が一層レベル・アップすることが必要である。住民の町に対する誇りと、町の生存競争にまけまいとする意欲なしには、大都市中心型の地域構造への変化に歯止めをかけることは不可能である。そのためには、市町のもつ計画が単に上級官庁への陳情の材料に終わらないような、制度的、財政的な改善が必要である。

**参考資料**
1．兵庫県の歴史、八木哲浩・石田善人著　山川出版社
2．国土計画の基礎資料集　その2　「人と国土」臨時増刊号　　国土計画協会
3．近畿圏要覧　国土庁大都市圏整備局
4．兵庫県市町別主要統計指標　兵庫県企画部統計課
5．特集・生活空間の管理と創造　鳴海邦碩編　都市住宅　1975年10月　鹿島出版会

（なるみ　くにひろ　京都大学工学部建築学教室）

# 兵庫県の古い町並

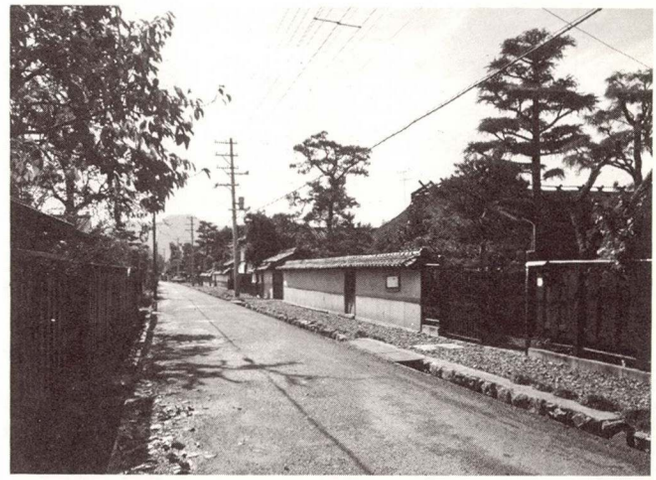
多淵　敏樹

各地に残っていた近世の町並が、ここ20年ほどの間に急速になくなりつつある。それは大都市周辺のスプロール化が大きな要因だが、過疎化の進んでいる農山村部でも、建替わりがはげしい。このことは1世紀ほどをへてそろそろ大規模な修理を必要としている建物が、良きにつけ悪しきにつけ、現代的な生活に順応しにくいために見捨てられつつあるためである。現代社会が、一方では自然とともにある生活を求める動きをはじめながら、全体としては、より人工的な反自然的な方向へと動いているための必然の結果かもしれない。

兵庫県にはまだかなりの古い町並が残っているが、それらのほとんどに共通する点は、近世を通じて大いににぎわった町でありながら、明治以降の日本の近代化の路線を傍観する立場におかれた地域であることだろう。その意味でこれらの町は封建時代が現代に残した遺産である。城下町として最大規模の歴史的建造物群を今に伝える篠山や、生瀬を中心とした旧京伏見街道沿いの宿場のいくつか、また参勤交代の大名の上陸地であった港町室津など、いずれも江戸時代にそれぞれの地方において抜きんでて繁栄した町であった。

**篠山（多紀郡篠山町）**　この町の形成は、慶長14年（1609）に天下普請として篠山城が築かれたのにはじまる。城の周囲に武家屋敷を置き、その外側の東と北に町家が配された。道はせまく屈折し、要所に公の役所や寺社を配置して、非常時に備えた。このうち武家屋敷では徒士の町である西新町が古い町並を残しているし、町屋では河原町、立町、呉服町、魚屋町など、ほとんどの町筋が旧規を残している。その保存の良さは最も改造や建替えの進んでいる二階町ですら、他の地方の歴史的町並といわれるものと比較しても、おとらない。これらの道筋は延長3kmを越えていて、まさに圧巻である。篠山が良く残っている理由は、多紀郡の中心でありながら鉄道の駅が遠い内陸都市で、近代的産業の発達がなかったことによる。

●西新町　西外濠の西側に徒士を居住させたもので、古くは御徒士町と呼ばれていた。現在では10数戸の草葺を主とした武家住居が並んでいる。新建築も点在しているが、築地塀や草葺の門が侍屋敷の風情を伝えている。各戸の敷地は間口8間（約15m）奥行24間（約45m）で、町家の平均の2倍以上の間口幅をもっている。この町は天保元年（1830）に大火があってほとんど焼失して、その後に建てられたのが、現存する古い屋並である。外観は同じように見えるが、実際には建物ごとに違いがある。たとえば道路の東側では、座敷は西に置き床間を西につけるから、道路との間に庭はない家が多いが、西側の住居では、座敷は東に配して床間を北または南側につけるから、道路との間に前栽ができる。入口の位置もきまりはないし、棟も直交させるいわゆる中門建（曲屋）の屋根もある。同じ草葺屋根で通庭形式の平面をもっていても、農家の場合は画一的であるが、武家住宅では同じ徒士という階層でも自由な構成が可能であったこ






**西新町の町並**（「兵庫の町並」より）

とがわかる。城下町として侍屋敷の残っている町は少なくないが、徒士町としてこれだけのまとまりをもって、かつ同じころに建った住居が町並を形成しているところはめずらしい。

●河原町　篠山の東南端の篠山川沿いにある東西およそ600mに及ぶ細長い町で、京への上り口にあたり、江戸時代から明治時代へかけて、多紀地方の商業の中心として大変にぎわった。しかし商業が西へと移るにつれて次第にさびれ、最近では買物客も少なくなり、時たま観光客が訪れる閑静な町並となっている。北摂や丹波の町並の多くがそうであるように、この河原町の建物も、妻入の瓦葺二階屋が軒を連ねているが、建立年代や生業や規模などで変化がある。古い家で規模の小さな家は妻入で、二階も半二階の天井の低いものが多いが、規模の大きな家では平入の半二階屋が多いし、時代の新しいものは本二階が原則となり、間口の小さなものでも平入にする傾向が強い。表構えも古くはしとみが多く、格子を建てた家がこれについだ。二階の窓も出格子窓にむしこ窓をつけるのが多い。敷地は間口3間から4間（約5.7m～7.6m）で、奥行が20間（約38m）前後と細長い。平面は北の北・南の関係なく、京側に通した土間に沿って二ないし三室をもち、坪庭をへだてて納屋や離れをつくっている。この構成は同じ篠山の他の町並でもほとんど同じである。



**河原町の復元町並**（「兵庫の町並」より）

城下町としては他に、三田・竜野・出石・姫路などに部分的ではあるが、古い町並がみられる。

**生瀬（西宮市）**　瀬戸内海に沿った西国街道と姫路で分かれて三木、淡河、湯山（有馬）、生瀬、小浜、池田と結ぶ主要街道を京・伏見街道（または湯之山街道）と呼ぶが、この街道沿いには古い町並が良く残っている。そのなかでは、とくに生瀬の保存が良い。ここはさらに道場河原をへて、三田、古市、篠山へとつながっていたから、大阪や京から有馬への湯治客も加えて、この地方の馬次の中心的な宿駅であった。江戸時代後期から明治中ごろまでは、丹波からの産米を西宮や大阪への輸送には、ここを利用するため、米商人を兼ねる者が多く活気があふれた町であった。しかし明治32年（1899）に阪鶴鉄道（福知山線）が開通してからは、一転して逼塞してしまい繁栄を止め、当時の町並を今に伝えることになった。

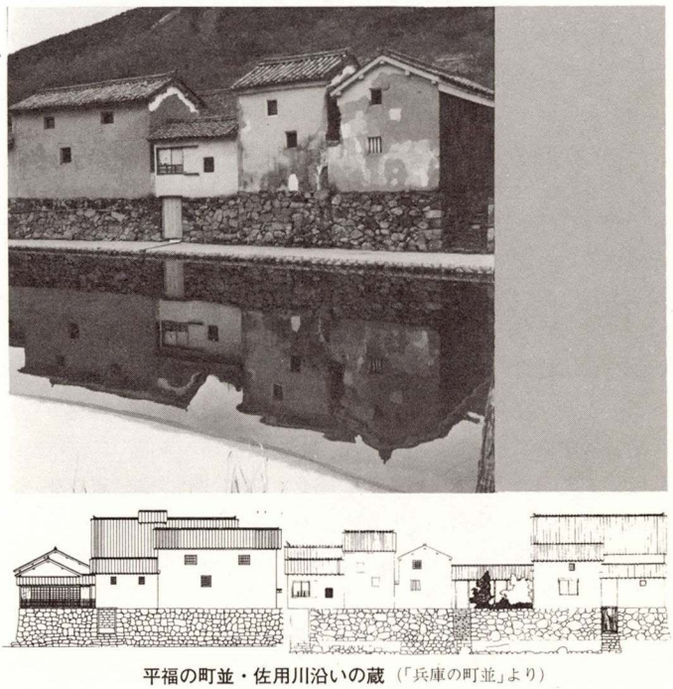
町の生長は文書が残っていてよくわかるが、家数を見れば、延宝年間(1673～81)には107戸で、享保15年(1730)に165戸と急増し、元文5年（1740）に大火があり157戸が焼け、わずか9戸残ったから、166戸あったことがわかる。その後ややへって天保9年(1838)に138戸となり、明治11年(1878)には137戸だから、ほぼ横ばいである。街道に沿った家も延宝で東側が27戸、西側が28戸で、この数は現在の屋敷数とほとんどかわっていない。町並の大部分は妻入半二階建瓦葺の家でなり立っている。外観は一階にさしかけ庇をつけ、道路沿いに2階をつけ妻に武者窓や格子窓をつけて外壁を白しっくい塗りにしているのは、篠山などの町屋と大差はない。ただ土間の位置は篠山河原町のように一方に決まっていなく、建物によってまちまちである。屋敷の規模も間口幅は河原町と大差ないが、奥行は浅い。純然たる町屋と、農業をしながら他に宿駅としての仕事を兼ねていた家との差であろうか。



**昭和33年ころの生瀬の町並**

近くの宿駅で、同じような妻入の町並を残しているのに、道場と古市がある。古市は篠山に近いだけに見落としがちだが、残存状況はきわめて良好である。同じ駅として拮抗した町である小浜も、まだ古い家が並んでいるが、平入の家を主としているのは、摂津の平野部の傾向を示すものである。また同じ街道で播磨へ入ると淡河と三木もやはり古い町並を残している。

**平福（佐用郡佐用町）**　同じ宿場でも平福は山あいの町であるが、舟次の駅でもある。播磨と因幡を結ぶ街道の一つで、佐用で作州街道から分かれて、大原をへて智頭へ抜ける道の沿道にある。すぐ横を佐用川が流れていて、町はこの川沿いに曲がりながら約1kmにも達する一筋町である。道筋でみる限り平入で半二階の瓦葺の町並がつづくのだが、この町の特徴は何といっても佐用川沿いに並んだ蔵の景観であろう。因幡や美作の奥地から陸路はこばれた産品が、ここで高瀬舟に積みかえられて、瀬戸内海へ送られたが、その品々を舟に乗せるまで保管するための土蔵や納屋が川岸に建てられたので



**平福の町並・佐用川沿いの蔵**（「兵庫の町並」より）




室津の町並（「兵庫の町並」より）

ある。荷の積み出しは広い中庭から建物下を通って川岸へ出ることのできる通路を使用していた。このような方法で水路とつないだ例はめずらしい方法といえる。この景観も近年行われた護岸工事のために一部しか残っていないのは惜しまれる。

**室津（揖保郡御津町）** 古くから瀬戸内の海上交通の泊として知られ、遊女の濫觴の地として有名な室津にも、江戸時代後期の古い町並が残っている。ここは江戸時代に参勤交代の大名や外国使節の上陸の港で、大きな宿場町であった。その規模は「室千軒」といわれ、狭い土地に千軒の建物がひしめいて建てられていた。そのにぎわいは、西鶴の「好色五人女」の、お夏清十郎の悲恋の物語りの出だしに、「室津はにぎわへる大湊なり」「此津の遊女八十七人有しを」などとあって、17世紀中ごろの様子が述べられている。現在は二軒だけ残った本陣も、かつては六軒あったが、このように多くの本陣が置かれた宿場は箱根の宿以外にはなく、室津の宿場としての規模の大きさがよくわかるだろう。

町は大きく湾曲した港にそってつけた路に面して、大部分の家が建っていた。本陣などの主な家は町のほぼ中心部にあり、宿屋となる大きな家は裏玄関を港に向けてつけていた。道が曲がっているため、宅地は矩形ばかりではないが、間口3間（約5.7m）、奥行12間（約23m）か15間（約29m）が標準で、他の宿場や町屋と比べても狭いのは、多くの家が建てこんでいたためだろう。建物は平入の瓦葺二階屋が多い。一階の構成は他の町屋と同じで大戸と格子からなっているが、二階が総二階で、道路に面して縁をつけ、腰高の高欄をつけたものが標準的な外観である。この形式は県下の他の地方では明治時代に入ってよく用いられるようになるから、室津は進んでいる。なお普通の家では通庭形式の土間をもっているが、本陣などの大きな家では、通庭でない複雑な間取のものが多かったらしい。この室津の町並がよく残ったのは、他の古い町並と同じで、明治に入って、参勤交代の廃止と交通路の変化・鉄道の開通、蒸気機関による海上輸送の大型化などで、ほとんど港が利用されなくなったためである。戦後も30年代までは陸の孤島のような漁港であったため、古い町並をそのまま保持していたが、最近では播磨工業地帯の通勤圏となってベッドタウン化しているし、作る漁業がようやく軌道に乗って活気づいてきたこともあって、時期的に大がかりな手直しを必要としている古い家並が、次第に新しい家にかえられてきている。

他の瀬戸内の西国街道に置かれた宿駅には、大久保、加古川、青山など、古い面影を今に伝える町並が比較的良く残っている。

**養父郡の養蚕家屋、** 但馬では、古い町並はほとんどうしなわれてしまった。雪と季節風の関係であろう。だが八鹿から関宮への9号線沿いにみられる養蚕家屋の集落は、他に見られない独特の町並を造りあげている。二階または三階の切妻の屋根をもち、赤茶けた大壁に小さく開けた二、三階の窓の家々は、異国的である。この形式は19世紀中ごろから盛んに建てられたり、改造されたもので、さほど古いものではない。もともと雪のために軒を高く造る但馬の民家で、蚕の育生のための入母屋を切妻屋根として、小屋裏を二、三階として利用したものである。したがって一階の平面は平入の広間型または四間取りを基本としているし、正面の扱いも普通の民家とかわらない。

淡路も古い町並がほとんどなくなってしまった。街道が東浦・西浦とも海岸を通っているから、風や浪が強いし、道路の拡幅が進んだことも原因である。そのなかで岩屋や福良にわずかだが残っている。また洲本は城下町としての町割が残っていて、古い町屋もさがせばあちこちに散在している。このほかに土生のように山がせまり平地がないから、急な山すそに段階状に横に家が建ち並び、特異な景観を見せている集落や、ぎっしりと家の立ち込んだ沼島の町並みもある。

以上が、兵庫県に残っている古い町並の概観であるが、篠山をはじめ、保存の良い町並が少ない。しかしこれらの町並も、戦後の高度成長のもたらした、自動車という小さな魔物の普及によって、通勤圏の拡大や工場の進出などがもたらされて、急激にその姿をかえつつある。これらの町に住まないわれわれが、そこの住人たちに家の建て替えを責めることはできない。そのかわり、現在の古い家々でも、新しい薄っぺらな建物よりも快適に生活ができることを、具体的に示して、協力を要請し、保存対策を社会全体の共同負担として実施する必要があろう。そして、建築家としての立場から、少なくとも古い町並に調和できる家の設計を提供すべきであろう。それが、古い町並を生きたままで、後世に伝承できる最善の方法だと思う。

（たぶち　としき　神戸大学助教授）

# 中国縦貫自動車道について——中間報告——

斉藤　昌之

## 1．夢の回廊

中国縦貫自動車道（略称、中縦）は、吹田～下関間542kmと言われ、兵庫県下では全線開通し、岡山県の北房インターチェンジまでが供用されている。中縦の開通は、とくに裏日本と大阪圏とを結ぶ動脈としての機能を発揮しつつあり、全線開通した場合の“効果”——時間距離の短縮、輸送量の増大等——は計り知れないものがあろう。

県は、中縦と沿線の個々の開発計画を総合して、「播磨内陸都市圏構想」および「緑の回廊計画」を作った。“緑の回廊”とは、中縦そのものについて言われることもあり、また中縦沿線に計画された社会、文化、レクリエーションなどの施設を言う場合もあるが、総体として「内陸都市圏構想」の一部をなしている。

また、兵庫県下では、“夢のかけ橋”と言われる本四連絡架橋や山陽自動車道が事業着手され、これと連動・複合して“夢”は限りなく大きく広がってゆくかに見える。「高速自動車道が開通し、インターが出来、そして追いかけるように工場と住宅が来る。」……

このような開発期待は、全く根拠がないわけではない。周知のように、東名・名神自動車道の開通に伴い、相対的には低開発地域であった静岡県や滋賀県に、内陸型工業が進出したことは、事実であったし、「新全総」や「列島改造論」は、高速自動車道によるネットワークの建設と工業再配置を基本的な枠組みとしており、「ハイウェーが、工場と住宅を乗せて走って来る」ことは、疑問の余地のないところであった。

このような状況の中で、中縦沿線の住民は、①所得が上昇し、②地価が高騰し、③地域全体が都市的になることを、一般的な期待として持った。また、民間開発業者の期待も大きく、投機的要素の高い土地買収が昭和45年頃をピークとして進んだが、その保有面積は約2万haに及ぶと言われている。これらの土地取得は、東名・名神自動車道の先例にも見られるように、大都市地域から拡散してくるはずの工場や住宅などの受け皿を、先取りしたものである。むしろ結論から先に言えば、内陸部の開発を優先させるために、山陽自動車道に先行して中縦を建設しているのであり、相応の開発が行われないとするならば、中継の目算が狂うことになる。

中縦は、東名・名神とは異なり、低開発地域を縦貫する自動車道として建設された。瀬戸内沿岸の国道2号線、山陽本線および山陽自動車道との関連では、地形的な制約もあるが、典型的なラダーパターン（梯子型）となっている。これを大阪および瀬戸内臨海との位置関係で性格付けすると図－1のような構造となる。“大都市地域”とは、常識的な意味で、阪神間への通勤可能な圏域を意味している。

“非大都市地域”——県下では播磨内陸地域に相当する——は、“大都市近接地域”とそれ以外に分けられるが、播磨内陸部の主要な側面は、大都市近接型である。

## 2．播磨内陸都市圏構想

播磨地域は、加古川、市川、夢前川、揖保川および千種川の五水系を基盤として成立してきた地域である。南部は、いわゆる播州平野であり、古来より播磨の中心地であり、姫路、加古川、高砂などの臨海部には、重工業が立地し、日本でも有数の工業地帯を形成している。また東部は丘陵、台地であり、北および西部は中国山脈に連なる老年期の山地を形成している。

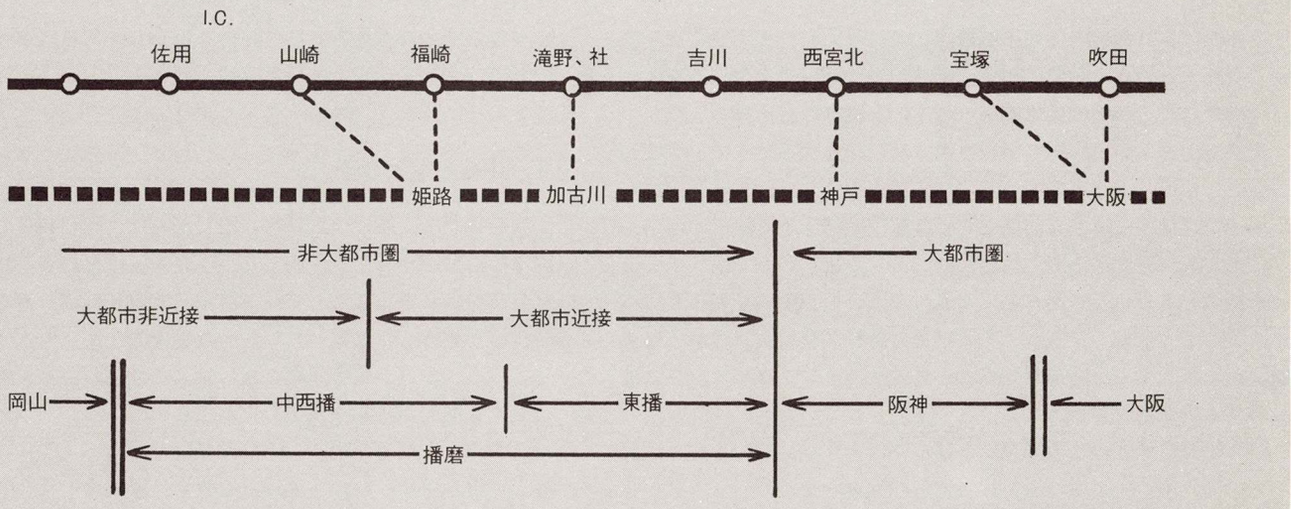
播磨の臨海部は、戦前から製鉄、鉄鋼、造船などの基幹産業が集積していたが、戦後はこれに加えて、化学工業や電力産業が立地し、名実ともに“新産都市”として成長しつつある。

播磨内陸部は、阪神大都市圏とこの臨海工業地帯の後背地としての性格を持ち、労働力と農産物の供給源であった。昭和30年代の過疎化現象の中で、裏日本のような壊滅的な打撃を受けなかったのは、臨海部からの通勤圏にあったことや相対的には都市的基盤施設が蓄積されていたことなどによるものと思われる。しかしながら、この内陸部は、自力で成長をとげるほどには、力量を持っていない地域であった。

しかし、今や「中縦の建設を契機として、開発ポテンシャルを急速に増大させ、近畿圏の今後における開発上の大きな焦点として、その相対的地位を高めようとしている。」（昭和48年度報告書）とされ、さらに内陸部の状況をつぎのように概観している。

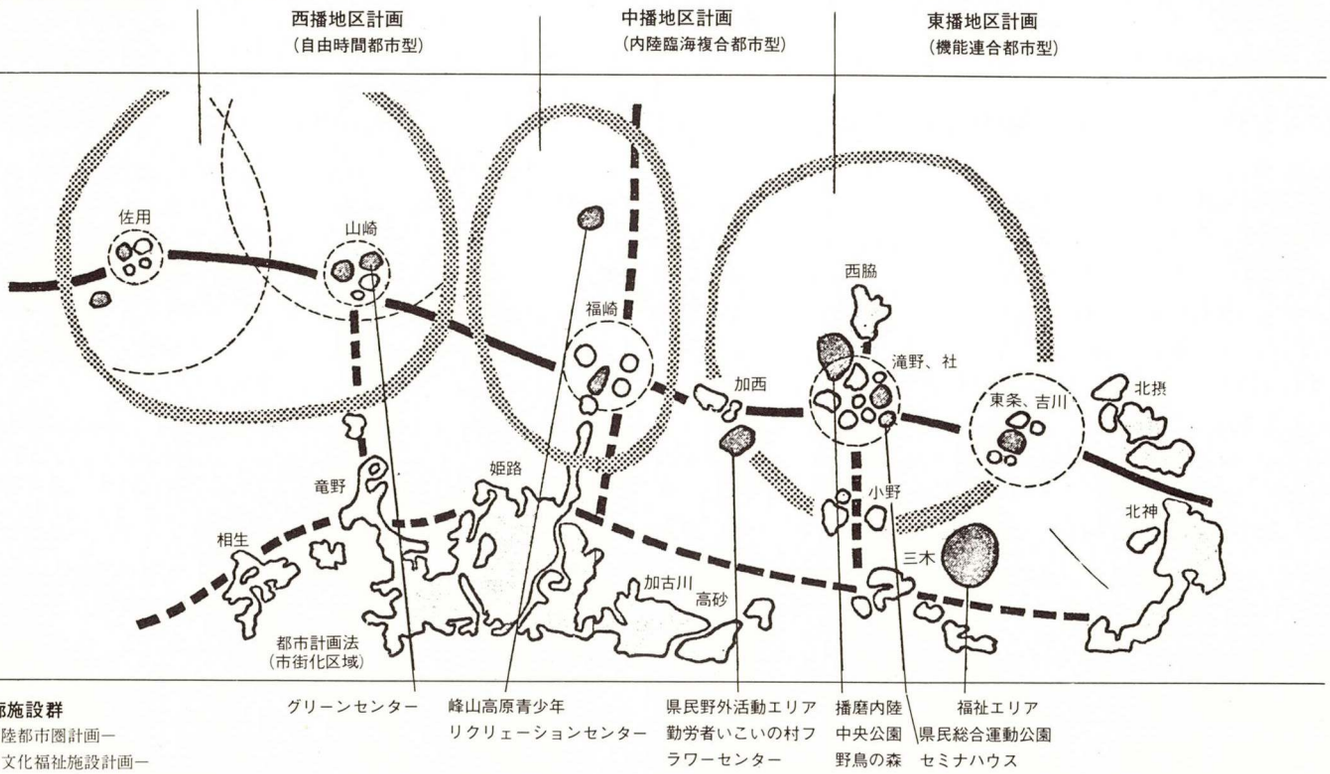
- 当地域は近畿圏において都市化の高い可能性を持ちながら、未だ進行していない最も広い地域の一つである。
- 中縦の建設をはじめとする地域の基盤整備の進行は、当地域の開発ポテンシャルをいやが上にも増大させている。
- 大都市地域内では、過密、公害など種々の都市問題をその域内で解決することが非常に困難なことから、拡散をはかろうとしてこの地域に注目している。
- これらの状況を先取りし、開発あるいは投資をもくろんで多くの土地買収の動きが進行している。
- これを放置しておけば、これまで各地に見られるような開発のスプロールを引きおこすことは必定である。
- 一方、地元住民は、経済活動の低迷状態から脱却したい（安定した職場の獲得、特産業の質的発展、農業の質的発展など）、同時に生活関連施設の充実をはかりたいという要請がある。
- 地主は、この動きに乗じて現金を握りたい。
- これらは、個々バラバラの要請であって、計画として具体化しなければ、開発は住民にとって逆の効果しか果たせないことになろう。

等々であるが、なかでもインパクトの強い東播磨地域が注目されたのは当然である。




図－1

図－2　播磨内陸都市圏構想（「48年度予算教書」より）



### 3．東播内陸都市圏構想

従来から東播磨の内陸部は“非大都市、大都市近接型”の地域であったが、中縦の開通に伴い阪神大都市圏に直接引き寄せられることとなった。そのことを最も端的に表しているのは、民間資本などによる沿線の土地買い占めである。東条・吉川地区など阪神大都市圏に最も近接している地区では、民間の手のついていない土地はすでに皆無という状況になっている。また、この地域の南部の三木・小野両市は、神戸市のベッドタウン的位置にあり、民間の団地開発が進んでいる地域である。

瀬戸内臨海部に直接接しているこの地域は、ある程度の開発圧力がありながら、全般的には都市化が進まなかった。その要因は、①阪神圏に結びつくような交通手段が欠けていたこと、②相対的には自立型の地方的小都市群を形成していたこと、などによるものと思われる。

兵庫県は、「播磨内陸都市圏構想」の具体化を、まずこの東播地域で実施するものとして、「東播内陸都市圏構想」の実現に力を注いだ。構想は、この地域の母都市（4市）を既存の都市核とし、かつインターチェンジの周辺に集積される都市核を組み込んで、広域的都市圏を構成しようとしている。この都市圏構想は、①各都市核が、広域的に連携することを前提として各都市が相応する機能を保持すること、②阪神大都市圏とは相対的に自立した都市圏を構成することを特徴としている。**図－2**に示されるように、中縦を軸として南北に展開する形態となるが、その中でも滝野・社地区、吉川・東条地区および三木・小野地区で構成されるトライアングルは、この地域の基本的な構成要素となることが予想されている。

県および自治体のこの構想にかける夢は大きく、関連事業とされたものは、重点施策の一環として特別の配慮を受けている。しかし、中縦開通に伴い新たに計画された事業でも、未だ土地取得ができないものもあり、とくに工業団地や流通業務団地などの基幹的施設の事業実施の目処は明確になっていない。

また、この種の構想には常に付きまとう問題であるが、民間開発に対するコントロール手法を持たないため、公共投資が、民間投資の先行的受け皿作りに陥ってしまう危険性を持っている。

### 4．行政の対応

この地域は、一部が都市計画区域であるが、大部分は都計区域外である。土地買収のピークであった昭和45年頃は、全く無規制の状態であり、乱開発を防止せよとの声が強かった。行政の本来とるべき措置としては、都市計画区域に編入し、規制を強化すべきであったが、これは実現されなかった。この代替えとして、「宅地造成等規制法」による規制区域が指定された。「規制法」は、“技術基準法”であり、都市計画的見地や規制の手段を持たない法律であり、規制区域指定の意味も、本来の趣旨とは異なっているが、乱開発を防止するという観点からとった行政側の措置であった。

また、これと前後して県は、「開発指導要綱」を策定した。この要綱は、都市計画区域以外についても、1ha以上の開発行為は「都市計画法」を準用して承認を要することを規定したもので、“要綱”という強制力を持たない制度ではあったが、「国土利用計画法」や「森林法」が制定・改正されるまでの間、相応の効果を上げたものと評価される。

### 5．今、何が……

中縦沿線の民間買収地は相当な量にのぼるが、今のところゴルフ場以外の開発は予想されたような進展を示していない。ここ3年来のインフレ不況による経済情勢の悪化が直接の原因であろう。また、ゴルフ場経営の中には、当面の金利負担分を回収しつつ、将来の動静に備えている側面もうかがえる。また一方、期待された工場の進出も予想以上には進出していない。そのような意味では、当初の予測に反して急激な変化は表れていないと言えるだろう。

しかし、このような経済情勢を最も深刻に受け止めているのは、民間の零細な開発業者と先行買収地を持った公的団体である。中縦沿線だけに限らないが、いわゆる“山林分譲”が大きな問題になりつつある。“宅地まがいの山林”や“山林まがいの宅地”が法律いっぱいのところで市場に放出されてきている。現在のところ、県の行政は有効な手段を講じていない。

一方、前述の内陸開発構想に基づいて先行取得した土地の処置は、公的団体の悩みの種になっている。中縦関連の諸計画は、超長期的な目途で実施されることが前提であるにもかかわらず、それに適合できる制度的な枠組みを持っていないからである。事業着手しないことには金利分の資金運用も収拾が着かないというのが、実態のようである。

### 6．中縦の落とし子

中縦構想を、県が公式に打ち出したのは、昭和45年であり、本格的な検討は昭和47年から始まり、現在も続いている。この間に経済社会情勢は大きく変わっている。“高度成長経済”から“低成長”時代へと移行したと言われ、設備投資優先、開発優先の声は弱くなっている。また、公害問題などに対する世論の認識も厳しくなり、投機的な開発が困難な状況も生み出されている。

このような情勢の中で、中縦構想自身が言うように、“地域の良好な環境を保全しつつ、地域の振興を最優先する複合的な地域計画”が、言葉のとおり実現されなければならない時代になっている。

兵庫県は、国に先駆けて、“環境影響評価制度”を条例化しようとしている。“地域の良好な環境を保全する”ための一つの措置であり、趣旨そのものは積極的に評価されるが、部内では必ずしも好評ではない。その理由の一つは、土地買収に先行してアセスメントが実施されるべきであり、買収も済み開発構想が確定している段階で適用しても、事実上は開発を是認するか多少の修正を加える程度であり、膨大な調査を実施する割には効果を期待できないとするものである。また、一定水準以上のものは、何でも許可せざるを得なくなり、一種の“お墨付き”を与えることになりはしないかという意見もある。

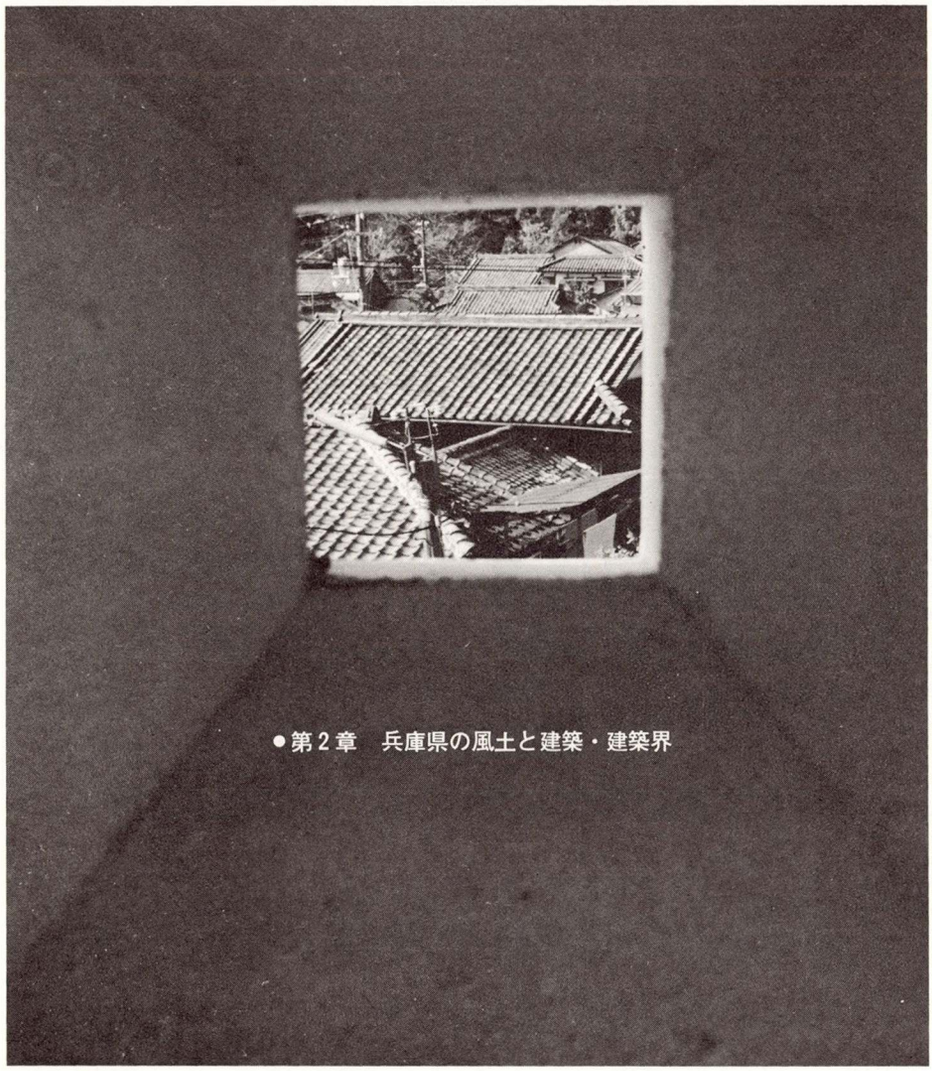
また、県は、“地域整備総合管理システム”と呼ばれる、コンピューターを使用した情報処理システムを昭和50年度から検討している。これは環境影響評価制度と表裏をなす部分もあるが、広域的な社会、経済的諸条件を重視している点ではより積極的な面を含んでいる。

これらの施策は、必ずしも“中縦の落とし子”というものではないが、“環境の保全”や“地域の振興”が、“高速道路と工場団地”の付録としてではなく、真正面から語られなければならない時代にさしかかっていることの証左ではないだろうか。

従来、地域開発を考える場合、程度の差こそあれ都市化の方向――人口増、人口の二、三次産業化、所得、消費の増大など――がプラス方向と考えられていた。しかし、この価値意識は徐々にではあるが変化しつつあるように思われる。また都市が、無限の膨張エネルギーを持っているかのように見える時代も去りつつある。

大都市圏の主要側面は、すでに膨張することではなく、自助（セルフガバメント）せざるを得ない段階にきているのではないか、と思われる。

（さいとう　まさゆき　兵庫県建築部建築指導課）



●第2章　兵庫県の風土と建築・建築界

## アンケートにあたって

「風土に根ざした建築へ」と言われて久しい。しかし、一方において混乱した町と建築が日本の都市を埋めており、風土に根ざした建築や町並みは未だうまれていない。

一方、それぞれの地元設計事務所や建設会社は、本来的にはある地域に責任を持つべきとも思われるが、なかなか手を出し得ない現状である。今回、兵庫県下の神戸・姫路・尼崎・豊岡・三田・洲本の六市を選び、地元の設計事務所と建設会社に末記の項目でアンケートを行った。それぞれの地域の自然や歴史や文化、さらに生活環境に規定された風土性を建築にどう反映すべきなのか。その可能性はあるのか。また、それぞれの地域での設計事務所や建設会社は、地域に根ざした活動をやっていけるのだろうか。そういったことをやっていける条件は、どんなことがあるのか。さらに、兵庫県下の地域における建築と建築界はどのような現状となっているのか。以下、アンケートを中心にまとめてみた。

アンケートの対象者は、兵庫県下の各地域を代表する地域中心都市より、下表のごとく選んだ。神戸は県下最大の都市、姫路は播州の中心都市、尼崎は阪神間の工業都市、豊岡は兵庫県内裏日本の中心都市、三田は内陸の中心地、洲本は淡路島の中心都市である。さらに人口規模により対象者数を変えている。回答状況は、記述式ということもあってあまり集まらず、若干回答者が少なかった点は残念であった。

（アンケート項目は巻末を参照）

アンケート対象者数と回答数

| | 設計事務所 | | 建設業者 | |
|---|---|---|---|---|
| | 対象者 | 回答数 | 対象者 | 回答数 |
| 神　戸 | 30 | 13 | 30 | 7 |
| 尼　崎 | 15 | 2 | 15 | 5 |
| 姫　路 | 15 | 2 | 15 | 4 |
| 三　田 | 10 | 2 | 10 | 1 |
| 豊　岡 | 10 | 2 | 10 | 4 |
| 洲　本 | 10 | 2 | 10 | 1 |
| 合　計 | 90 | 23 | 90 | 22 |

# 兵庫の風土と建築・建築界

## ――地域設計事務所・建設会社アンケート――

### 1．風土に根ざした建築

風土について、これまで一般的な立場からはいろいろ言われてきたが、物的な面から風土を変えうる立場にいる、建築家や建設業者は、どのような配慮や工夫を行っているのかを聞いてみた。(表1)

最も多かった意見は、「周辺のまちなみとの調和を図る」で7例あった。面白いことにこの意見は、神戸市と姫路市からしかでてきていない。このことは、異人館・酒蔵・城下町などの街のイメージが確立していること、大都市の街並みの混乱を眼のあたりにしていることの反省、あるいは建築家の意識が建築単体から街へ拡がっていることなどが考えられようが、はっきりしない。

ついで多かったのは「自然との調和」の5例である。これに関連して、「緑の設計」が2例、「地形を生かす」が2例、「眺望計画」が1例あるが、これらいずれも神戸市からの意見であり、他都市からはあがっていない。これは、神戸市が、六甲山系と海に挟まれた細長い地形上にあるため、常に自然を身近に感じ、また貴重なものと考えているためだろうと思われる。

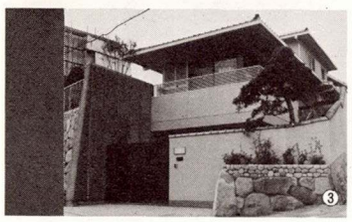
通風に対する配慮は、5例あげられている。夏むし暑い日本では、湿気を除くため通風を考慮することは必須条件となっている。とくに豊岡市では、多雨多雪・高温多湿の気候条件のもと、まず、これらの悪条件を取り除くことに力点が置かれている。同市からのアンケートのほとんどが、防湿・防水・排水・耐雪性・冬の日

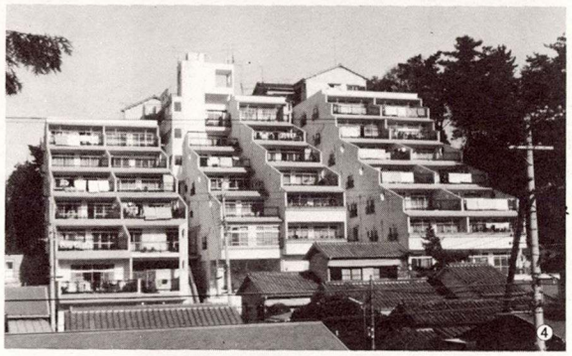
表1　風土に対する工夫

| 工夫の内容 | | 回答数 |
|---|---|---|
| 1 周辺の調和と状況 | まちなみとの調和 | 7 |
| | 自然との調和 | 5 |
| | 地形を生かす | 2 |
| | 眺望 | 1 |
| | 緑の設計 | 2 |
| 2 自然状況 | 通風 | 5 |
| | 日照 | 3 |
| | 暖房 | 2 |
| | 台風、浸水 | 3 |
| | 排水 | 3 |
| | 防湿 | 2 |
| | 耐雪 | 2 |
| | メンテナンス | 1 |
| | 冬期工事の乾式構造化 | 1 |
| 3 設計意図 | 色彩 | 2 |
| | 進歩性 | 3 |
| | 日本的感覚 | 1 |
| | エキゾチックなふんいき | 1 |
| | 明るい外観 | 1 |
| | 形を素晴らしく | 1 |
| | 芸術性 | 1 |
| 4 選択・施工上・材料その他 | 騒音、振動、事故防止等 | 4 |
| | 腐食性のあるスチール製品使用には配慮 | 1 |
| | 外装は汚れの少ない材料を | 1 |
| | 新しい建築家像 | 1 |
| | その他 | 21 |











## 神戸

神戸は、人口136万人を有し、全国第6番目の大都市である。
おだやかな瀬戸内気候のもと、六甲山系と海に挟まれ、南斜面上に展開された市街地は、街のいたる所から山や海が眺められ、また南北がせいぜい数kmということもあってヒューマンなスケールを保っている。また、四季を通じて、登山・水泳・釣など身近に自然に親しめる街である。こうした自然的条件が、他の大都市との最も大きな違いであり、神戸のイメージを高める要因ともなっている。
しかし、神戸市全体からみれば、六甲山系以南の市街地はほんの1割にしかすぎず、その背後に広大な地域をもっている。それらは古くからの田園地域として固有の歴史と文化をもった地域ではあるが、近年、市街地に近い地区には宅地開発の波が押し寄せ、ベッドタウン化しつつある。
神戸の街は、古くから「務古の水門」「大輪田の泊」「兵庫の津」と呼ばれ、海上輸送・国内取引・大陸貿易の中心地として発展してきた歴史を持っているが、明治の兵庫開港後は、国際港都として急激な都市化を遂げ、その過程において外国人との接触を通じて外国文化の影響をもろに受け、現在に至っている。
神戸の経済は、神戸港と密接なつながりを持っている。造船、製鋼、機械、製糖、製粉、ゴムなど神戸を代表するいずれの工業も、原料・製品の輸・移出入の便により立地しているものである。商業においても、貿易商社、通信運輸業が活発である。神戸の都心である三宮、元町は、外国文化の影響を受けて洗練されたセンスを持っており、とくに戦前においては、「流行は神戸から」といわれたものである。
中枢管理部門や卸売業などは、隣に大商都大阪があるため充分な集積をみせておらず、こうしたことが神戸の経済力の弱さとなっている。
こうした歴史的・地理的条件のもとでの神戸の街は、アンケートによれば「港情緒」があり、「モダンな香り」のする「健康で明る」く「気さくで暮らしよい港町」で、「開放的な生活感の中に合理的な市民意識が融和して」「よいもの

照・暖房・メインテナンスを考えた設計施工といった項目に集中しており、自然条件の克服・シェルターとしての性能確保に最重点が置かれている。

また、尼崎市では、密集工業地という状況を反映して、「施工時の近隣への騒音・振動の防止」など（4例）、「外装は汚れの少ない材料を選ぶ」などの材料選択の問題（2例）などが最も多く述べられている。この両市では、こうした悪条件の克服が、風土への考慮として把えられている。

設計意図の面からは、色彩が2例、「外観はともかく、ディテールやインテリアに日本的感覚を入れる」や「エキゾチックなふんいき」をもたせるという意見がある。一方、「郷愁を固守していてはその都市の発展はありえない」とする意見もみられる。「進歩性」については、他にも2例あげられている。また、「明るい外観」「形を素晴らしく」「芸術性」が各1例見られる。これら、設計意図にあげられた意見はすべて神戸市からの意見であり、先に述べた「まちなみとの調和」「自然との調和」などが多かったことを考えあわせると、豊岡市や尼崎市との違いが明瞭になり興味深い。

その他、「まず都市計画による整備が先決」、「特別なHOW TO はありません」、「小住宅のRC造の新しい形を考えている」などの意見があげられている。

風土は、われわれの先人達が営々として築きあげてきたものであり、風土を与条件として受け入れるだけではなく、これからどんな風土を創りあげていくか、という姿勢が重要だろうと思われる。それは、単に建築技術だけの問題ではなく建築精神の問題でもある。つぎの意見はそうした指向性をもつものとして評価されよう。

「街を構成する要素の一つとして建築物があり、ひとつひとつの建物の外面的なものと、その内容および使われ方が街のイメージを形成する。人間の社会的活動のための場を構成する容（うつわ）としてその敷地の立地に応じた適切な使われ方がいかにあるべきか。このことは建物ができるためのさまざまな条件の中でクライアントの要求条件を一方的に単に建築技術のみで消化していくことでは解決できない。今後の建築家の役割として最終段階の技術的処理にとどまらず、計画立案に参画しうるコンサルタントとして幅広い職能が要求されると思う。」

## 2．地域ドクターの可能性

質問内容は、若干、漠然としたものであったが、関心は非常に高いものであった。

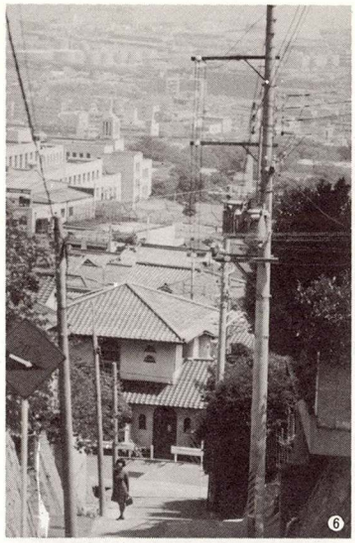
**1）地域ドクターの可能性はあるか**

であれば抵抗なく受け入れ、悪いものは惜しげもなく捨てられる」気質を持っている。が、一方では「港は、かつてのエキゾチックな雰囲気やドラマはなく」なり、「住民の気風も、土地に似て明るいが軽薄で重厚さや雄大さに欠け」「流行はあるが文化は不毛である」という声も聞かれる。

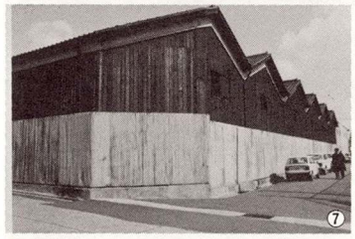
県都である神戸市の建築界は、県下への影響力をあまり持たず、むしろ東京や大阪からの進出に押されがちであり、昭和49年の神戸市建築文化賞の受賞者は全員市外の建築家であったように、大都市としては停滞している方に入ろう。

神戸の街並みは、代表的なものとしては、灘の酒蔵・北野の異人館群あるいは御影・ジェームス山などの優良住宅地が残っているものの、多くは戦災を受け、全体としては「無秩序な混乱状態の街並み」となっている。

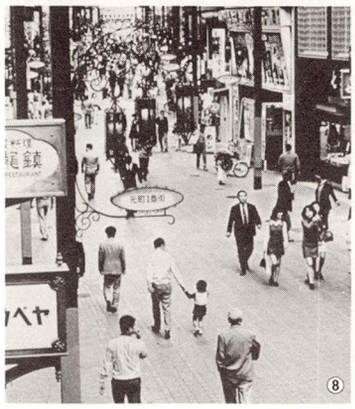
すぐれた自然条件をもちながらも、現在の建設傾向は、中高層マンションや文化住宅の建設・宅地の細分化・乱雑なミニ開発などによって、既存の街並みを破壊する方向にある。こうした傾向は、地価の高いこともあって、ますます増長するものと思われるが、神戸をどのような街にしていくのかという点において設計者や建設業者の責任は重大である。


⑥

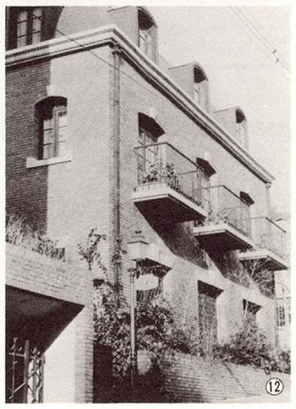

⑨


⑦


⑩


⑧




⑫

①神戸の市街地
②三ノ宮センター街アーケード完成予想写真
（生田区三ノ宮町）
設計：神戸建築設計事務所
幅員11ｍの道路上12ｍの高さにかかる立体トラスのアーケード
③Ｔ氏邸（灘区赤松町）
④鈴蘭台ビレッジ（北区鈴蘭台東町）
設計：神戸建築設計事務所
傾斜地を利用した段状の共同住宅
⑤御影天神山コートハウス（東灘区御影山手）
設計施工：戎工務店
⑥坂道から海が見える
⑦酒蔵（東灘区）
⑧元町商店街レンガ舗装：
都市・計画・設計研究所
エキゾチックなイメージの再生復活
⑨近田幼稚園　設計施工：王子建設
⑩異人館（生田区北野町）
⑪旧居留地（生田区海岸通）
⑫にしむら（生田区中山手通）
設計施工：竹中工務店

**表２　地域ドクターの可能性**

| | 可能性有り | そうありたいが現状では無理 | 必要無し | 無回答 | 合計 |
|---|---|---|---|---|---|
| 設計事務所 | 15 | 4 | 2 | 2 | 23 |
| 建設業者 | 13 | 2 | 0 | 7 | 22 |

その可能性であるが、回答者36例中28例の方が可能と答えている。

たとえば、「設計業務の中で、おたずねのような地域の仕事は、建築設計者の義務だと思います」（ＡＹ６）とか、「必然的にそういった方向を指向せざる限り建築家の存在意義は薄れる一途をたどるのではないか。」（ＡＹ１）、「建設技術者として直接できる社会への奉仕貢献のみちであることは論をまたない。」（ＡＸ１）など、可能であるというよりも必要だと述べられている。（**表２**）

そのうち、さらに現在すでに行っているとして、建設業者において、「ホームサービス部」を設立した（ＢＸ１）とか、「Ｎサークル」として活動している（ＡＸ６）といった意見が２例、また、「兵庫県では、上記の趣旨に添うべく、官民共同出資のもとに、財団法人“兵庫県住宅建築総合センター”を創設し、……（中略）…… 積極的に協力参加している。」（ＡＸ４）とか、「専業の設計事務所の任意団体である兵庫県建築設計連合も地域の建築のホームドクターとして……（中略）……５年前に発足している。ただ社会へのＰＲ不足で、まだ十分お役に立っていないが…」（ＡＹ12）といった組織ができてきていることを紹介するものが、２例見られる。

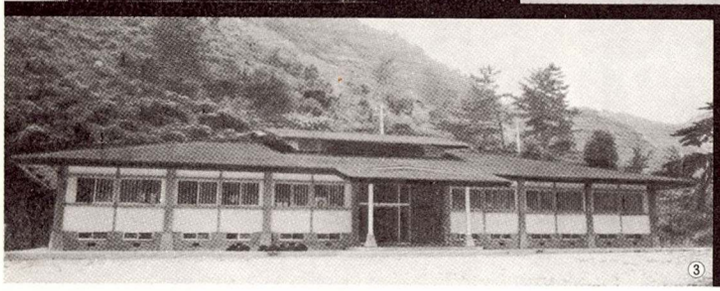
一方、必要無しと答えているものは、「現状では無理」を含めて、８例あるが、「私は、特殊建築物調査士の資格を持っておりますが、それは、どういうことかと言えば、法的に言う特殊建築物（病院、百貨店、マーケット、学校など）は、定期的に検査の義務を課せられているにもかかわらず、それすら守られていない。その結果が、百貨店の火災、雑居ビルの火災など列記すれば、限りがない。まずその方が先決ではなかろうか？」（ＤＹ２，ＣＹ１類似）の２例であり、さらに、「大変良い発想であるが……（中略）……とくに現在の分譲住宅などは、ひどいものである。このような建物は数年ごとに手を加えることは、良くすることよりも直すことであり、改良と呼ぶには程遠い。」（ＢＹ１）とか、「ホームドクターも良いが、……（中略）……より良き環境づくりに設計事務所が参加できる仕組みを作るべきである」（ＡＹ５）、「修繕、改造等の工人が減少していることにより、相談したことが実現しないのではないか。」（ＦＹ１）、「そんな能力や権限が設計者にあると思われない。」（ＡＹ８）、「ニュータウン建設途上にあり、……（中略）……現在担当する県市の態度が五里霧中の状態と推察できる。そんな中で、意見として不適。」（ＤＸ１）などの意見が見られる。

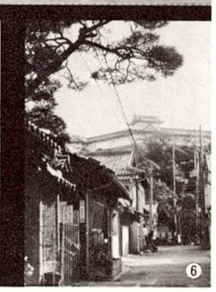












① 駅前大通り
姫路城を望む
② 姫路城
③ 姫路市立琴ケ丘高校柔剣道場
設計：巴設計事務所
④ 姫路市役所
元兵器庫跡を利用
⑤ 戸谷公民館
(飾磨区夢前町)
7mの四方持ち出し
設計：巴設計事務所
⑥ 城下町の面影を残す

## 姫路

姫路市は、兵庫県西南部、播磨平野のほぼ中央に位置する商工業都市。「わが播州地域は、気候、歴史、文化などは全国的に見て、まれに見る住居環境にすぐれ……」と言われるごとく四季を通じて温暖、小雨の気候と石英粗面岩の噴出や、市川・夢前川・揖保川などが運んできた土砂で埋積された複合三角洲の地形の自然的条件が整って穀倉地帯となり、良質の工業用水に恵まれた都市である。

また、「姫路市の中心部に国宝姫路城があり、戦災で市の大半が焼けてしまったが、焼けていない町並みは城下町にふさわしい、ひなびた美しいものがある」と言われるごとく、白鷺城で名高い姫路城は、市のどこからでも眺められ、シンボルとなっている。

また、城下町としての古い町並みは、お城の北部に若干残っているが、ほとんど保存の努力は見られず、市域の発展とともに、マンションなどに少しづつ変貌していっている。そういった古い町並みとは対称的に、姫路駅からお城までの駅前通りに、デパートや事務所がひしめき、市の中心街を形成している。さらに、市域の南西部に位置する手柄山中央公園には、文化、体育、娯楽施設が集中的に建設され、お城の周辺の公園とともに、住み良い中核都市として、市民の手近に緑と憩いの場が建設されている。

産業面では、飾磨・広畑などの臨海埋立地区を中心に、鉄鋼、紡績、機械、電気、食料品などが発達し、マッチ生産においては全国生産の6割を占め、わが国第5の工業地・播磨工業地帯の中核をなしている。さらに、姫路は古くから交通の要衝であり、国鉄、私鉄、道路などの結節点となっている。そういった性格をそなえる姫路市は、阪神間とは、また違った一つの文化圏を形成し、人口43万人としては、かなり大きな文化ホールや、体育館などをそなえ、近隣市町の中心ともなっている。それは、建築界にも表れ、**表12**に見られるごとく人口が若干多い尼崎に比べても設計事務所は、約2倍という乱立ぎみの状況が見られる。

### 2）地域ドクター化への条件

全体的に、可能性があるという方向の意見が多いと思われるが、それでは、どういった条件が整えば可能であろうか。**(表3)**

まず建築家などの自覚ということで、「建築家自身が自覚すること」（AY1）、「個人の人間性の問題もあり……」（AX2）、「建築士の地域貢献意欲の量の問題だと思います。」（AY2）、「技術者の養成」（AX7）、「ただし、担当官公庁の人間性、従事する民間の人々の質が問題である。排除すべきは、①エコノミック性、②一億総たかり時代と言われる非創造性、③建前と本音の分離相反」（AX5）と5例あり、逆に世間一般の認識ということで、「電気製品などとは別の品物で有ることを一般の人に認識してもらわなくては……（略）……」（EX4）、「可能性のある無しは、相談される住民の意識しだいと思います。」（AY7）、「施主の理解」（AX7）、「建築技術者、建築コンサルタントのPRを積極的に行い、世間一般の認識を高め信頼を得ることが先決ではないかと思う。」（AX3）、「問題はいかにして、一般の住民に自己の住まいへの技術的な関心を持たせられるか。」（AX1）と同じく5例見られる。

さらに、具体的な提案としては、「事業化できる報酬の明確化が必要」と5例において述べている。たとえば、「地域社会の人々で、設計料、相談料を支払う認識ができることが必要である。」（FY1）、「必要な条件としては弁護士のように技術的助言に対して、経済的な評価が必要である。」（EY1）などが見られる。また、一方においては、逆に、営利を目的としないものといった方向、つまり、公共団体や第3セクターの方向が望まれている。「この行為が営利と無縁であること……」（AY2）、「営利を目的としない団体を作ること」（AY9）、「相談料など、出費が大でないこと。」（BX2）、さらに、「……（略）……そのためにも公的な方面や、協会などの奉仕団体の指導と推進が是非とも望まれる。」（AX1）、「法的にそれをバックアップすることが必要条件ではないかと思う。」（AY1）、「設計者の団体と行政が協力することによって、きっと建築設計の仕事が積極的に地域文化に貢献できることになると思いますし、……(略)……」（AY6）、「資格に対する立法化と、各市町村よりの助成金などにより、今の健康保険制度のようなものを作り、……（略）……」（CY2）、「……（略）……設計業界、施工業界、一丸となって常駐相談所を

**表3　地域ドクター化への条件**

| | 公共団体等による第3セクターの方向 | 建築家等の自覚 | 世間一般の認識 | 事業化できる報酬の明確化 | その他 | 合計（多重回答含む） |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 回答数 | 9 | 5 | 5 | 5 | 2 | 26 |

## 尼崎

尼崎市は**表12**でみるとおり、人口は54万余あるが、一次産業の人口が極端に少なく、二次、三次産業のウエイトの高い工業都市である。建築関係の数字をみると、たとえば同程度人口を有する姫路市にくらべ、建設業者の数においてはあまり差はないが、設計事務所の数が非常に少ないことがわかる。これは尼崎市が大阪、神戸という大都市にはさまれた位置にあるためによるのかも知れない。

周知のように尼崎市は、工業都市特有の生活困難が全般的に顕在化しているところである。この辺の問題に関係した意見には、つぎのように、「今後は都市再開発や、工場団地設置など進展しつつあり、緩慢であるが環境の改善が進みつつあるので住みよくなってゆくものと思う」といった期待をもつものがある。

また、新興の工業都市という名が与える一般的なイメージの中で、見逃されがちな点として、「歴史的にも秀吉ゆかりの寺、今はないが琴浦城跡があり、町としては古くからあり……」といったものや、「……市内北部にはいわゆる『武庫之荘』という地名で代表される高級住宅街が、また、各所に繁華街（中央、三和、杭瀬など）がある」といった紹介がされている。

そして市民性については、「……庶民的気風が多く、中に入ると楽しめる街である」というようなものがある。

交通面については、「東西軸は阪急・国鉄・阪神があるため便利であるが、南北軸の交通が不便である…」と指摘されているように、南北間の公共手段は時間のかかるバスがあるのみで、このことは、市域の南部と北部の結びつきを弱め、文化的にも分断されているに近い状態となっている。当市の住民の多くも、この問題を都市整備上の大きな課題として考えているようである。



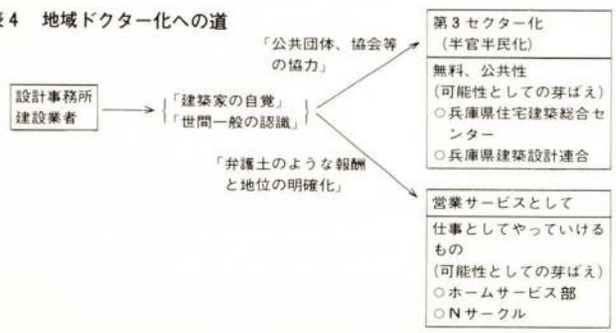
1 城跡廻りの古い住宅地・築地
2 市内武庫ノ荘あたりの高級住宅地
3 県立塚口病院　柄谷工務店
4 近松記念館　柄谷工務店
文豪近松翁の史跡。近松公園の一隅にあり、展示室や小劇場をそなえている。
5 東園田集合住宅（模型写真）REO建築計画研究所
個人住宅を持ちたい人達が共同施主となって建てる新しい試みの集合住宅
6 堀邸　REO建築計画研究所

設けて、気長にＰＲすれば効果あると思います。」(ＥＸ２)、「地域の設計業務担当者を主体とする何組みかの単位グループを編成し、当番制で行政官庁後援のもと常設無料相談コーナーを設置する。」(DY1)以上、９例が寄せられている。

その他、「一度、相談することによって、身動きできなくなるような拘束性がないなどの運営面での配慮が必要と考えられる。」(BX2)、また、「だれでも判る住まいの管理に対する小雑誌を作るべきである。」(ＡＹ９) などの意見も見られた。

以上、全体を通じて言えることは、**表４**のごとく地域ドクター化への目標のイメージとして「第３セクター化」と「営業サービスとして」の２つあり、それぞれが、芽ばえらしき例もあげられている。

**表４　地域ドクター化への道**




また、それに達する条件としては、「建築家の自覚」、「世間一般の認識」、さらに「公共団体、協会等の協力」、「弁護士のような報酬と地位の明確化」が必要である。これらの条件は、なかなか困難な面も多いが、それぞれの地域での風土に根ざした建築を育てていくためにも、また地域の設計事務所や建設会社が、より地域社会に貢献していくためにも、今後、さらに追求していくべき方向と思われるし、その可能性が見られるようであった。

## ３．プレハブ化の問題

この問題について設計事務所に対しては「どのように感じているか」を記述式で答えてもらい、建設業者には「営業上の問題」と「どう考えているか」についてそれぞれ選択式で答えてもらった。

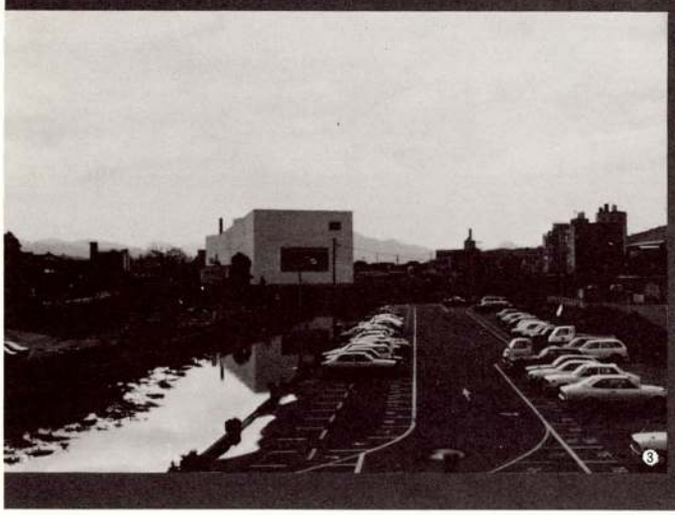
### １）設計事務所の回答

寄せられた回答の内容を、プレハブ工法などを支持するか、しないかという観点で大きく４つに分けると、つぎのようになっている。

イ）積極的に促進すべきだ……（２例）
ロ）現在は問題があるが、本来の目標が実現すれば支持できる……（８例）
ハ）支持できないが需要があるから仕方ない……（５例）
ニ）支持できない……（７例）







①逢徳会館――明治県立豊岡高校の一画に建つ豊岡市指定文化財
②玄武岩の石垣
玄武岩を積み上げて高床とした民家は、豊岡でもこのあたりだけ。それが積雪によるものか、円山川の氾濫によるものか定かではない。
③豊岡市立文化ホール
円山川の河川敷に建つこの建物は、雪国の陰うつなイメージを破ろうとしたのか、異色である。河川敷は駐車場と公園に利用されている。

## 豊岡

「山陰の小都」と言われ、「明治までの城下町」で、但馬地方唯一の市（人口4万6千）である。ここは「円山川を中心にした盆地」であり、「古来全域が沼地」であった。気候的には日本海の影響をもろに受け、したがって「冬は寒く」最高時の積雪は2mに達し、底冷えがする。夏は「高温多湿で雨も多く」“弁当忘れても傘忘れるな”というほどである。

山陰本線を北へ一駅下ると玄武洞公園があり、さらに下ると関西でも有数の城崎温泉がある。さらにバックには「山陰海岸国定公園を控える」など、観光資源は豊富である。しかし、そのことが豊岡の産業・経済・文化を規制しているわけではない。市には観光用の宿泊施設も少なく、交通網も北側とさほど密ではないし、経済圏も他県、他市の影響は少なく、「強いて言えば阪神方面よりも京都府との交流がある」。人口増減も、但馬全体では緩慢な減少傾向にありながら、この豊岡ではほとんど横ばいであって、どちらかといえば、裏兵庫において自立自営をかろうじて保っているといえそうだ。したがって今のところ「自然破壊もなく」、「静かであり住みやすい」と言える。

その原因は第一に地場産業にある。柳行李から発展した「鞄産業は全国の8割を生産し、その生産額は150億円にも及ぶ」。今のところ「大手企業の進出もなく」、「家内工業的零細企業でも一応の生活基盤はあるが、若人を惹きつける魅力に乏しく」、不況とインフレの波に弱い。第二に裏兵庫の行財政・教育・文化の中心地でもある。「県行財政の出先機関もそろい」、文化教育施設も県立・市立を問わず充実してきており、実業高校は裏兵庫ではここだけである。「街並みもパリの都市計画に習った区画で小さく形成され」、駅前広場に向かって、商店街をメインとした3本の道路が放射線状に延びている。しかし、明治以前の城下町も、ほとんどみる影もない。

個々の建築物は、今や歴史的風土や自然的風土とは無関係に建設され、「日照・通風・暖房に

---

これを見ると現在のプレハブ工法を否定的に考えている例が圧倒的に多い。ニ）の支持できないという意見にはつぎのようなものが寄せられている。

「設計の必要がなくなります。」、「経済的効果のみに起因するあり方には自づと限界があろう。すくなくとも本来の建築の諸条件を満足するものではない。」、「人間の顔がそれぞれ違うように、できれば個性のある住宅の方が良いと思う。」

つぎに、ロ）の「現在は問題があるが……」という意見が一番多いが、これは以下のような考えが出されている。

「ハウス55の結実を見守ります。個々のメーカーの技術開発の期待よりも国の建築行政の一環として取り上げるべきである……」、「……本来住宅のプレハブ大量生産方式は高水準、均質低廉、供給の容易、そしてつぎの世代に引きついでゆける立派な住宅を目標にしたものである。一方現在市販のプレハブのほとんどは営利追求のものであるのは今の経済機構の反映であろうが、かえってそのために需要も延びない。本来的な目標のプレハブで開発にはもっと統一された研究事業でなければその解決はできない……」（AY6）、「大量生産による長所を充分に出して下されば結構だと思います。たとえば安価になるために私達のような者(低所得者)にもマイホームの持てる可能性ができてくるとか……」（AY7）

一方、積極的に促進すべきだという意見には、「現代建築が生産に属している限り当然と思われます。むしろ積極的に今日の問題として取り組んでいきたく思っています。」（AY3）といったものがある。

**2）建設業者の回答**

●営業上の問題

イ）プレハブ工法修得済み、問題なし……（9例）

ロ）プレハブ工法修得してないため悪影響あり……（無し）

ハ）関係なくやっていける、問題なし……（13例）

●プレハブ工法についてどう考えるか。

イ）歓迎できる……（9例）

ロ）技術修得困難……（1例）

ハ）自由な仕事ができない……（6例）

ニ）満足のいく仕事ができない……（5例）

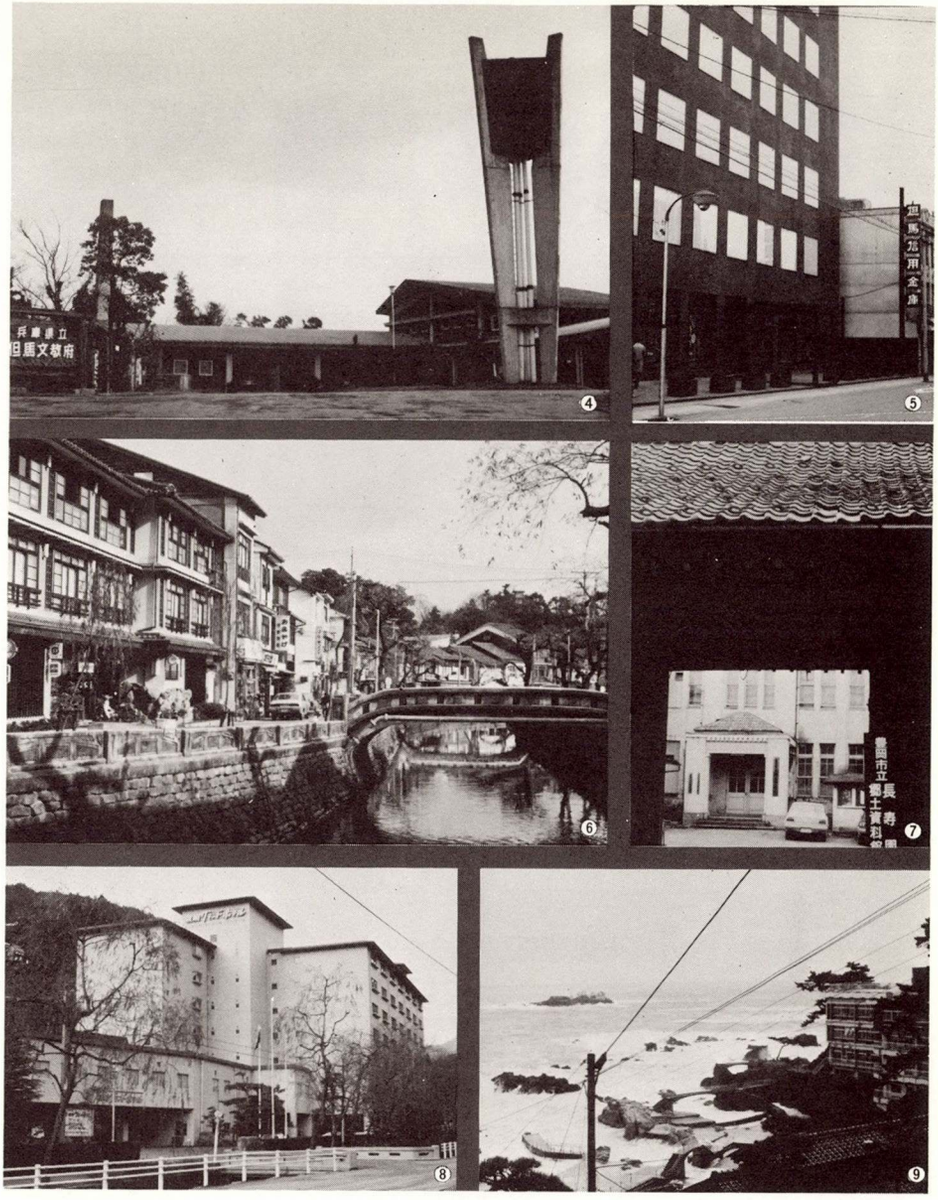
以上の結果を見ると、営業上はさして問題ないようであるが、受けとり方としては否定的に考えている例が多くなっていることがわかる。

つぎに、その他考えていることについての意見を紹介してみる。

「枠組工法は当初、地方一戸建需要担当の大工、工務店の合理化、近代化との建前で有ったが、現実には大手不動産業者の住宅建設への独占指向的システムとなり、地方業者を下請労務提供下におく結

対する計画に配慮する」程度に留まっている。生活条件としての職種が複雑化すれば、建築における平面計画も渾然化し、自然条件に打ち勝つ技術(たとえば、暖房、通風、防湿、積雪荷重、防水方法、基礎工法etc)が高度で多岐にわたれば、もう自然条件とは無関係の趣を持った建築物がところ構わず建立される。そうして一度破壊されてしまった歴史的風土はもはや、二度と顧みられることはない。

したがって、ここの建築界も、同じ4万数千人の人口を有する他市よりも、量的には一級・二級とも設計事務所が多く、業者も比較的上位ランクに入るものもいるなど、地域に根ざしながら但馬地方の核となる可能性を秘めているが、人口の増加も、産業構造の変化も生じる要素は少なく、したがって市内での建築活動において量的にも質的にもその主体的力量を増加させる可能性は希薄である。但馬一円を、京阪神からの今後増大するであろう観光旅行客のために、豊富な観光資源を破壊から守りながらどのように開発していくかというそのときに、そこに在住する建築関係者の力量が問われることになるだろう。




④ 兵庫県立但馬文教府
RC造にしては、自然と融合している方だが、イメージは全体的に暗い。
⑤ 但馬信用金庫
技術が自然を克服して近代的ビルが建ち込んできた。ただ、ショーウインドウには地場産業の鞄が展示されている。
⑥ 城崎の疎水べり
玄武岩の石垣疎水と、柳と、街路と、木造3階の旅館。今、この水を汚濁から守ろうとして、下水の暗渠工事が進んでいる。
⑦ 豊岡市立郷土資料館とその門
朽ちかけた江戸末期の大門とその中に立つ大正の建物
⑧ 城崎グランドホテル
温泉街の中心から離れると高層のホテルが目立つ。
⑨ 日和山海岸
ここは城崎の温泉客の観光コース。大ホテルも2カ所建ち込んできた。

果となり……全く残念である。」(AX5)、「コンスタントな需要がない限りプレハブ住宅は営業として成立しません。プレハブメーカーから代理店の勧誘もあるが、莫大な保証金やノルマがあり、食指が動きません。」(EX2)

以上のように回答の多くは、一戸建プレハブ住宅を意識して、経済的な側面やデザイン性の問題などについて語られているが、そのほかに出されている意見には、「但馬という土地柄、プレハブには問題点が多いと思います。第一に雪の点が問題で、あまり良いとは考えられません。」(EY2)というように、プレハブの立地限界性を指摘するものもみられる。

全体を通してみると、現在のプレハブ建築の生産が、相当数にのぼるメーカーのクローズドシステムの中で行われている仕組みを整備し、統一化された開発・生産体制を確立することの必要性が強く求められていることがわかる。また、建設業者の立場からは、営業上の制約や、ものを造り上げることのおもしろさがなくなるのではないか、というような不満などが基調となっている。

このようにプレハブ化の問題は、アンケート結果からも、これから解決されるべき課題を多くもっていることを確認できるように思われる。

## 4. 設計上、営業上もっとも力を入れていること

まず、設計事務所における設計上もっとも力を入れていることは、**表5**にまとめてあるごとく半数の事務所が、「施主の要求を可能な限り追求し、施主の身になること」を上げている。ついで「良いデザインと構造」の追求ということで、たとえば「釣合条件を満足させて素材の美しさを発揮し、安全かつ長くあきない建物を造るよう力を入れております。」(FY1)とか、「自然な無理のないデザインと構造」(AY11)といったことなどがあげられている。さらに「各設計事務所の努力目標」つまり、「とくに商店街の再開発……(中略)……地域の街区造りに貢献する。」(AY10)とか、「個人共同住宅を毎年つ

**表5　設計事務所の設計上、営業上もっとも力を入れていること**

| | 施主の要求を可能な限り追求し、施主の身になること | 良いデザインと構造 | 各設計事務所の努力目標 | 経済設計 | 設計期間の確保および厳守 | 営業上 | | | | | 回答者数 | 無回答者数 | 回答数 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | | | 施主を大切にする | 良い仕事をする | 町の美観に合う仕事を | 全然やっていない | 苦手で苦労している | | | |
| 回答数 | 10 | 9 | 7 | 4 | 4 | 5 | 3 | 1 | 2 | 1 | 22 | 1 | 46 |











①三田学園旧館木造校舎―明治から大正初期市街地から離れた丘陵地。池と松林に囲まれ、明治をしのばせる。
②三田市街地
南西の丘より市街地を眺む。
③九鬼邸―大正期
屋敷町のふもと、和洋折衷の変わった建物。これだけがぽつんと残されている。
④屋敷町のまちなみ
三田で最も高級の住宅地、車の侵入でどんどん変わっていくが、土塀だけは残そうとしている。
⑤ゴルフ場
レジャー開発の進む中で、瓦の大屋根は、雄大な丘陵地に適している方だ。

## 三田

「神戸市街地より六甲を隔てて約25kmの距離にあり、北部東部に、標高500～700mの山々を望むのに対し、南西部は300m以下の丘陵地となって、おおむねゆるやかな盆地を形成している。　その中央を、多くの支流を集めて武庫川が北西から東南に向けて縦断して」いる。「気候は比較的温暖で、冬でも雪の積もることは少ない」。「ここは文化的にも歴史的にも特筆すべきものはない」が、古くから知られている三田米は、この武庫川を舟で下り阪神間に運ばれたという。だが、その面影はもうない。ただ農業用の溜池だけが無数にこの広大な丘陵地に散在するだけである。

ここはどちらかといえば、大阪圏に属している。県下21市中最も少ない人口（3万5千）ではあるが、産業別就業人口は第三次産業が急増してトップを占め、第一次産業は二位に落ち込んでいる。一方「丘陵地であるための水不足」と、交通網の不備のため第二次産業としての工業は盛える条件を備えていない。しかしながら通勤圏としては大阪まで国鉄福知山線で1時間15分、神戸新開地まで神戸電鉄で50分であり、阪神間への「出かせぎ」が増加している。そうしたことから生活全般は「田舎の割に物価が高く、都心部と比べて余り大差はない」。

したがってここの建築界もまだ基盤を持つに至っていない。設計事務所も建設業者も数少なく、本来の業務から離れ「零細な多角経営となっており、阪神間の外人部隊にほとんど依存している」状況である。今のところ、水不足と「市の6割程度が市街化調整区域に入っている」ため、「工場誘致や宅地開発が規制されている」が、やがて困難に直面している「北摂ニュータウンの実現に向けてダム建設がなされ」、上下水道が完備され、そして福知山線が複線になれば、「一定の社会問題が生じてくる」。つまり前述の傾向はますます助長され、完全に大阪圏となり、そのベッドタウンと化すことだろう。そしてそのことが必ずしもここの建築界の発展に繋がらない。大手建設業など外人部隊が動き廻り、特筆すべき自然的風土も歴史的風土もないだけに、それらにつちかわれるべき精神的風土も都市化されるのに従順で、ここの建築界が一定の自立した地域性を備えることは困難なことだろう。

近年、ゴルフブームに乗り、格好のゴルフ場として、丘陵地が次々に開発されてきたが、これも阪神間の日帰りコースとしてのレジャーランドになっている。さらに「宅地としては一等地である昔からの屋敷町」も数少ない歴史的街並みとしての落ち着きは破壊されつつある。やがてスプロールの焦点となるに違いない三田も、今のうちに適切な全体計画を持たなければ、心ない宅地開発と車に破壊され、第二の宝塚となることだろう。

づけたい。」（BY2）といった、それぞれの設計事務所の今後力を入れていきたいことを述べているのが7例あった。その他、経済設計に関するもの4例、充分な設計期間を取ることや、「設計期間の厳守」（AY4）といったものが4例あった。

つぎに、営業上でのもっとも力を入れていることを見てみると、設計事務所では、「過去・現在のお客様を大切にする。」（AY4）といった意見が、5例。さらに「"営業"と呼ぶような活動はしないが、強いて言えば打ち合わせ――設計――現場――追跡調査といった一連の活動そのものが営業活動であり、それらへの総体評価がつぎの営業へつながるものと考えて重視する。」（AY1）などの「良い仕事をする」という例が3例、他に「苦手で苦労している」（AY2）など4例があった。

一方、建設会社においても、**表6**にみられるごとく「建設業にとってやはり『信用』という基盤に立脚してすべてが成り立つため、安全顧客の開発と高品質な施工とに力を入れている」（BX1）といった意見が回答者の半数以上に見られる。さらに、工事コストを低減させる努力と、一方においては適正請負額の維持が、4例述べられている。その他、各種資格の取得などによる信用の向上をはかるものなどが見られる。

以上、全体を通して感じられることは、やはり「施主の要求を可能な限り追求し、その中で良い仕事を行い、信用を得ていく。」といった堅実な方向が見られるように思われる。

**表6　建設会社の営業上もっとも力を入れていること**

| | 完成品の品質高上による信用 | 工事コストの低減適性価格の受注 | 自社の努力目標 | 工期の厳守 | 建築需要の情況把握 | 各種資格の取得 | 回答者数 | 無回答者数 | 回答数 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 回答数 | 7 | 4 | 2 | 1 | 1 | 1 | 13 | 9 | 16 |

**表7　設計事務所での建築技術の向上方法**

| | 講習会・講演会への参加 | 良い建築の見学 | 資料の収集・整理分類・活用 | 設計作業と現場監理のくり返しの中から | 社内討論会・研究会 | 書物による学習 | 研究時間の確保 | 講習会を行う | 設計事務所の努力目標 | 他設計事務所・諸団体との交流 | 建築主・大工さんの意見を聞く中で | 各個人の自由意志の尊重 | 回答者数 | 無回答者数 | 回答数 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 回答数 | 8 | 7 | 7 | 5 | 3 | 3 | 2 | 2 | 2 | 2 | 1 | 2 | 22 | 1 | |

## 洲本

兵庫の最大の離島、淡路島は、花とミルクとオレンジの島として広く知られ、周囲170kmに及ぶ白砂青松の海岸線を有する景勝地で、瀬戸内海国立公園の最東部に位置している。この島の南端、西淡町の慶野松原は、年間50万人の観光客が押しかける、その町の「命綱」であり、最南端の門崎(とざき)半島の砲台跡、またそこから眺める鳴門海峡は年間60万人が訪れるなど、京阪神一円からの観光客は年間500万人に達する。

「気候は温暖で、季節風は播磨灘より東へ吹き、冬場はきびしい」。また「毎年の台風の通路」にもかかわらず、案外被害は少ない。

洲本はその東海岸にあり、大阪湾に面している。ここは南に三熊山（海より隆起）、北に丘陵よりなる断層地帯の中央に洲本川が大阪湾に注ぎ、沖積層、洪積層から形成された平野である。

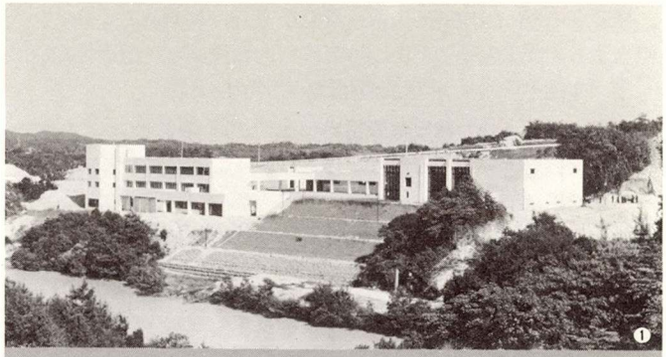
ここは人口4万4千からなり、この島の¼の人口を有する工業・商業の中心地である。島全体としては、農業・水産業が主であるが、ここは、阪神間との海上輸送上の窓口として、また、東海岸の国道28号線の要衝として、大企業が進出し、クレーンが立ち並ぶようになった。

旧来この島は徳島藩に属し、明治以後、兵庫県に編入されて、文化の伝播は、人・建物とも入り混じり、戦後「阪神間の文化流入は一段と激しくなり、生活はしにくいところ」となっている。400年の伝統をもつ淡路人形芝居（国指定無形民俗文化財）も、大阪商人に守られて発展した文楽と違って、今はもう細々と生きているだけだ。「国道28号線も通過交通」で、洲本以外には「利益はない」し、人口流出もS.45年から50年の5年間に淡路全域で5～6％、洲本市でさえ減少傾向にあり、過疎地域となっている。

建築も変わった。観光ブームでホテル・国民宿舎・民宿などが350～360軒建ち並び、東海岸は商業の中心として近代ビルが乱立する。「旧幕時代の城下町も三カ所ほど、その面影を留めているにすぎない」。洲本・三原地域に点在する農家だけが、「今なお旧来の建築方式に固執している」が、「在来の特色を残しつつ、現代生活に合わせてどう改善するかが問題点として工夫の必要な点」である。

今後、神戸・鳴門ルートの本四連絡架橋や淡路縦貫道路、鉄道など、大型事業が推進される中で、一定のインパクトが加わり、「阪神のニュータウンとして、住宅建築でも多くなるかもしれない」が、そのことが、必ずしもここの建築界の経済的、技術的発展を招くとは限らない。なぜならここの建築界は全体に小規模で、量的にも少なく、どちらかといえば阪神間の技術に負うているからである。しかし別の側面では、個々の地域に限らず淡路全域に影響力を持って活動が定着しており、一定の地域性を有する不能性を秘めているといえる。

前述の大型事業が推進される中で、淡路の優れた海岸線・緑地空間・自然産業・文化遺産をどう生かすかの環境アセスメントを、今後ここの建築家と淡路住民が、責任を持って考えていく必要があるだろう。

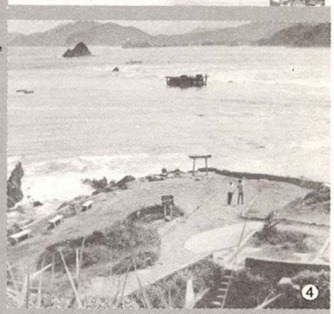


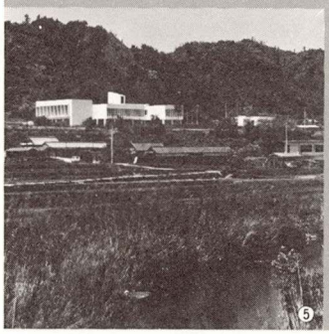


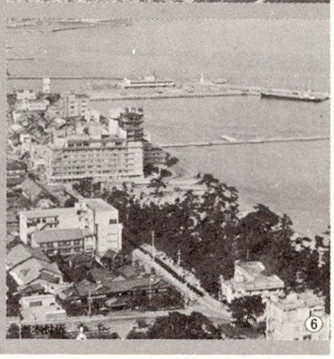





①県立淡路文化会館　瓦屋根が多い反面、この建物は、地中海的環境にふさわしい。
②沼島離島総合開発センター
高橋建築設計事務所
兵庫県最南端、古い伝説を持つ離島。今は老人とネコが目立つ。
③寺院本堂　敦見設計事務所
寺院もRC造で建つようになった。
④門崎・砲台跡より鳴門海峡を眺む
数年後、鳴門大橋が架かる。
⑤県立淡路高等看護学院　明るく強い日差しを意識してか、ルーバーが小気味よい。
⑥洲本市内を見下ろす。




## 5．技術力の向上方法

設計事務所での建築技術の向上方法としては、**表7**に見られる結果となっている。内容を見てみると、どれも常識的なことのように思うが、ふり返ってわれわれ設計にたずさわるものとして、この中のどれができているかと考えてみると、なかなかできていない。この回答においても、各設計事務所で、平均2項目をあげている結果となっている。今一度、技術力の向上について考えてみるのに、なかなか参考になるチェックリストと言える。

一方、建設会社における技術力の向上方法については、**表8**にまとめられる。設計事務所と建設会社とでは、同じ技術力と言っても一方は設計、一方は施工技術ということで大分違ってくるが、建設会社では、「良質な下請業者の確保と育成」の面と、社員の技術力向上方法が含まれている。これらの項目も、設計事務所と同じく常識的なことが多いが、回答数も少なく、設計事務所の回答と比べてもあまり充分には取り組まれていないようである。

**表8　建設会社での建築労働者の技術力向上方法**

| | 講習会・研修会への参加 | 良質な下請業者の確保と育成 | 各種現場の見学 | 職人の老齢化による中堅技術者の養成 | 社内検査の実施 | 現場員の自主的な努力が必要 | 機械化への対応 | 工期チェックの徹底 | ムダを省き整理整頓 | 仕事の確保による生活の安定 | 回答者数 | 無回答者数 | 回答数 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 回答数 | 4 | 4 | 3 | 3 | 2 | 2 | 2 | 1 | 1 | 1 | 14 | 8 | 23 |

## 6．まとめ――建築界のかかえている問題点

ある地域の建築界が、そこに一定の縄張りを持って、責任ある仕事をできる状況にあるのかどうか、また、その地域に根ざした主体性を備える可能性があるのかどうか。

ここではアンケートの全般にわたって概観してみたいと思う。

### 1）可能性の条件

#### イ．地域の多様性があるか

兵庫は“日本の縮図”だとよくいわれる。その原因は、500万県民という図体の大きさだけではなく、各アンケートからうかがえるように、各地域の多様性にある。たとえば、1月にもなれば日本海側の山間部は2mを越す雪に埋もれるが、一方南の島、淡路では、水仙や菊が花ざかりとなる。その多彩な変化と特質こそが、兵庫の特色を形づくり、自然条件だけでなく、社会的にも、歴史的にも、多面性を示してきたといえる。

北海道、東北、北陸地方に類するのが「但馬地方」、関東内陸が

「播磨の内陸」、中部内陸が「丹波地方」、東海道メガロポリスに相当するのが「阪神」、中国地方瀬戸内海岸側が「播磨の臨海部」、九州・四国が「淡路」といった縮図が成り立とう。

**ロ．風土に根ざした建築への指向**

その地域で実際に創る側は一体どのように考えているのか。アンケート結果は、回答数が少ない中でも、都市部では周辺や自然との調和に配慮し、地方では自然条件の克服に努力がなされているといった、違いを見せている。さらに単体としての建築をどうとらえ、全体としてのその地域の風土をどう創りあげていくかといった全体的視点の芽ばえもうかがえる。こうした指向が、実際の創る行為の中でどう具体化されているかは写真の中からは判然としないが、少なくとも、意識の中での指向の芽ばえは感じられる。

地元建築界の活動範囲の調査（巻末リスト参照）は十分ではないが、一部を除いて、ほとんどがその市内で建築活動を行っている。地方の建築界がそこで縄張りを持って、風土に根ざした建築を創っていくには、まだまだ困難な条件はあるが、ここにもその兆しがうかがえる。

**ハ．地域ドクターの可能性**

この点に関する論評は前記と重複するので省略するが、建築家の社会的、経済的基盤が整い、何らかの公共機関が真に住民のための行政を行える状況になれば、その可能性は十分にあるといえる。

**ニ．さらに良い建築を創る指向性**

ここでも、後で述べる困難な条件が大きな障害となって、“良い建築”を創る指向性があるにもかかわらず、十分な力が発揮されていない現状である。「設計に対する一般の認識の不足」、「官公庁の設計料の入札制度」の不備、「施主・設計者・施工者のチームワークの不足」、「時間的不足」、「経済性や機能性のみの追求」、「設計者の人格、技術力不足」が障害であって、大きな立場にたって、「後の世代にまで受け継がれるべき文化遺産」であるとか「建築家も市民もともにあらためる必要」とか、「市民の理解と協力ではじめて作り得るもの」といった意見は、今後、建築家の建築活動のあり方に大きな問題を投げかけている。

**2）困難な条件**

一方、建築界のかかえている問題も多様である。**表9，10**にあげるものは「現在、もっとも不満に思っていることはどんなことか」に対するアンケートの収録であり、このことは兵庫県に限ったことではないが、特異な問題も含まれていると思う。

以下に、アンケート結果に基づいて探ってみる。

**イ．建築界の社会的、経済的情況**

設計事務所からみると、その社会的・経済的な基盤は薄いといえる。たとえば「建築士の社会的報酬や地位が低い」と答えたのが8例、「設計料のダンピング」に不満を持つものが4例と回答数30例中12例もある。

なかには、「良心的な設計と営業的な設計とのジレンマ」、「世の中の仕組みが複雑化して、振り廻される傾向は残念」などといった矛盾をかかえ、一方「一般社会で設計料は、施工業者の負担と考えている」とか、「設計の意義に理解が少ない」、さらに「法規に合うことが設計と考え、これに対する報酬しか考えていない」といった施主との価値観の相違を訴えている。また、「設監料の入札で底なしの所が多い」、「立法化して基準を設けるべき」といった設計料のダンピング傾向、「同和関係で設計に参加できない」といった社会的問題も含んでいる。

建築業者においても同様である。「不況化の競争激化によるダンピング」に不満を持つとの回答が6例、「物価の不安定」が2例、さらに「官公庁の発注の不公平」からくる経済的不満が4例と回答数28例中12例もある。とくに「発注減による受注難のため、極端なダンピングが行われ、自分で自分の首を締めている」とか「一般経済界の不況の影響はとくに激しく、……（中略）……よって政治的不況対策の推進につき、建設省などの地方業界の積極的援助策」の必要を訴える、といった経済的不安定を示している。

さらに「実力、経歴も浅いのに政治力を使って官公庁の仕事の指命を受け、常識はずれの値段で落札して……」といった過当競争が招く“ゆがみ”や、「受注量の減少していく今日、各市町がモンロー主義を打ち出し、……（中略）……（市町外の）他業者の締め出しをはかっている。また大型工事については、地方業者でできる工事にもランク付けが有り、指名参加できない状態で、中小企業の業者は、上下からの圧迫を受け、ますます経営が困難」といった深刻な問題、さらに「大手建設業にかたよらず、中小企業育成の……（中略）……処置はないものか」など、官公庁の発注の不公平を訴えている。

設計事務所にしても、建設業者にしても、そのおかれている経済的情況はきわめて厳しいものがある。

**表9　設計事務所の不満**

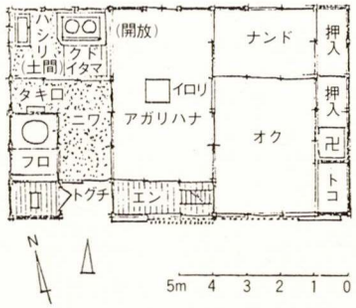
| | 建築士の社会的報酬や地位が低い | 官庁の遅い事務処理・曖昧な指導 | 設計料のダンピング | 良い仕事が取れない | 優秀な技術者の確保の困難・建築教育不在 | 調査・研究・勉強が出来ない | 建築法規の複雑化と社会的ずれ | 住民運動の権利意識過剰 | 設計事務所の横の連絡が無い | 土地問題 | 年令が15才若ければなあ…… | 回答者数 | 無回答数 | 回答数 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 回答数 | 8 | 4 | 4 | 3 | 4 | 2 | 2 | 1 | 1 | 1 | 1 | 21 | 2 | 31 |

**表10　建設会社の不満**

| | 不況化の競争激化によるダンピング | 官公庁の発注の不公平 | 画一的な法的規制と現実とのギャップ | 過度の住民パワー | 物価の不安定 | 工事の残材・残土の処理問題 | 若手技術者の技術力不足、 | 若手社員との思想的合意のむつかしさ | 工期の短縮 | 交通停滞 | 空港誘置の失敗 | 特になし | 回答者数 | 無回答者数 | 回答数 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 回答数 | 6 | 4 | 3 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 1 | 1 | 1 | 2 | 16 | 6 | 28 |

**表11　大手との関係**

| | |
|---|---|
| ㋑　大きな仕事をとられ営業上悪影響がある | 11 |
| ㋺　仕事上の競合はなく、影響はない | 6 |
| ㋩　下請などの立場で技術上の向上が得られる | 4 |
| ㋥　その他 | 1 |




浜坂町居組浜町の岡本源次郎宅現状平面図

提供：黒田恢正（兵庫県教育委員会）

表12

| 市 | 総人口 (50.10.1) | 産業別就業人口 (45. 10. 1) | | | 設計事務所数 (49.6.1) | | 建設業者数 (49.6.1) | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 第一次 | 第二次 | 第三次 | 一級 | 二級 | 大臣許可 | 知事許可 |
| 神　戸 | 1,360,530 | 13,458 | 224,830 | 370,073 | 397 | 151 | 88 | 4,185 |
| 尼　崎 | 545,762 | 2,202 | 138,272 | 131,319 | 84 | 57 | 35 | 1,634 |
| 姫　路 | 436,099 | 15,512 | 86,163 | 95,644 | 127 | 126 | 25 | 1,341 |
| 三　田 | 35,261 | 5,073 | 4,294 | 7,709 | 5 | 11 | 0 | 149 |
| 豊　岡 | 46,211 | 6,167 | 6,741 | 11,091 | 16 | 30 | 3 | 180 |
| 洲　本 | 44,135 | 5,451 | 6,527 | 12,029 | 9 | 12 | 3 | 167 |
| 明　石 | 234,905 | 3,976 | 43,392 | 47,332 | 38 | 22 | 4 | 458 |
| 西　宮 | 400,590 | 2,409 | 63,930 | 106,470 | 94 | 40 | 9 | 820 |
| 芦　屋 | 76,211 | 202 | 9,452 | 21,610 | 19 | 1 | 2 | 158 |
| 宝　塚 | 162,622 | 2,642 | 19,449 | 34,532 | 18 | 11 | 3 | 373 |
| 伊　丹 | 171,979 | 2,121 | 38,093 | 34,029 | 33 | 22 | 6 | 419 |
| 川　西 | 115,771 | 1,484 | 17,969 | 19,582 | 12 | 16 | 0 | 223 |
| 三　木 | 55,730 | 4,629 | 8,658 | 8,255 | 7 | 12 | 1 | 192 |
| 小　野 | 40,578 | 4,488 | 9,157 | 6,644 | 5 | 9 | 1 | 106 |
| 加　西 | 50,167 | 8,419 | 11,447 | 7,215 | 4 | 15 | 0 | 155 |
| 西　脇 | 38,109 | 1,791 | 11,569 | 7,571 | 2 | 21 | 0 | 141 |
| 加古川 | 169,297 | 2,874 | 32,094 | 24,652 | 31 | 15 | 2 | 397 |
| 高　砂 | 77,080 | 1,669 | 18,127 | 13,015 | 13 | 9 | 3 | 185 |
| 竜　野 | 39,644 | 3,938 | 8,479 | 6,801 | 13 | 14 | 0 | 116 |
| 赤　穂 | 49,583 | 2,990 | 11,364 | 8,658 | 10 | 39 | 2 | 161 |
| 相　生 | 42,007 | 1,511 | 10,988 | 7,508 | 8 | 23 | 0 | 103 |
| 市内合計 | 4,192,271 | 93,006 | 780,995 | 981,739 | 945 | 656 | 187 | 11,663 |
| 郡部合計 | 799,639 | 154,922 | 139,601 | 138,649 | 85 | 730 | 23 | |
| 総合計 | 4,991,910 | 247,928 | 920,596 | 1,120,388 | 1,030 | 1,386 | 210 | |

### ロ．建築界のアンバランス

**表12**から見るように、一級設計事務所の地域間格差は、非常に激しい。総数1,030件に対し、神戸市だけで38.5%、阪神間（神戸、尼崎、西宮、芦屋）にすれば57.7%を占め、その偏重を端的に示している。また一級事務所は21市で92%、残る広大な郡部で8%。一方二級事務所は、21市で47%、郡部で53%と、逆の現象をきたし、都市部から離れるほど、一級事務所と二級事務所の件数は逆転するのがわかる。

業者についても全くといって良いほど同じ傾向がみられる。こうしたことは、都市部から離れるに従って、零細化の傾向を示しているといえる。しかしながら都市部において、業者や事務所が巨大化しているとは必ずしもいえない。事務所はアンケートの回答においても、その乱立による過当競争の現状に苦慮しているし、業者においても、大臣許可を受けた業者は200件に満たない。さらに大手との関係におけるアンケート結果では、**表11**より㋑と答えたものは11例もあるように、全国にまたがった大手建設業者に営業上の不利益をこうむっている。このことは、兵庫県に限らない問題でもあるが、こうした小規模な零細化を強いられていく傾向は、兵庫の建築界の基盤が厚いということではなく、経済的に不安定な基盤が多いということである。

### ハ．建築界の技術力向上の困難

アンケート結果は、つぎのような技術力向上の困難もあげている。設計事務所からみれば、「優秀な技術者確保の困難」と答えた例は3例、「調査・研究・勉強ができない」の回答が2例、「良い仕事がとれない」が3例、合計8例ある。これは経済的条件との相乗関係もあるが、なかでも「……優秀な者ほど独立して……（中略）……設計事務所を創り、それが過当競争の大きな因になっている」のは見逃せない事実であろう。さらに「調査・研究の資金不足」といった経済的要因からくるもの、「もっと地域に密着した仕事に参加」したいという技術力向上意欲を示したもの、さらには、「建築教育不在を経由した新卒生（大学・大学院）」といった現在の教育のあり方に問題提起した例もある。

一方、建設業者も、「技術力不足」が2例あげられ、とくに「若手技術者の研修不足や熱度不足」に手を焼いている。さらに組織上の問題として「若手社員との思想的合意の難しさ」や「中堅技術者との対話不足」といった企業内部としての意志統一の不徹底が見受けられる。

### ニ．官公庁に対する不満

指導的立場にある官公庁も否定的側面を持っている。設計事務所は「指導の曖昧さと緩慢さ」を4例示し、「建築法規の複雑化と社会的ずれ」を2例示している。指導上の問題で、「前任者との行政の仕方が違って」困るとか、「行政当局の責任回避と建築士の責任の過大」などなかなか痛烈である。法規の点では「あまり細かすぎて、行政指導も建築そのものの良否に無関係なことばかり」とか、「形式上の綿密さにもかかわらず現実の変化に対して多くの矛盾」を示している。

業者は、「画一的法的規制と現実のギャップ」を3例示し、前述の「発注の不公平」では4例あげている。「地方自治体の現実に合わない」とか、「行政能力の欠陥」、さらには「悪いものはチェックできるが良いものができない」といった不満を述べ、一方では「官庁の理解と援助」を期待している。

### 3）今後の課題

今まで概観してきたところでは、兵庫の建築界がその地域に根ざした主体性を備える状況は、一方では地域の多様性や、その風土に根ざした指向性、あるいは地域ドクターに対するとらえ方、等々の面で可能性を秘めており、一方、経済的条件、社会的条件、そして政治的条件、さらには主体的力量の点で、しかも多岐にわたって困難な条件をかかえているといえそうだ。

今後の課題として——しかもこれが最も問題を複雑にするものだが——この兵庫県ではさまざまな大規模プロジェクトがあり、それが、個々の自然、個々の歴史、個々の生活、そして個々の人間に一定のインパクトを加え、変えていくことだろう。中国縦貫道路（緑の回廊）、本四連絡架橋、北摂ニュータウン、芦屋浜開発、こうした大型の開発のもたらす結果について、正確に予測することはきわめて困難である。最近流行の「アセスメント」とやらも、利益を生み出す効果の追求には熱心だったが、マイナスの効果については、はなはだ心もとない。開発がもたらす災厄は、生命や健康への脅威だけではなく、われわれの生活様式や生活意識にまでひずみや害毒を持ち込んでくる。こうした細かい点の予測を、あらゆる分野の科学者の多面的協力のもとに、その地域の住民と地元の建築家がともに考えていく必要がないだろうか。

風土に根ざした建築とは、そうした生活様式や生活意識に支えられ、そこの自然や歴史を心から愛している住民や建築家に受け継がれていくべき筋合いのものではなかろうか。

### ◀建設業者・設計事務所共通のアンケート質問項目

●貴社（貴設計事務所）の活動範囲はどういった地域に及んでいますか。（ここ2～3年の工事金額の多少により大体の割合を書いて下さい）
ⅰ）本社（設計事務所）の所在する市　約　割
ⅱ）兵庫県内で市外　約　割
ⅲ）兵庫県外　約　割

●貴社（貴設計事務所）の請負う工事（対象建築物）のうち多いものから順に3つ下からお選び下さい。（多い、少ないは工事金額や種々の手間のかかりぐあいなど全体的な感じで考えて下さい）

| 1位 | 2位 | 3位 |
|---|---|---|
| | | |

一戸建住宅。文化住宅。マンション。公的住宅（市営など）。商店。インテリア。事務所。工場・倉庫。宿泊施設。学校・幼稚園。医療施設。土木工事。その他。

●貴社（貴設計事務所）の所在する市（地域）はどのような風土と言えるでしょうか。特に自然環境（気候、地形、歴史、文化）、建築環境（建築、街なみ、街道）、生活環境（住みやすさ、生活しやすさ、働きがい）のうち特長のある点や誇りを持っておられる点についてお書き下さい。

●そういった風土の中で建物を建設（設計）される場合、どのような点を工夫したり考慮していますか。どんなことでも数多くあげて下さい。

●貴社（貴設計事務所）の所在する市、またはその周辺で、貴社の建設（設計）された建物、あるいは、他の会社の関係された建物から特に風土にマッチしていると思われる建築を3点、また、良い作品だと思われる建築を2点選んで下さい。

●営業上（設計上）もっとも力を入れていることや、建築労働者の技術力（建築技術）の向上の方法はどのようなものですか。何でも自由にお書き下さい。

●現在、仕事をすすめていく上で不満に感じられていることはどのようなことですか。

●ある大学の建築の先生は「住まいにもホーム・ドクター制度を」ということで住まいを人間の身体にたとえて、住宅をいつまでも快適な状態で維持しようとすれば、人間と同様に住宅にも専門家の診断・予防・治療が必要であること、そのためにも、自分の家のことをよく知っている大工さんなど、すなわち住まいのホーム・ドクターを確保することが重要だと述べておられます。この考えをさらに発展させて、それぞれの地域の建築事務所や建築業者の人たちが、地域ドクターとして、住民の相談や、また一つ一つの設計業務の中で、地域文化に貢献できればと思いますが、そのような可能性はあるでしょうか。また、このことのために必要な条件があるかどうかお書き下さい。

### ◀建設業者へのアンケート質問項目

●貴社の社員の人数は何名ですか。
ⅰ）建設業務担当者　名
（うち土木担当者　名）
ⅱ）事務、営業担当者　名
ⅲ）上記のうち他都市の出張所などの人数　名

●貴社には設計担当組織がありますか。
イ．ある（設計担当者数　名）
ロ．ない

●貴社の仕事で土木工事の割合はどのくらいですか。
イ．ほとんどない。
ロ．ある程度あるが建築工事の方が断然多い。
ハ．建築工事と同じ程度。
ニ．建築工事より多い。

●あなたの市にも大手建設業者の手で工事が行われることがあると思いますが、大手業者の地元での活動についてどう考えますか。
イ．大きな仕事をとられ営業上悪影響がある。
ロ．仕事上の競合はなく、影響はない。
ハ．下請などの立場で技術上の向上が得られる。
ニ．その他（　）

●住宅などにプレハブ工法や枠組壁工法などが普及してきましたが、営業上どのようになっていますか。
イ．プレハブなどの施工技術を修得しているので在来工法と同様に仕事ができ、営業上問題はない。
ロ．プレハブの施工技術をよく修得していないことなどで営業上悪影響がある。
ハ．プレハブ工法に関係のない仕事で十分やっていけるので問題はない。

●前記のプレハブ工法の普及についてどのようにお考えですか。
イ．工程が合理化でき、工期と手間がすくなくてすみ、歓迎できる。
ロ．技術の修得が困難で、技術者の養成に手間がかかる。
ハ．大手プレハブメーカーの系列に入らざるを得なくなり、自由な仕事ができにくくなる。
ニ．土地柄や、伝統、昔からの材料などを生かせず、満足のいく仕事ができない。
ホ．その他、お考えのことを何でもお書き下さい。

### ◀設計事務所へのアンケート質問項目

●あなたの設計事務所の所員の人数は何名ですか。
名　左記のうち、他都市の出張所に　名

●現在、一方ではプレハブ住宅をはじめとして、工業化による大量生産の方式が多くなりつつありますが、このことをどのように感じられますか。

●その他さらに良い作品を生み出していくにはどうすれば良いでしょうか。また、何が障害となっているか、どんなことでも自由にお書き下さい。


**アンケート協力**
**設計事務所**（順不同）
敦見設計事務所
一級建築士井上長三設計事務所
井上建築設計事務所
岩本一級建築士事務所
宇都宮建築設計事務所
加藤建築設計事務所
黒田建築設計事務所
栗田建築設計事務所
都設計一級建築士事務所
神戸建築設計事務所
創建設計事務所
高橋建築事務所
タチバナ構造設計事務所
田中建築設計事務所
巴一級建築士事務所
鳥居建築事務所
的崎一級建築士事務所
三紀建築事務所
八木建築設計事務所
吉田・武藤建築研究所
ＲＥＯ建築建築計画研究所
レック建築設計事務所
都市・計画・設計研究所

**アンケート協力**
**建設会社**（順不同）
㈱赤鹿建設
今西建設㈱
㈱上組
㈱柄谷工務店
㈱戎工務店
王子建設㈱
㈱大木工務店
岡上興業㈱
㈱北村工務店
㈱熊田工務店
㈱桑井工務店
㈱関山組
㈲大和工務店
大松建設㈱
㈱竹内工務店
友田建設㈱
中田建設工業㈱
㈱浪花工房
㈱母倉工務店
播州土建㈱
㈱的崎組
㈱武庫建設


## 今回の企画を終えて

昨年9月に、日本建築協会兵庫支部で兵庫特集をくむということで企画したわけですが、企画内容の決定が遅れてしまい、原稿執筆期間やアンケート回答期間に“しわ寄せ”がいき、執筆して下さった方や回答して下さった方々には誠に申し訳なく思っております。

しかしそれにもかかわらず、執筆者はもちろん、アンケートの場合も多くの方々より熱心な回答をいただき、とくに、ほとんどが記述式にもかかわらず、詳細に記入されており、私達も身のひきしまる思いでまとめさせていただきました。本当にありがとうございました。

ただ、私達、未熟な者ばかりで、まとめに際して、意味の取り違いや間違いが多々あるかも知れませんが、何とぞよろしくご諒恕下さいますようお願いいたします。

なお、本企画に際しましては、神戸大学の嶋田勝次先生、兵庫県庁の上原正裕氏、竹山清明氏、神戸市役所の垂水英司氏、田中直人氏、増渕昌利氏、児島安夫氏、さらに本誌編集部のみなさんにご協力を得ましたことを、誌上をおかりして、あつくお礼申し上げます。


**筆者**（順不同）　黒田達雄（兵庫県営繕課）
船井美彦（神戸市住宅局）
稲毛政信（神戸市住宅局）
笹原和喜男（神戸市都市計画局）


### 設計事務所アンケートリスト

| 設問 | | 1 | | 2 | | | 3 | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 所員人数 | | 活動範囲（%） | | | 対象建築物 | | |
| | | 内 | 外 | 市内 | 市外 | 県外 | 1 | 2 | 3 |
| AY | 1 | 4 | 0 | 80 | 10 | 10 | 一戸建住宅 | マンション | 商店 |
| 〃 | 2 | 5 | 0 | 60 | 30 | 10 | 事務所 | 商店 | マンション |
| 〃 | 3 | 37 | 0 | 60 | 35 | 5 | 教育施設 | 公的住宅 | その他 |
| 〃 | 4 | 13 | 0 | 36 | 64 | 0 | 教育施設 | 公的住宅 | 事務所 |
| 〃 | 5 | 1 | 0 | 30 | 20 | 50 | 一戸建住宅 | 宿泊施設 | 事務所 |
| 〃 | 6 | 1 | 0 | 50 | 50 | 0 | 一戸建住宅 | 医療施設 | インテリア |
| 〃 | 7 | 1 | 0 | 20 | 20 | 60 | 事務所 | 工場 | 宿泊施設 |
| 〃 | 8 | 3 | 0 | 60 | 30 | 10 | 一戸建住宅 | 商店・インテリア | 工場 |
| 〃 | 9 | 5 | 0 | 81 | 18 | 1 | 一戸建住宅 | マンション | その他 |
| 〃 | 10 | 30 | 4 | 30 | 30 | 40 | 商業ビル | 公共建築物 | |
| 〃 | 11 | 20 | 2 | 30 | 50 | 20 | 事務所 | 教育施設 | 一戸建住宅 |
| 〃 | 12 | 15 | 0 | 70 | 15 | 15 | 事務所 | 工場 | マンション |
| 〃 | 13 | 28 | 7 | 20 | 60 | 20 | 公的住宅 | 一戸建住宅 | 工場 |
| BY | 1 | 2 | 0 | 25 | 10 | 65 | マンション | 事務所 | その他 |
| 〃 | 2 | 2 | 0 | 80 | 20 | 0 | 医療施設 | 一戸建住宅 | マンション |
| CY | 1 | 17 | 0 | 40 | 50 | 10 | 教育施設 | 医療施設 | 商店 |
| 〃 | 2 | 8 | 0 | 80 | 15 | 5 | 一戸建住宅 | 事務所商店 | 教育施設 |
| DY | 1 | 2 | 0 | 60 | 40 | 0 | 一戸建住宅 | 事務所 | 工場 |
| 〃 | 2 | 2 | 1 | 30 | 10 | 60 | 工場 | マンション | 事務所 |
| EY | 1 | 6 | 0 | 10 | 80 | 10 | 事務所 | 教育施設 | 一戸建住宅 |
| 〃 | 2 | 1 | 0 | 60 | 30 | 10 | 宿泊施設 | 一戸建住宅 | 工場・商店 |
| FY | 1 | 1 | 0 | 70 | 30 | 0 | 一戸建住宅 | 教育施設 | その他 |
| 〃 | 2 | 6 | 0 | 20 | 80 | 0 | 一戸建住宅 | 工場 | 事務所 |

### 建設業者アンケートリスト

| 設問 | | 1 | | | 2 | 3 | | | 4 | | | 5 | 6 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 社員 | | | 設計組織 | 活動範囲 | | | 対象建築物 | | | 土木との割合 | 大手との関係 |
| | | 1（土） | ⅱ | ⅲ | 有無 | 市内 | 市外 | 県外 | 1位 | 2位 | 3位 | イロハニ | イロハニ |
| AX | 1 | 49（2） | 25 | 4 | 5 | 75 | 15 | 10 | 公的住宅 | マンション医療 | 事務所学校 | ロ | イ |
| 〃 | 2 | 11 | 1 | 2 | 0 | 40 | 0 | 60 | 倉庫 | 宿泊 | 事務所 | イ | ロ |
| 〃 | 3 | 68（10） | 33 | 11 | 4 | 70 | 20 | 10 | 公的住宅 | 工場・倉庫 | 土木工事 | ロ | イ |
| 〃 | 4 | 61（3） | 23 | 7 | 9 | 75 | 15 | 10 | 公的住宅 | 事務所 | 学校幼稚園 | ロ | ニ |
| 〃 | 5 | 17 | 6 | 0 | 2 | 50 | 40 | 10 | 一戸建 | 公的住宅 | 学校幼稚園 | | イ |
| 〃 | 6 | 8 | 14 | 0 | 2 | 50 | 50 | 0 | 一戸建 | 文化住宅 | 商店 | ロ | ロ |
| 〃 | 7 | 20（0） | 5 | 2 | 1 | 40 | 30 | 30 | 医療 | 倉庫事務所 | 一戸建 | ロ | ハ |
| BX | 1 | 189（10） | 35 | 31 | 11 | 60 | 30 | 10 | 工場・倉庫 | 事務所 | 公的住宅 | ロ | イ |
| 〃 | 2 | 21（2） | 6 | 3 | 3 | 60 | 25 | 15 | 公的住宅 | 一戸建 | 工場・倉庫 | ロ | イ |
| 〃 | 3 | 11（0） | 4 | 0 | 2 | 10 | 30 | 60 | マンション | 事務所 | 公的住宅 | イ | ハ |
| 〃 | 4 | 5（0） | 11 | 0 | 1 | 90 | 5 | 5 | 一戸建 | 文化住宅 | 工場・倉庫 | イ | ハ |
| 〃 | 5 | 22（4） | 6 | 0 | 2 | 15 | 20 | 65 | ガソリンスタンド | 石油貯蔵所 | 住宅 | ロ | ロ |
| CX | 1 | | | | | | | | | | | | |
| 〃 | 2 | 42（2） | 17 | 0 | 2 | 80 | 20 | (0.5) | 工場・倉庫 | 学校 | 事務所 | イ | イ |
| 〃 | 3 | 16（8） | 10 | 2 | 1 | 70 | 30 | 0 | 事務所 | マンション | 土木工事 | ロ | ロ |
| 〃 | 4 | 15（0） | 8 | 5 | 1 | 70 | 30 | 0 | 一戸建 | 工場・倉庫 | 商店 | イ | ロ |
| DX | 1 | 54（48） | 5 | 0 | 1 | 90 | 10 | 0 | 土木工事 | 工場・倉庫 | 学校 | ニ | イ |
| EX | 1 | 12（5） | 5 | 2 | 4 | 60 | 10 | 30 | 学校幼稚園 | 土木工事 | 一戸建 | ハ | イ |
| 〃 | 2 | 7（0） | 2 | 0 | 2 | 80 | 20 | 0 | 一戸建 | 工場・倉庫 | 医療 | イ | ロ・ハ |
| 〃 | 3 | 129（16） | 89 | 17 | 7 | 25 | 30 | 45 | マンション | 事務所 | 一戸建 | ロ | イ |
| 〃 | 4 | 33（3） | 16 | 18 | 3 | 20 | 65 | 15 | 学校幼稚園 | 宿泊 | 医療 | ロ | イ |
| FX | 1 | 82（63） | 40 | 3 | 4 | 18 | 82 | 0 | 土木 | 一戸建 | 学校 | ニ | イ |

注、A－神戸、B－尼崎、C－姫路、D－三田、E－豊岡、F－洲本、X－建設業者、Y－設計事務所を示す。

構造の頁

# 32 鋼構造柱脚部の固定度

## その1．鋼構造柱脚部の実状について

中島　茂壽

鋼構造物の構造設計をおこなう際、柱脚部の支持条件を仮定して、骨組の応力分布を求めるが、とくに低層建物においては、仮定と実状との固定度の相違により、骨組の応力状態に与える影響は大きい。近年、構造物の解析は長足の進歩をとげ、詳細な研究がなされているが、鋼柱と基礎とを結ぶ柱脚接合部の研究は、鉄とコンクリートとにわたる異種材料間の接合部でもあり、余り進歩がみられない。柱脚部は上部構造からの力を、安全に基礎に伝達しなければならない重要な接合部であるが、不良施工[1]に陥りやすい困難な接合部でもあり，固定度は施工状態と関連し明確ではない。柱脚部を軽視したために生じた災害例[2]は数多くあり、最近の地震[3][4]、台風、竜巻などでもその被害が報告されている。そこで鋼構造柱脚部の実状について紹介する。

### ■ 施工状態からみた柱脚部の問題点

**写真1**は、鉄骨建方中に倒壊した建物の柱脚部であるが、種々の問題点がある。通常、柱脚部はアンカーボルト（A·Bt)、ベースプレート(B·Pl) で構成され、固定度に関係する要因として、B·Pl 下面と基礎上面との間の変形量はとくに重要である。中小規模の施工中の鋼柱脚部の調査をしたが、施工の悪いものに比較的共通する事項について、B·Pl、基礎上面、A·Btに大別して問題点をあげる。

i）**B. Pl**　● A. Bt の位置ずれにより再び穴をあけたもの（鉄骨加工の問題点として、B. Pl の溶接ひずみ、柱軸に対する B. Pl の垂直性、A. Bt 用穴の過大などがある）

ii）**基礎上面**　●まんじゅうの位置ずれ、大きさ不統一、不整形、レベル不揃　●建方中にまんじゅうが破壊　●後詰めモルタルが充分に詰められていない（まんじゅうの高さ不足や均しモルタルの沈降、収縮などと関連）

iii）**A. Btねじ部、ナット、ワッシャー**　●A. Bt の埋込み精度不良によりナットがかからずねじ先端にねじ部を溶接、ナット下にパイプの切端や太径用ナットなどを挿入後ナット締め、ナット下の遊びねじ長さ不揃、ねじ部を含む軸部の強制的曲げ加工、A. Bt振れによるナット座面の間隙　●ねじ部養生不良　●一重ナット　●ナット締付力不統一　●B. plの過大穴あきにワッシャーなし　●ワッシャーの形状不良

iv）**A. Bt 軸部、定着部**　● A. Bt のかぶり厚さ不足（コンクリート表面に亀裂の発生しているものが多いが、建方中にA. Btにワイヤーロープをかけることによるものが多い）　●A. Bt の定着長さ不足　●A. Bt軸部の付着物　●補強筋、A. Bt の相互間隔がせま過ぎるもの

以上のほかに基礎コンクリート自体の問題、基礎と地盤との関係も固定度に影響する。

### ■ A. Bt 、ナットの実状について

鉄繰業者で加工された A. Bt について、数年前に材質などの調査をした。現在も大きな変化はなく、その結果[2]と合わせて現状を記す。

i）**A. Bt の軸径**　JIS B1178　基礎ボルトによると軸径25mm以下では、許容差が± 0.5 mmであるが、細引き鉄筋使用のため全体に細く、16 mm以下で許容値をこすものもある。

ii）**ねじ精度**　JISではメートル3級と指定されているが、試験した A. Bt はすべて切削ウイットねじであった。最近、32mm以上の太径はメートルねじが多いが、それ未満ではウイットねじも多い。限界ゲージによる合格率を**表1**に示す。細引き鉄筋から切削ねじ加工したため、A. Bt の合格率は低い。**写真2**はねじ部を投影器で拡大したものであるが、細径ではねじ精度がかなり低下する。最近では16mm以下で転造ねじが多くなっているが、切削ねじは注意を要する。

iii）**ナット**　冷間，熱間，抜きナットがある。抜きナットは座面が水平でなく粗雑で19mm以下に用いられる。最近では、19mm以下に冷間ナットが多用され、熱間ナットは16mm以上のボルトに用いられる。**表2**は各社のナット高さを示す。JIS では軸基準寸法の約 0.8倍であるが、細径用に高さ不足が多い。

iv）**A. Bt（SS41）とナットの材質**　ロックウェル硬度試験の結果、A. BtはHRB 65～80で、ナットは熱間ではHRB70～80に分布する。冷間、抜きナットは加工硬化し約20程度硬さが増す。**図1**は A. Bt 軸部の引張強度ヒストグラムを示す。ＳＳ41規格値を満たさない粗悪品もあり、これは無規格品を使うためである。

v）**A. Btの引抜試験**　**図2**の治具により、一重と二重ナットの引抜試験をした。**図3**は荷重と試験機のヘッド間の変位量との関係の一例を示す。一重ナットでは、ねじ山部の曲げ、せん断破壊により一山づつ引き抜けるものが多く、**表3**に引抜破壊をした割合を示す。二重ナットでは、いずれも、ねじ谷部で破断する。A. Bt は強度上はもちろん、ゆるみ防止の点からもぜひ二重ナットにすべきである。

### ■ ま と め

柱脚部は不良施工に陥りやすく、固定度は施工精度と密接に関連する。 A. Bt は細径のものに粗悪品が多い。 A. Bt の詳細な規格化（検査法を含む)、そして柱脚部の施工精度に関連した固定度の綿密な研究がのぞまれる。

1）鉄骨構造物の不良施工の実態とその背景　建築雑誌 1976. 3　pp. 190～192
2）鈴木・中島他　鋼構造柱脚部の現状とその問題点　施工　No.68　1972. 4　pp. 75～92
3）新潟地震による鉄骨建物の被害状況調査報告書　ＪＳＳＣ　vol. 3　No.22　1967　pp. 53～57
4）特集／十勝沖地震災害調査報告　ＪＳＳＣ　vol. 4　No.32　1968

（なかしま　しげとし　大阪工業大学建築学科講師）



写真1　建方時倒壊した建物の柱脚部

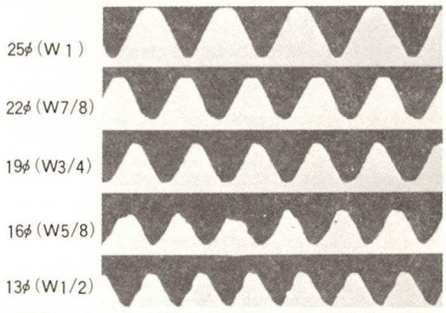



写真2　アンカーボルトのねじ――白い部分がねじ山

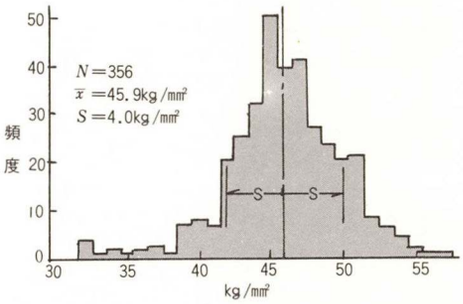



図1　ボルト軸部の強度ヒストグラム

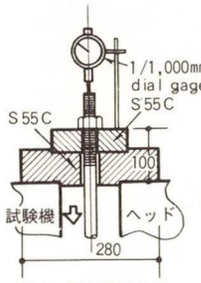



図2　引抜試験治具

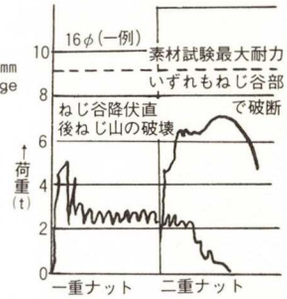



図3　荷重－変位（ヘッド間）曲線

表1　ウイット4級並目限界ねじゲージによるボルト，ナットの合格率（%）

| φ | 38 | 36 | 32 | 28 | 25 | 22 | 19 | 16 | 13 | 9 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| ボルト | 4 | 56 | 9 | 16 | 13 | 51 | 20 | 39 | 3 | 5 |
| ナット | 71 | 96 | 93 | 95 | 96 | 99 | 85 | 59 | 81 | 89 |

表2　各社のナット高さ一覧――数字は軸径に対する値

| 社＼φ | 38 | 36 | 32 | 28 | 25 | 22 | 19 | 16 | 13 | 9 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| A | — | — | — | — | — | 0.770 | 0.782 | 0.513 | 0.625 | — |
| B | — | — | — | — | 0.797 | 0.801 | 0.753 | 0.732 | 0.775 | — |
| C | | | | 0.782 | 0.775 | 0.818 | 0.816 | 0.973 | 0.528 | 0.593 | 0.783 |
| D | 0.795 | — | 0.795 | — | 0.831 | — | 0.830 | — | 0.776 | — |
| E | 0.793 | 0.780 | 0.780 | 0.796 | 0.827 | 0.767 | 0.880 | 0.744 | 0.776 | — |
| F | — | — | — | — | — | — | 0.810 | 0.813 | 0.708 | 0.944 |
| G | 0.803 | 0.785 | 0.816 | 0.790 | 0.834 | 0.847 | 0.864 | 0.720 | 0.712 | 0.904 |

表3　一重ナット引抜試験の引き抜けたものの割合

| φ | 38 | 36 | 32 | 28 | 25 | 22 | 19 | 16 | 13 | 9 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| % | 22 | 13 | 42 | 17 | 8 | 39 | 39 | 67 | 17 | 53 |

設備の頁

# 31 蓄熱そうの計画

吉村　武

## 蓄熱そうの応用

蓄熱そうを利用する場合、つぎの4つがあげられる。

① 熱の需給のアンバランスの解消と負荷の平均化。(たとえばヒートポンプ、熱回収方式における採熱時間と冷暖房時間にずれがあるとき)

② 熱源機器のピークカットによる容量の節減、間欠的な定格負荷運転による効率の向上。

③ 深夜電力の使用が可能。

④ 将来の負荷増についての対応。

しかし蓄熱そうを用いるとき、つぎの欠点がある。

① 水そうの構築費がかかる。

② 開放水そうを用いるときはポンプ水頭の増加と、水質の悪化。

③ 夜間運転移行による人件費の増大。

蓄熱そうでは通常、水を蓄熱に利用する。たとえば1 m³ (1,000kg) の水温が3 deg 上昇する間に利用できる熱量は3,000Kcalであり、1 USRtに相当し、200m³の蓄熱そうをフルに活用したとして50USRt の冷房負荷を4時間分をまかなえる。(1 USRt=3,024 Kcal/h)

## 蓄熱そうの大きさ

ある建物の1日の冷房負荷の変化の状態を示したものが**図1**で、1日に消費する熱量は3,144,960Kcalで、このとき冷凍機容量は最大負荷 125 USRt とする。このとき冷凍機の負荷率は10時間運転するとして、

3,144,960/3,024×125×10=0.83

このとき蓄熱そうを利用して、冷凍機の運転時間を16時間とすると、冷凍機容量は負荷率100%として、

3,144,960/3,024×16=65USRt

運転時間を20時間とすれば、

3,144,960/3,024×20=52USRt

が冷凍機容量となる。

蓄熱そうの必要容量は、蓄熱完了時の槽内温度と放熱時の温度差、つまり利用温度差により変わってくる。

いま16時間運転、65USRt として5—10℃、すなわち温度差を5 degとすれば、

(3,144,960—3,024×65×10)/(10—5)×1,000≒236 m³

また温度差を5—12℃すなわち7 degとすれば、

(3,144,960—3,024×65×10)/(12—5)×1,000≒169 m³

20時間、52USRtとすれば5 degでは315 m³、7 degでは225 m³ となる。(水そう内の最低水温は5℃ぐらいで、一般的には7～8℃のことが多く、空調器からの還水温度は12～15℃、実用上の最高温度は20℃ぐらいである)

水そう内に蓄えられた水のもつ熱量はすべて有効に利用できるとは限らず、いわゆる〝死に水〟や温度差を有効に利用できない場合や、蓄熱中に生じる熱損失 (冷水そうは10%以下、温水そうは20%以下がのぞましい) も考慮して水そうをいくぶん大きめに作っておく必要がある。

蓄熱そうの効率 (蓄熱効率) は建物の地下水そうを利用する場合、一般には50～70%ぐらいとされている。したがって前例に対して仮に60%とすれば、65USRt、16時間運転、5 deg差とした場合必要な蓄熱水そうの容量は236/0.6=393m³となる。

蓄熱効率はa)水路に誘導板を設ける。b)水そうを浅く、水路の仕切を多く、連通管を増して、対角線上に置く。c)水そう内にかくはん機を設ける、等により80%ぐらいまで改善できる。

## 蓄熱そうの配置・構造・配管

水そうの形式としては密閉式と開放式があり、前者はポンプ水頭を節減できる利点はあるが、余り大容量のものには不適で、一般には建物最下部の床スラブと基礎床板との空間を利用する開放式が多く用いられている。

水そうの内部は蓄熱運転に有効に役立つような水の流れが必要で、多数そうの場合は**図2**(a)(b)のように連通管の位置を考え、水の流れを配慮する。単水そうの場合は間に隔壁を設けたり、水かくはん機を取りつけることもある。

また**図2**(c)に示すように空気連通管、排水用連通管、マンホール、照明用コンセントなども設ける。

蓄熱そう上の床スラブは、表面温度が周囲の露点温度以上になるよう床の厚さや断熱材を決め、一般には熱通過序は1.0Kcal/h·m²·deg 前後とすることが多い。側面ならびに底面については、周囲の土じょうの水分の多い所では、断熱を施す所がある。**図3**(a)(b)にその例を示す。

蓄熱そうの配管は利用する水温が一定であることを必要とするか否かにより**図4**(a)(b)となる。

(a)の場合、冷凍機側の水量が空調器側より多いと、水そう内の流れは点線の方向となり、蓄熱運転に支障を来たす。また(b)は自動制御装置により低温側と高温側の水を適宜混合して一定値に保つ方法で、一般にはこの方式が多く用いられている。

(よしむら たける　大阪府立東住吉工業高校教諭)

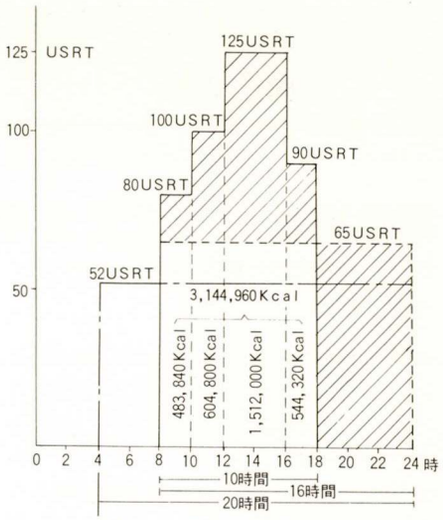
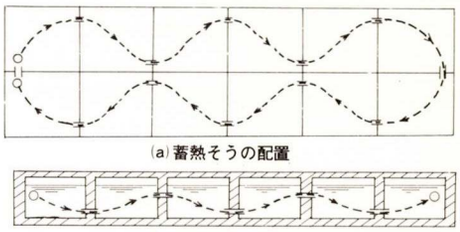


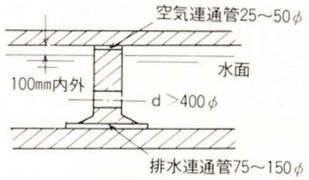

図1　冷房負荷と蓄熱



(a)蓄熱そうの配置

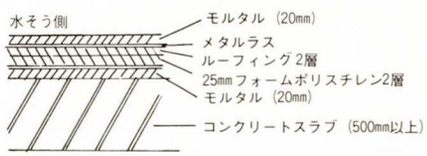


(b)蓄熱そうの断面

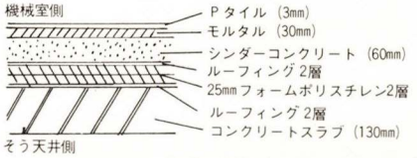



(c)構　造

図2　蓄熱そうの一例

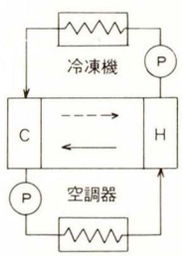



(a)壁・床の断熱

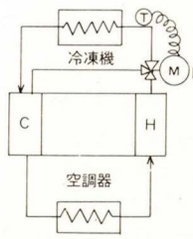



(b)天井の断熱

図3　蓄熱そうのく体と断熱の例




(a)冷水温度を一定にする必要のない場合




(b)冷水温度を一定にコントロールする場合

図4　配管例

施工材料の頁

# 32

# 埋込ぐいの高止りについて

貝戸　俊一

## 1．高止りの定義

くいの先端支持力を十分に確保するためには良好な支持地盤への根入れが十分（くい径の少なくとも2～3倍）でなければならない。打込ぐいのみの時代にはなかった高止りとは最近公害問題発生とともに急速に発展・開発されてきた無音・無振動工法のうちプレボーリングおよび中堀工法などの埋込み工法によってくい本体が掘さく深さよりも浅くにしか挿入・沈埋できなかった場合であって、その差が高止り量となる。くいが高止りをした場合、プレボーリング、中堀り等いずれによってもその部分の地盤は荒れていることになり、地質調査時点における支持力特性は大幅に劣化していることには間違いない。なおピヤぐいの場合はスライム堆積などで表されることになる。

## 2．高止りはどうして起こるのか。〔図1〕

### 1）プレボーリングの場合

a）　掘さく孔中の排土が完全であればよいが、通常はオーガーなどで掘さくするため先端支持層である砂れき部分の排土は困難である。

b）　掘さく中に掘さく孔が曲がって、くいの挿入ができなくなる。

c）　孔の崩壊、沈積物によって挿入ができない。

などが考えられる。

### 2）中堀の場合

この場合は掘さく機の先端が通常くい本体よりある程度の長さ先にでているため、その差が高止りすることが考えられる。ただしこの工法の場合はくいとともに沈埋さしていくため、前記b、cのケースはない。

## 3．高止りは許容できるか。

原則的には高止りは許容できない。たとえわずかでも高止りがあれば、先端支持力が大幅に低下する恐れがあるからである。そのためには打撃や圧入によって堀さく深さまでくい本体を下げてやることが必要となるが、一方、このようにすることによってくいの損傷、設備の巨大化が起こるということにもなる。

そこで特別の対策を施した場合は、ある程度の許容値を採ることが可能となる。たとえば〔セメント・ミルク注入工法〕の場合、**図2**にあるように、支持層への根入れ長と根固め溶液の充填長の関係を多数の載荷試験結果から決め、高止り許容値を設けている。

## 4．高止りは予知できるのか。

プレボーリング工法のような場合、くいを挿入してみなければ高止りが分からないというのは大変やっかいな問題である。くいが短い場合は引き抜いて再度掘さくを行えばよいが、長くなると（とくに継ぐい）引き抜けなくなるし、またくいに損傷を生じる。これらの問題解決にはいろんな手法があると思われるが、「セメント・ミルク注入工法」の場合、筆者の考案した**図3**のような測定器を用いてこれが予知と対策ができるようにしている。この使用実績は相当数あって、一応好成績をあげている。これらの詳細については拙著「セメント・ミルク注入工法における高止り防止とその手法について」を参照せられたい。

いずれにしても、高止りについては慎重に考慮する必要があり、そのためには掘さく長、くいの挿入長などを正確に測定することが大切である。

（かいと　しゅんいち　大阪市港湾局技術部主幹）

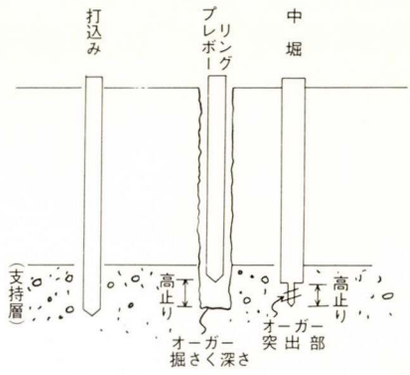
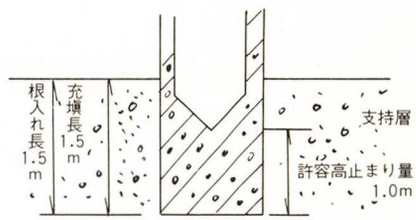



図1　高止り図




根入れ長 1.5m
充 填 長 1.5m
} の場合は、
いずれも0.5mの挿入を考えると、
根入れ長からは1.5－0.5＝1m
充填長からは　1.5－0.5＝1m
で許容値は1mとなる。

図2　高止り許容値

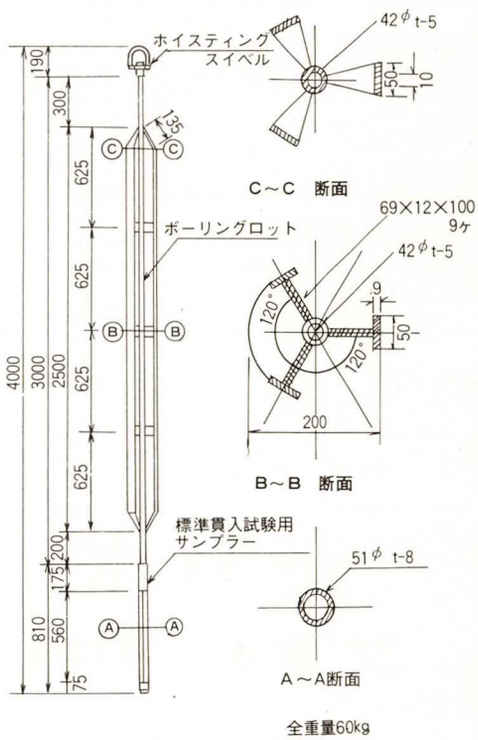



図3　SK式高止り測定器

## 神戸建築設計事務所

水谷　巖・水谷長清・水谷忠清

神戸市灘区水道筋２－13　TEL078-801-3200代

株式会社　新井組

取締役社長　新井辰一

本社　西宮市池田町９～18

電話　西宮(26)3111(大代表)

〝創業65年〟信用と技術で奉仕する

株式会社　内藤建築設計事務所

代表取締役社長　内藤正克

小野市上本町２４０－４　TEL(07946)2-4757(代)
分室　西宮市高座町14－13　TEL(0798)26-3824

総合建設業

株式会社　大木工務店

本社　神戸市生田区下山手通３丁目32　TEL (078)321-1341代

支店／倉敷　　営業所／大阪

建築設計監理

一級建築士事務所

## 鳴瀬建築設計事務所

所長　鳴瀬敏雄

姫路市今宿字五反長1522－156　姫塗ビル３F

TEL　0792－96－2091

特定建設業

株式會社柄谷工務店

本社　尼崎市玄番南之町４番地　TEL411-1451代

営業所　大阪・西宮・神戸・高砂・豊田

建築設計・監理　土木設計・測量

株式会社　宮本工務設計事務所

事務所：宝塚市野上１丁目２－34（宮本ビル）

TEL (0797) ７１－０４３１～５(代)

株式会社　熊田工務店

●本社　兵庫県城崎郡日高町宵田205　07964-2-1085(代表)
●但馬支店　兵庫県城崎郡日高町宵田205　07964-2-1085(代表)
●神戸支店　神戸市葺合区琴緒町5丁目2-5　078-241-8888(代表)
●東京支店　東京都港区高輪町2丁目20-30桧山ビル2F　03-445-5227
●大阪営業所　大阪市北区牛丸町56　06-372-4571
●尼崎営業所　尼崎市塚口墓の前391-1　06-421-5173(代表)
●豊岡営業所　豊岡市三坂町220の1　07962-3-1533

株式会社　黒田建築設計事務所

代表取締役　黒田公三

〒650 神戸市生田区山本通１丁目35番地　東洋ハイツ

電話　神戸（078）241－４３１１(代)

甲南建設工業株式会社

代表取締役　原　精一

尼崎市南武庫之荘２丁目７番23号

TEL（06）４３７－９６３１(代)

綜合建設業

株式会社 粂井工務店

代表取締役 粂井弥平

豊岡市山王町11番3号 TEL (07962) 3－0555(代)

株式会社 森組

兵庫県加古川市加古川町粟津469-1（YKビル）

TEL (0794) 22-0181 (大代) 24-1311 (代) 〒675

総合建設業

株式会社 原戸組

本社 加古川市加古川町粟津471番地 TEL (0794) 23-5551

神戸支店 神戸市生田区海岸通1丁目5番地 TEL (078) 391-3771

株式会社 戎工務店

取締役社長 戎 良男

本社 神戸市灘区岩屋中町1丁目2番9号
電話 神戸 (078) (881) 0701～6番

設計部 神戸市灘区山田町3丁目1－15
六甲アトリエハウス
電話 神戸 (078) (821) 6427番

建築物の内外装吹付材・塗料・製造発売元

明研化学工業株式会社

本社 明石市藤江中谷町888番地 (078) 928-3456(代)

営業所 東京・名古屋・大阪・兵庫・高松・広島・福岡

出張所 仙台

総合建設業

関西建設工業株式会社

神戸市垂水区伊川谷町有瀬457

TEL (0789) 74－1441 (代)

衛生・空気調和・設計・施行

三神工業株式会社

神戸市葺合区磯辺通2-1-11 TEL (078) 231-1234代

営業所 大阪 加古川

建築設計・監理

株式会社 高橋建築事務所

代表取締役 柴田啓一

神戸市生田区中山手通2丁目107 大信ビル

〒650 TEL (078) 331－7955 (代)

建築・土木・電気配線・管・機械器具設置工事請負、設計

株式会社 明和工務店

神戸市生田区下山手通5丁目17-6 TEL (078) 351-0921(代)

総合建設業

株式会社 母倉工務店

代表取締役 母倉 次郎兵衛

本社 神戸市灘区徳井町2丁目1番8号
TEL (078) 841－0841 (代)

大阪営業所 大阪市南区鰻谷中之町25番地（玉置ビル）
TEL (06) 245－0674

姫路営業所 姫路市玉手360番地
TEL (0792) 34－2507

# 都市設計資料 ―17―

## 《都市にコモン空間を》

### ――都市計画にコモン思想を――

神戸都市設計資料研究会

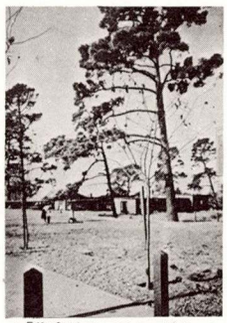
最近、コモンスペースとか、コモングリーンといった言葉で、コモン(Common)という概念が使われだしてきている。一方、建築においては、セミパブリック・スペースとかいわれて種々検討されてきているが、広場など土木構造物の地域利用を考えた場合、このコモン概念は重要と思われる。また、単に土木構造物にとどまらず、都市計画の分野において、コミュニティ育成の面から、また、地域住民の創意工夫を生かし市民主体都市を実現する手段として、また思想として、コモンという概念は非常に重要と思われる。現在の土木構造物や都市計画が、よりきめの細かい地域に根ざしたものとなっていくためにも、コモン思想をもう一度検討し、生かしていくことは意義のあることである。(稲毛政信)

## ■ コモンとは何か

コモン(Common)というのは、もともとヨーロッパにおいて、昔、農民が採草、放牧などに共同利用した入会地のことである。しかし、14世紀から19世紀まで続いた囲い込み(エンクロージャー)で、大半は姿を消し、今、主に都市周辺に残っているものは、急速な都市化で、オープン・スペースの重要性に目覚めた住民や、地方自治体等の努力で生き残ったものである。例えば、ロンドン郊外にあるウィンブルドン・コモンの場合は、約3万人の周囲の住民から、住宅の大小などに応じて年間14万ポンドの維持費を集め、約450ヘクタールの昔ながらの原野を所有し、管理している。コモンには公園と違って柵はなくどこからでも出入りでき、人々は昔ながらの自然を大切に管理し自然に親しんでいる。このようにコモンは全ての人に開放されており、住民は身銭を切って、シーザーの宿営地跡や、二百年前の風車なども保存している。

ヨーロッパには、このように公共とは一線を画して、自分たちで共同所有し、自然を育て文化遺産を守る、共同土地利用による個人の利益の享受の伝統が生きづいている。これもイギリスの例であるが、1895年に創設されたナショナル・トラストという国民的組織がある。美しい自然や歴史的環境が、見境いのない開発でこわされるのを心配し、市民の自発的な寄付金で、これらを守ることを決めて発足したものである。現在、会員は48万人、東京都の総面積の3分の2位の土地を所有し、美しい海岸線の自然や歴史的建造物や庭園といったものを保存し、一般に公開している。更に、「ネプチューン計画」と名打って、現在も美しい海岸線の保存に募金活動を続けている。

一方、このような伝統を踏まえてともいえるが、アメリカを始めとして、宅地開発の一つの手法として、コモングリーン(コモンガーデン、コモンスペースともいう)というものがある。コモングリーンというのは、形態的には、ある戸数の住宅を供給する場合、その各戸から土地を出し合い、共同所有し、共同利用するスペースのことである。アメリカのクロフトン(Crofton)という3,000戸の住宅地では、中央にゴルフ場を共同所有しており、750戸のパークウッド(Park Wood)の住宅地では、池や草地を共同所有している。あるいは、イタリアの3,000戸のカザール・パロッコ(Casal Palocco、「公園の中の家」という意味)という住宅地では、プールやテニスコートなどが、コモングリーンとなっている。このようなコモングリーンは、各個人では十分満されないレクリエーション施設の確保や、緑の保存をめざし、更に、その住宅地でのコミュニティ育成の一つの手段として成立したものである。また、近年における自動車交通の危害(排気ガス、騒音、交通事故など)に対する安全な住宅地形成、更に道路率の低下による宅地の効率的利用をめざすものとして、一つの宅地開発手法となっている。



▲「住宅地のコモン・グリーン」ニューヨークにある住宅地のコモン。(都市環境の演出)

このようにコモンというのは、何もかも公共がやるというのではなく、それぞれの地域において各個人がお金を出し合い、共同利用の土地や施設を持ち、使用していくことといえる。特にこの中で、コモンが地域住民の自発的な組織や活動と結びつくところに、現代的意義が大きいと思われる。

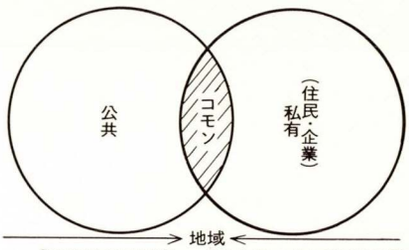
## ■ 日本におけるコモン

日本においても、いわゆるコモンと同等のものとして、入会地、入会権が存在した。入会権というのは、日本の古来の地方慣習として発達したもので、村落の住民が一定の山林、原野、池沼などを共同して使用し、収益し得る権利のことであり、村落においては、現在も生き続けている。

一方、町においても、昔は、道路が町の組織上の要であり、構成員の共有のものであった。木戸によって道路を開閉し、町の防衛をはかったということもあるが、その中で子供たちは遊び、主婦は炊事や洗濯に井戸端会議の場として使う共同の庭であった。京都などでは、道路をはさんで住民組織ができていたことによっても明らかである。このように道路が共有的であったが、更にコミュニティの成立を背景として、町全体が共有的空間として意識されていたと考えられる。すなわち、「私の土地」と「私たちの土地」で町がとらえられていた。しかし、町の空間に見られるこの共有性は、近代化に伴って次のように分解していっている。それは、共有的な空間が「お上の土地」と「私の土地」の二つに分解されてしまった。つまり地域における共同体という一つの統合体が、より高位の国や地方公共団体という公共機関と、低位の私的個人、法人へと分解してしまい、地域における共同所有形態が捨て去られてしまった。このことが、現在日本の都市におけるコミュニティ崩壊の原因でもあり、結果だともいい得るが、この大公共と個人(私有)をつなぐ中間のものが、コモンといえるだろう。そういった意味で、日本の都市を眺めて見ると、徐々にではあるが、この一旦崩壊したコモン、すなわち大公共と個人をつなぐ中間のものの芽生えが感じられる。それは一つには、本来のコモンの意味になるが、地域の住民が少しずつお金を出し合って土地を所有し、共同利用すること、つまり、「私有地の共同的地域利用」(私有地の公共化)が行われつつあるときうこと。更にコモンの意味からは若干離れるが、公共用地において、国や地方公共団体という大きな単位ではなく、近所の人が集まって、地域で何かをやっていく、土地を管理していくといった実質的に地域の共有地となっているものが現われてきている。つまり、「公有地の地域化」(公有地の私有化)とでもいえるだろう。

■ コモン概念図

「地域での公共と住民と企業の協力」




「公有地の地域化」「私有地の共同的地域利用」

## ■ コモン思想の実例

**1) 私有地の共同的地域利用**

イ、共同住宅の土地所有

アパートに代表される共同住宅は、各戸が土地を所有するのではなく、共同で土地を所有し、遊び場などにみんなで使っている。特にマンションなどに見られる分譲のものにおいては、完全なコモンといえる。公営住宅などの賃貸のものにおいても、その土地の使用は共同のものとなり、共同管理が行われている。また、最近テラスハウスやタウンハウスなど接地型の住宅地においても、コモングリーンやコモンスペースが次第に造られてきている。

ロ、商店街の広場、催し場

くずはモールの汽車の広場や、神戸元町商店街のレンガ舗装など、商店街の各店が資金を出し合って公共の空間を生み出し管理している。こういったコモン空間のより積極的な拡大が望まれる。

ハ、神戸市丸山地区のコミュニティ活動

丸山地区では、数年前より地区に遊び場が無いことを憂慮し、空地所有者に土地の提供を頼み、廃品回収や住民総出の勤労奉仕により、住民自らちびっ子広場を生み出し、現在数ケ所に及んでいる。更に、地区に集まって活動する場のないことから、コミュニティ・ボンドを発行し、地域住民が買い取ってコミュニティ会館の建設まで行っている。このちびっ子広場やコミュニティ会館も、丸山地区のコモンといえる。

ニ、神戸市婦人団体協議会の神戸市催の引受け

昭和50年の12月から、51年の初めにかけて行われたこのことは、長年にわたる協議会の地道な市政参加への努力の表われともいえる。折しも石油危機に端を発した財政悪化のなかで、協議会が個人の資金でもって、神戸市財政の一端をになったことは、単に義務的な税金を納めることとは違い、神戸市民としての連体感によるものと思われる。私の資金を公共的に使ったという意味で、広い意味のコモンといえるだろう。

ホ、生活協同組合

前述の件をコモンとするなら、灘生活協同組合などに見られるような組合もコモンといえるだろう。

ヘ、神戸市市民公園条例

つい先頃、制定されたこの条例は、丸山地区のちびっ子広場と同様に、市民から土地を提供してもらい、市民自らが管理運営して楽しんでいただくというもので、行政側はその援助をするということになっている。つまりこの条例は、コモン作りの条例といえるのではないだろうか。更に、この条例には、「緑と花の市民協定」があり、市民が自主的に緑と花を育てる同志を集めれば、市が樹木や草花の供与などの助成をしてくれる制度がある。さっそく六甲山に「あじさい協定」が結ばれたそうであるが、今後が楽しみな非常に有意義な条例といえる。

ト、建築物のコモン

日本家屋の手法に、座敷と庭との間に置かれる縁側というものがある。縁側は、建物にも庭にも含まれるものであるが、そのどちらでもなく、内部と外部を結ぶものとして重要な役目をしている。この縁側の機能がコモンだともいえるが、町で考えてみると、昔は、かさが無くても各家の庇を伝って行けば家に帰れたといわれるごとく、建築物の庇もコモンといえる。現在、総合

設計制度において、公開空地を取れば容積率の緩和がされているが、この公開空地も一般の人々に使われるコモンといえる。更に建物のセットバックや緑化、美しい生垣や塀なども、一般の人々から見られる意味では、コモンともいえる。

このように本来建築物は、私有のものであっても、共同の道路に面するものであり、何らかの公共的寄与がなされるべきものと思われる。そういう意味で、日本の都市を眺めてみると、てんでバラバラに建てられた建築物の公共性、コモン性の無さが残念である。

**2）公有地の地域化**

イ、花壇コンクールの花壇

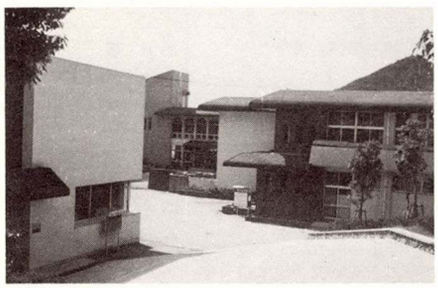
神戸市では公園や市営住宅地や道路などの市有地上で、付近住民の自発的なグループによる花壇づくりが行われている。公有地をより地域のものとしていく意味でコモンと言える。



▶「花壇コンクールの花壇」
道路のグリーンベルト上に住民によって育てられた花壇(市民のグラフ「こうべ」)

ロ、学校公園

アメリカのコミュニテイ・スクールに端を発した学校公園や学校開放は、学校を単に学童だけのものとせず、地域住民のコミュニティ活動の核としていくものとして、公有地の地域化の重要なものといえる。



▲「神戸市高倉台学校公園」　図書館、プール、体育館などを地域に開放している。

ハ、公園管理会

花壇コンクールに見られるごとく、付近住民が自分たちの庭として、管理し楽しむことは、重要である。こういった住民の親切な管理によって花が育てられ、公的管理では得られない質の高い美しい公園が育てられる。

ニ、河川の清掃

神戸の住吉川などでは、年に何回か付近住民によって清掃され、魚が放流されたりしている。河川は公共のものであるが、こういった活動を通じて地域の人々に親しまれ、うるおいを与えるものとなってきている。山口県の津和野では、各家の前の水路で鯉が飼われており、地域の人々のシンボルとなっている。このように地域の人々の協力のもと、公共用地の清掃や管理を通じて、より豊かな自然を育て、公有地を地域住民のものにしていくことが成されている。



▲「住吉川のクリーン作戦」　子供会なども、"清流の川"として親しまれている住吉川のクリーン作戦に参加している。(市民のグラフ「こうべ」)

## ■　コモンの意義

以上見てきたごとく、現在でも数多くのコモンが育ちつつある。そういったコモンの意義はどういうところにあるのか。まずこのことに入る前に、コモンに対する疑問点を検討してみる。

この疑問点の第一点は、「コモンというのは、コミュニティを育てる意味では重要だが、多くの人々と話し合ったり、いろいろ約束を決めたり義務が生じるので、やっかいものだ」とか、「日本では育たないのではないか」という点である。確かに日本人は公共心が弱く、公園をつぶしたりする面もあると思われる。しかし、現在徐々にではあるが、変わってきているのではないだろうか。それは前述の各種の例に見られるごとく、ほんの一部ではあるが、その芽が育ってきている。余暇の増大や戦後の人口都市集中も一応の落ち着きを見せ、現在人々は、自分の地域を中心とした環境問題へと感心が高まっており、住民運動も反対運動から創造的運動へと質的転換がなされようとしている。そういう意味で、社会的にもコモン成立の基盤が準備されているのではないかと思われる。しかし、やはりコモンは、地域住民の自発的運動を基盤とするものである以上、行政が与えるというのではなく、その芽を大切に育てていくようそっと見守り、行政側がその受け皿を適切に準備していくことが大切であろう。

更に第二の疑問点としていわれることは、「本来行政がやるべきことの下請ではないか」とか、「税金の二重取りではないか」という点である。確かに行政と民間はそれぞれどのような分担をすべきかは今後の課題である。しかし、コモンというのはあくまでも住民の自発に基づくものであり、住民主体によって行われるものであって、行政の下請とはならない。一方、行政も公共でやれる最大限の努力は怠ってはならず、こういった住民と公共の相互協力によって都市を住みよくするものといえる。そういった意味で、公共ではできないより質の高い利用が可能となり、きめの細かな管理がなされ、うるおい豊かな地域社会を築いていけるものである。

以上の検討を踏まえ、以下にコモンの意義をまとめてみる。

**1）コミュニティ活動の核**

住宅地を形成する場合に、自分たちのものだと感じる領域性が非常に重要であることが、「まもりやすい住空間」(オスカー・ニューマン著)で述べられているが、この領域性を生み出すのがコモンであるといえる。地域の人々で地域を共同使用し、地域文化を育てていく重要な場としてのコモンの意義は大きい。

**2）豊かな自然を育て得る**

公共の管理では十分育て得ない、花壇や小鳥を飼ったり、魚を育てたりといった質の高い自然を育て得る。更に住民の協力による量的拡大も図られる。

**3）都市の景観形成上の意義**

それぞれの地域での住民の創意工夫が発揮され、これまでの画一的な都市に対して、各地域で特色のある町が生みだせる。また、その土地独自のあったかい人情が都市に現われ、個々の建築物も地域へ貢献していくきっかけとなっていく。

**4）公共事業の地域的チェックを行う**

道路や埋立て事業に見られるごとく、これまでの公共事業は必ずしも地域社会に貢献じてきたとはいえず、そういう意味からも公共用地の地域化を通じて、地域住民による公共性のチェックを行うことができる。更に地域で未利用な公共用地の積極的な利用が行える。

## ■　更に積極的なコモンの育成を

以上検討してきたコモンを育てていくには、どのようなことができるか、以下簡単にまとめてみる。

**1）公有地の地域化の促進**

イ、学校公園や公園管理会などを育成し、公有地を更に地域で使いやすいものとしていく。また、地域からの要望に答えて、公有地を地域に開放していく。

ロ、道路の地域化を進める

幹線道路においても、パリのシャンゼリゼ通りやモスクワのカリーニン通り、更にニコレットモールのように、歩道と車道の比が1対1となる位まで歩道を広げ、地域の道路としていく。また、ヨーロッパ各地で行われている車締め出しによる歩道化、緑道化を促進する。あるいは、道路の随所にアルコーブなどを設け、道路にも地域環境の向上義務を与える。

ハ、フラワーポケットプラザを設ける。

神戸市民公園条例では、市民の土地を提供していただいて公園を造っていくものであるが、逆に、公営住宅用地とか学校とか公園といった公共用地の道路に面する一画にフラワーポケットプラザを設けてはどうだろうか。このプラザには、花壇を設け、椅子とかテーブルを置き、地域の住民組織に開放し、花を植えていただけば、本当に楽しい町となるのではないだろうか。

**2）私有地の公共化の促進**

イ、現在実施されている神戸市市民公園条例などを、更に多くの市町村で積極的に推進する。

ロ、住宅地においては、コモングリーンを積極的に取り入れることが重要である。タウンハウスなどに加え、独立住宅地においてもコミュニティ育成や緑化の面からもコモングリーンの設置が望まれる。

ハ、建築物の公共化

日本における建築物は、建築基準法などにより規制されているものの、地域計画的に改修し、建築物の公共化を図るという観点が非常に弱く、野放しといった状態である。今後、建築協定や公開空地の拡大推進、更に宅地開発指導要項の単体までの適用など、公共的規制の強化が必要とされている。また、一方では公共的にすぐれた建築物を表彰していくことも大切である。

ニ、企業による公共的寄与の増進

商店街における広場育成、事務所街におけるポケットプラザの設置、工場地域の緑化、各企業の運動施設の地域開放、更にはある地域で共に使える厚生施設の共同建設、港における港湾企業によるコモンスペースの育成など、各種の企業の協力と市の援助によって、もっと多くのコモンが生み出せるだろう。



▲医院のコモン・グリーン　カリフォルニア州スタンフォードの医院群の中央にある共用の庭。(都市環境の演出)

ホ、観光地におけるコモンの育成

有馬温泉などの観光地でも、個々の旅館がそれぞれ趣向をこらしているものの、全体としてはまとまりが無く、昔の情緒が次第に失われつつある。スイスなどでは窓辺に花を飾ることを義務づけたり、ホテルの色の制限までして風光の維持育成に努力している。日本でももっとお互いが協力していけないものであろうか。

**3）地域行政単位の育成**

以上述べた各種の試みを行っていくと同時に、行政も区の行政機能を高めていくといった地域行政単位の育成が望まれる。そして行政も企業も市民も、ある地域を良くしていくために知恵とお金と労力を出し合い、より豊かな社会をめざしていくことが大切である。特に行政においては市民の自発性を尊重し、各種の要望に答えていく努力が大切と思われる。


**参考文献**

(1)大谷幸夫「都市空間とコミュニティ」
東京電力「地域開発ニュース」1971.5(第49号)
(2)巽　和夫「公共性について」
「建築とまちづくり」1976. 8(新建築家技術者集団機関誌第16号)
(3)朝日新聞「ある自然」「今日の問題」1976.
(4)朝日新聞　木原　啓吉「3人からの出発」「美しい海岸線」シリーズ「歴史的環境」No.16　No.17
(5)住宅ジャーナル編「タウンハウスに取り組む企業」
「住宅展望、明と暗、緊急特集タウンハウス」1976.9

日本建築協会

# 月間の動き

## 昭和51年12月分

### 事業委員会

**酒蔵見学会打合せ**

1日　3時～5時　於西宮・大関酒造㈱本社
出席者　竹中工務店、滝華作業所長及市川幹事ほか1名
大関酒造㈱の見学現地打合せならびに見学依頼

**広報小委員会PR分科会**

1日　6時半～8時15分　於会館集会室
出席者　原見幹事ほか3名
議事　(1)第34回展示写真「大阪駅前第2ビル」の写真展示について
(2)第35回以降の写真展示について

**建築と音楽報告会**

2日　6時～9時　於ネスト
出席者　中島特別委員、森下副委員長ほか13名
当日の出席者数の報告と収録テープを聞きながら反省会を行った。

**広報小委員会PR分科会**

10日　6時半～8時半　於会館3階会議室
出席者　原見幹事ほか3名
議事　(1)「大阪駅前第2ビル」写真展示レイアウトその他について
(2)第35回以降の写真展示について

**樹の話(みどり)打合会**

16日　6時～9時　於会館集会室
出席者　森下副委員長ほか3名
議事　(1)出版図書の技術選書の内「建築と植栽」の執筆についての検討
(2)樹の話シリーズのテーマの調整

### 建築データシート委員会

**拡大企画分科会**

7日　12時半～2時　於会館集会室
出席者　井上・真塚正副委員長　酒井、岡本各幹事ほか5名
議事　(1)「建築データシート縮刷版」発行計画案について
(2)そのほか

**委員会**

10日　5時半～6時半　於志可
出席者　井上・真塚正副委員長ほか8名
議事　(1)No.58号(52年5月発行)の予定シートについて
(2)拡大企画分科会の報告
(3)そのほか
議事終了後同所において忘年懇親会を開催した。

### 編集委員会

**編集・広告企画合同委員会**

8日　4時半～7時　於会館集会室
出席者　中村委員長ほか6名
議事　(1)12月号＝設備からみた建築の問題点特集報告
(2)1月号＝デザインの動向―部分と全体特集報告および謹賀新年広告・作品新建築PR報告
(3)2月号＝兵庫県特集―兵庫の風土と建築・建築界特集報告
(4)3月号＝ニュータウンの管理特集報告および祝日本建築協会60周年「建築と社会」660号発行記念賛助広告・四つの建築事務所作品関連特別広告の件
(5)収支目標の件
(6)4月以降の企画

### 出版委員会

**委員打合会**

15日　4時～6時　於会館集会室
出席者　小林委員長ほか1名
近畿工高連盟から赤谷吉信氏ほか5名
議事　技術選書テーマについて

### 法規委員会

20日　3時～5時　於会館集会室
出席者　市川委員長ほか16名
議事　(1)府下市町村開発指導要綱一覧表の説明
(2)5月号法令特集の件
(3)確認申請業務のフローチャート

### 見学会

**南海、難波駅建設工事の見学会**

7日　2時～4時
参加者　39名
監理　南海電気鉄道株式会社
株式会社日建設計
設計　株式会社竹中工務店一級建築事務所
施工　株式会社竹中工務店・株式会社大林組
共同企業体

### 建築業務基準委員会

14日　2時～4時　於日本建築士会連合会
出席者　山根正次郎委員ほか
議事　(1)建築設計監理業務法(案)要綱について
(2)建築設備技術者の資格問題について

### 建築クラブ

**役員会**

9日　正午～2時　於会館集会室
出席者　塚本代表、八十島運営委員長ほか4名
議事　(1)2月以降の講師について
(2)忘年懇親会について

**忘年懇親会**

14日　6時～7時半　於大阪グランドホテル
出席者　110名
会員有志より多大の賛助を受けまた寄贈景品も多数に上り盛会を極めた。

### 12月の入会者(敬称略)

〔個人会員6名〕

大前　博司　　奥村　勇　　兼間　至公
古賀　哲　　竹林　美清　　山口　繁雄

## ■会員名簿の一部訂正について

昨年末発行いたしました日本建築協会会員名簿に一部記載洩れ、及び誤りがありましたので、ここにお詫び旁々訂正いたします。

◎記載洩れ、P8　名誉正会員の欄
青木茂雄、井上利男、小津利一、笠井正一、黒明澄夫、牧野忠、守谷茂、吉田光太郎、渡辺幸蔵

◎訂正

| | 誤 | 正 |
|---|---|---|
| P 9 | 梶本秀夫 | 梶本秀**尾** |
| P 18 | 赤谷吉信、勤務先<br>大阪市立工芸高等学校教諭 623-0485 | **大阪市立都島工業高等学校教諭921-0231** |
| P 22 | 井上　実　現住所<br>631 奈良市二名町城ケ丘1-193-9 | 631 奈良市二名町城ケ丘**1193-9** |
| P 42 | 太田英雄　現住所<br>639-02　奈良県北葛城郡香芝町大字関屋148-130 | 639-02　奈良県北葛城郡香芝町**関屋北3-1-32** |
| P 54 | 木村恒三　勤務先<br>㈱銭高組本店建築部営繕主任<br>531-6431・内105 | **泉エンジニヤリング㈱工事管理部**<br>**532-3388** |
| P 59 | 黒田　護 | 黒田　**譲** |
| P 63 | 児島幸造 | 児**玉**幸造 |
| P 71 | 芝山　昭　現住所<br>560 豊中市刀根山6-7-60 | 560 豊中市刀根山6-7-**50** |
| P 109 | 花岡芳昭　現住所<br>390-02　松本市大字里山池1438 | 390-02　松本市大字里山**辺**1438 |
| P 115 | 廣橋通夫　出身校<br>早　大 | **早大専** |
| P 118 | 藤内久登　勤務先<br>藤田建築事務所 | 藤**内**建築事務所 |
| P 120 | 古牧照康　勤務先<br>㈱大津設計名古屋事務所 | ㈱大**建**設計名古屋事務所 |
| P 150 | 和田得也<br>㈱藤木工務店工事課次長 | ㈱藤木工務店工事**部**次長 |
| P 157 | ㈱清田工務店所在地<br>723 広島市中広町2-14 | 723 **三原市和田町**6443-1 |
| P 157 | 近畿電気工事㈱<br>広島支社<br>取締役支店長<br>川崎軍一 | 広島支社長<br>**竹村通世** |
| P 166 | 飛島建設㈱<br>大阪支店<br>支店長　山本龍男 | **取締役**支店長<br>山本龍男 |
| P 170 | マツダ工業㈱電話<br>231-2597・2869 | 075-231-2597・2869 |
| P 171 | 三井建設㈱<br>常務取締役支店長<br>竹内慶久 | 常務取締役支店長<br>**滝口　開** |
| P 263 | 河内義就設計事務所<br>郵便番号 530 | 730 |

信用ある技術と伝統の

# アスファルト工事 専業大店

シート防水・ウレタン防水・シングル葺工事

## 株式会社 久保商店

大阪市北区真砂町5番地　T.E.L. 06－364－0206 代表

室谷

## 内装不燃材

室谷商事株式会社

本社　神戸市生田区北長狭通4－1　(英和ビル)
電話　神戸(331) 0881～3
支店　大阪市北区絹笠町50(堂ビル5階 502号室)
電話　大阪(364) 2031～4
倉庫　神戸市葺合区八幡通1－5(電話221 2923)




鉄壁の守り
奥山式・熱工法・冷工法総合防水層

創業50有余年、当社では製品製造から責任施工までの一貫した作業システムにより、漏水原因を克服した理想的な総合防水層を完成させました。

●奥山式総合防水層の特長
継目がない／温度変化による伸びがない／腐らない／柔軟性に富んでいる／耐候性に優れている／製品及び施工技術が優れている／完全絶縁工法で施工出来る

## 奥山化工業株式會社

本　社　東京都中央区銀座8-4-11　電話03(571)2703

## カッパー防水帯
## コーパータイト
## オクロン防水帯
新工法プレノテクト吹付工法

●お申込次第カタログ進呈

厚木出張所　厚木市金田字宮畑 2 5 9 電話0462(21)6092
大阪出張所　大阪市都島区都島中通り2-3-1 電話06(921) 2497
名古屋出張所　名古屋市南区若草町3－3 電話052(811)3660
九州出張所　佐賀県諸富町 電話0952(47)2945

防火・防煙から避難装置まで
建築防災の総合メーカー

豊かな経験
最新の技術

## 東洋シヤッター

東洋シヤッター株式会社

本社：大阪市東区両替町1－12 日生ビル　☎ (943)6571代表
東京・横浜・盛岡・郡山・水戸・浜松・岡崎・名古屋・富山・大津・京都・堺・神戸・広島・福岡他全国主要都市

空気調和・冷暖房設備
給排水・衛生設備　設計・施工

## 株式会社 朝日工業社

本　社　東京都港区芝松町1-25-7　電話（434)6171(大代)
大阪支社　大阪市淀川区加島1-58-59　電話（302)2271(代)
支　店　北海道・仙台・名古屋・広島・福岡
営業所　釧路・函館・盛岡・横浜・静岡・京都・神戸

---

空気調和設備
衛生設備 設計施工

## 三建設備工業株式會社

大阪支店　大阪市北区紅梅町65番地　電話（352)1131（代）
本　社　東京都中央区日本橋蠣殻町2－22　電話（667)3431（大代）
支　社　名古屋・仙台・札幌・広島・福岡・金沢・新潟・横浜

---

給排水・衛生
暖冷房・換気 設計施工

## 株式会社 大阪城口研究所

取締役社長　城口庸平

大阪市北区高垣町一　電話 大阪372局7151(代)
京都市東山区大和大路正面上ル　電話 京都561局4944(代)
神戸市生田区下山手通六ノ一　電話 神戸341局5892

---

空気調和・衛生設備 設計施工

## 株式会社 三晃空調

東京本店　東京都新宿区西新宿　新宿住友ビル　電話 03－344－1911
大阪本店　大阪市北区富田町16番地　電話 06－363－1371
支　店　名古屋市中村区下笹島町11－2　電話052－581－8571
広島市紙屋町1丁目2番22号　電話0822－47－4535
福岡市中央区大名2丁目4番22号　電話092－761－3795
出張所　横浜・福井・京都・神戸・松江・沖縄

---

電気・空調・衛生・防災・産業廃水設備
設計施工

## 大阪電気暖房株式会社

本　社　大阪市西成区江戸堀1－60〒550 電話(441)8231代表
支　店　大阪・東京・名古屋・仙台・金沢・広島・福岡
営業所　札幌・新潟・岡山・高松・熊本
出張所　盛岡・秋田・横浜・静岡・富山・福井・豊田・京都・神戸・鹿児島・那覇

---

――冷・暖房、衛生、機器配管、設計施工――

## 株式会社 清水工業所

本　社　大阪市大淀区南浜町3丁目14番地
〒531　電話 大阪（372)2851(代表)
東京支店　東京都中央区八丁堀4丁目11番7号
〒104　（神谷ビル）
電話 東京（551)8041(代表)
出張所　鳥取・群馬・宇都宮・君津
島根・福岡・松山・高松

---

空気調和設備
給排水衛生設備 設計施工
各種プラント設備
各種送風機・風力輸送装置
空調機器類・公害防止装置 設計製作

## 株式会社 カンダン

本　社　大阪市住吉区万代東6丁目3　TEL（672)1281(大代)
営業所　東京・名古屋・京都・広島・福岡　工場　和泉・名古屋
テレックス：本社 No. 562－7688　和泉工場 No 538－5898

---

## 新日本空調株式会社

大阪支店　大阪市北区堂島浜通1－25（新大ビル）
電話（06）344－6031（代）
本社・東京支店　東京都中央区日本橋本石町4-2(三井第二別館)
電話（03）279－5671（大代）
名古屋・九州・広島・札幌・東海村・北陸・大分

---

■給排水衛生　■冷暖房
■空気調和設備
■その他管工事一切の設計・施工

（旧斎藤久孝事務所）

## 斎久工業株式会社大阪支店

大阪支店　大阪市北区常安町11　電話 06－443－5041代
東京本社　東京都千代田区大手町2-6-2(日本ビルデング)
電話　03－270－7411代
営業所　札幌・仙台・千葉・名古屋・金沢・高松・岡山・福岡
出張所　福井・倉敷・広島・苫小牧

---

空気調和　衛生設備／設計施工

## 須賀工業

大阪市西区土佐堀通1-14　TEL 06-441-5171
支　店　東京・大阪・名古屋・京都・神戸・福岡
営業所　札幌・千葉・横浜・静岡・高松・広島
出張所　金沢

---

空気調和設備
給排水・衛生水道
電気設備
厨房

環境衛生施設
荷役運搬機械
化学鉱山機械

## 三機工業 株式会社大阪支店

取締役社長　各務節
取締役支店長　藤田初藏
大阪市東区北浜2丁目22番地　電話　大阪（202）代表3071
本　店　東京・日比谷・三信ビル
支　店　名古屋、福岡、札幌、広島、仙台、北陸
出張所　横浜、高松、静岡、豊田、、岡山、金沢

---

空気調和　地盤凍結　冷凍冷蔵

## 精研冷機株式会社

本　社　大阪市南区瓦屋町3番丁68番地(オートセンタービル2階)
郵便番号542　電話 大阪(06) 768－5031番
東京営業所　東京都千代田区九段南2丁目2番5号(九段ビル8階)
郵便番号102　電話 東京(03) 262－3241～4番

商品は空気です。



熱と空気のエンジニア
株式会社
**大気社**

●営業種目
空気調和設備／給排水衛生設備／塗装設備／公害防止関連設備の設計・製作・施工

本社・東京支店　東京都新宿区西新宿2-6-1 ☎03-344-1851(大代)　大阪支店 ☎06-203-3721(大代)　名古屋支店 ☎052-211-1535(代)　九州支店 ☎092-431-2147　営業所：札幌・仙台・横浜・広島・神戸　出張所：新潟・金沢・大宮・静岡・豊田・京都・岡山・松山・熊本・鹿児島・沖縄・バンコク

---

給・排水・衛生・消火・暖冷房設備

**株式会社 西原衛生工業所大阪店**

大阪市大淀区中津南通４丁目11　**電話大阪(458)3531番**
営業所　京都・広島・天理・福岡

---

温・湿度調整装置、暖房
冷房、水道、搬送機設備
設計並ニ施工

**第一工業株式会社大阪支店**

大阪市北区富田町３０　電話（364）６６６１（代）
本　社　東京都千代田区丸ノ内3-3-1(新東京ビル)
電話（211）８５１１・８５６１(代)
仙台支店　仙台市新伝馬町６０
電話（21）４４９１
名古屋支店　名古屋市東区東門前町３－６
電話（971）３６２１

---

温湿度調整・暖冷房・換気給排水・衛生設備
設計並施工

**日本管工業株式会社**

本社及京都支店　京都市南区西九条豊田町２０番地の１
電話(681) ５１０１～５・夜間専用(691) 1045
大阪支店　大阪市北区天満橋筋１－37(天満橋北詰)
電話（352）３５０１～３
四日市支店　四日市市浜田西末広町　電話㊲7431～3
滋賀営業所　大津市打出浜13－15　電話 0775 ㉒９７３８
津営業所　津市栄町２－１１１　電話 0592 ㉖３６１０

---

一般空調設備・恒温恒湿設備・冷凍冷蔵設備
冷却乾燥設備・環境改善設備その他上記に附帯する衛生、電気等一切の工事の設計・施工

**ダイキンプラント株式会社**

取締役社長 北川一郎
本　社　大阪市大淀区中津本通１丁目２番地 ホーコクビル
〒531　電話　大阪(06)372－5171(代表)
支　店　東京都中央区日本橋本町３の１ 共同ビル
〒103　電話　東京(03)242－5521(代表)
営業所　福岡・名古屋・広島・札幌・仙台

---

Carrier
**冷暖房はCARRIER キャリア**

東洋キヤリア工業(株)デストビューター関西地区
**日本冷熱工産株式会社**
本社及大阪営業所　吹田市豊津町４０番３８号
電話大阪（384）1201～7

---

空気調和・衛生設備　設計・施工　大阪ガス指定工事会社
ガス設備・ガス住宅設備　大阪ガス設備機器特約店

**大晃設備株式会社**
（旧三晃空調瓦斯工事部）

本　社　大阪市北区木幡町３４－２　電話 06－313－1846
ガス工事部・大阪営業所　大阪市北区木幡町３４－２　電話 06－313－1846
ガス工事部・枚方営業所　枚方市甲斐田東町９番３号　電話0720－49－2128
設備部・設備営業部・京都営業所　大阪市北区木幡町３４－２　電話 06－313－1846
枚方市甲斐田東町９番３号　電話0720－49－2128

---

**平山工業株式会社**

衛生・空気調和設備・設計・施工

大阪市西区江戸堀通２の２　TEL(441)㈹1994・(443)㈹0331

---

暖・冷房・空気温湿度調整装置
設計施工

**髙砂熱学**

大阪支店　大阪市北区芝田町55番地(北阪急ビル９階)
電話　大阪（372）２５１１　（代表）
本　社　東京都千代田区神田駿河台４丁目２番地

---

空気調和・恒温恒湿・冷凍・冷蔵
給排水衛生設備　設計施工

**不二熱學工業株式會社**

本　店　大阪市南区順慶町２－５０　電話 261－2436㈹
東京支店　東京都大田区西馬込１－２－１　電話 773－1231㈹
営業所　銀座・浜松・京都・神戸・福岡

---

MODAIR
空気調和設備
換気・除塵設備　設計施工

**東洋熱工業株式会社大阪支店**

大阪市西区京町堀４丁目　TEL(433) ８０７１
本　社　東京都中央区京橋２丁目９　TEL(562) １３５１
支　店　名古屋・福岡

---

空気調和設備・給排水衛生設備・上下水道施設
環境衛生施設・公害防止施設／設計・施工

**山田工業株式会社**

本社及管工事事業部　大阪市西区京町堀１－６－８ 電話06(443)8161(大代表)
環境装置事業部　大阪市淀川区三津屋南１－１－35 電話 06(308)1491(代表)
東京支店　東京都港区北青山3－6－18(共同ビル青山) 電話 03(409)8905・8973
名古屋支店　名古屋市中区栄２－16－13(京極ビル) 電話 052(202)0077(代表)
出張所　神戸・福岡・松山

電気・計装工事 設計施工

## 栗原工業株式会社

取締役社長 栗 原 信 英

大阪市北区高垣町16 東阪急ビル TEL06-313-1101
支 店 東京・名古屋・舞鶴・京都・天理
大阪南・神戸・広島・四国・九州

---

電気設備 設計施工

## 朝陽電気株式会社

代表取締役 山 本 博 三

本 社 大阪市北区中之島3－3 朝日ビル
TEL 大阪06（385）1361（代）
本社営業所 吹田市垂水町3－34－6
TEL 大阪06（385）1361（代）
京都営業所 京都市右京区西京極葛野町21
TEL 京都075（311）1185（代）
福岡出張所 福岡市中央区薬院1－14－8
TEL 福岡092（771）6168

---

電気工事設計施工

## 株式会社 三 興 社

代表取締役 林 敏夫

本 社 大阪市北区絹笠町50（堂ビル7階）
電 話（361）3671（代）
支 店 東京都中央区日本橋箱崎町3丁目2番地
電 話（671）1478（代）
出張所 川崎・相模原・堺・福山

---

電気設備工事設計施工

## 東光電気工事株式会社

### 大阪支社

常務取締役支社長 姉 川 正 男

大阪市東区高麗橋五丁目二八番地 電話大阪（202）0325～9番
本 社 東京都千代田区西神田1丁目4番5号
支 社 札幌・仙台・丸ノ内・名古屋・福岡
営業所・出張所 全国主要都市20ヶ所

---

電気・暖冷房・空調工事設計施工

## 三宝電機株式会社

取締役社長 嘉 納 伝 三

本 社 大阪市北区絹笠町50（堂ビル3階）
電 話（364）1471（代）
支 店 東京都港区新橋2－16（ニュー新橋ビル7階）
電 話（504）0231
支 店 名古屋市北区城見通2丁目20番地
電 話（991）5131（代）
営業所 神戸・堺・千葉・宇都宮・熊本

---

電気工事 設計・施工

## 中本電気株式会社

取締役社長 中 本 正 明

本 社 大阪市城東区成育三丁目五番十七号
電 話 大阪（931）代表7341～5
資材倉庫 大阪市城東区成育三丁目十七番一号 電話大阪(932)2869
奈良営業所 奈良県御所市御国通360 電話御所（2）0122
枚方営業所 枚方市山之上西町1の1 電話枚方(43)8659・(44)9232
神戸営業所 神戸市葺合区若菜通六丁目六番五号 電話神戸(241)5969

---

電気工事設計施工

## 太陽工藤工事株式会社

取締役社長 小 林 四 郎

本 社 大阪市福島区上福島北1－2
TEL(06) 452－1151(代)
電力工事本部 大阪市此花区恩貴南之町73
TEL(06) 462－1301(代)

---

各種電気工事設計施工・制御盤製作

## 野里電気工業株式会社

取締役社長 池 内 文 夫

本 社 大阪市西淀川区柏里町1丁目110番地
電 話 大阪・(472) 代表1101～7
支 店 東京都品川区西五反田6丁目25番11号（福島ビル）
電話話 東京（491）1746（492）0182・0350
営業所 北九州市小倉区鋳物師町23番地
電 話 小倉（56）5665・5818
出張所 群馬・千葉・和歌山・名古屋

---

電気設備設計施工

## 高千穂電機株式会社

取締役社長 岩 崎 久 雄

本 社 大阪市都島区中野町4丁目8－10
電 話 大阪（06）358－1171大代表
営業所 東京・神戸・九州

---

電気工事設計施工

## 富士電業株式会社

取締役社長 田 中 実

本 社 大阪市西区北堀江上通1丁目65
電話 大阪（538）1171代表
営業所 東京・名古屋・広島・福岡

---

電気工事・計装工事・設計施工

## 中央電気工業株式会社

取締役会長 今 村 騰
取締役社長 平 木 寛

本 社 大阪市北区梅ヶ枝町56番地
電 話 大阪 大代表（312）8881
支 店 東京・名古屋・四日市・神戸
営業所 松山

---

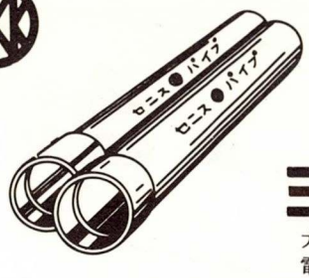
電気・計装・空調工事 設計施工

## ヤマト電気エンジニアリング株式会社

取締役社長 山 本 永 造

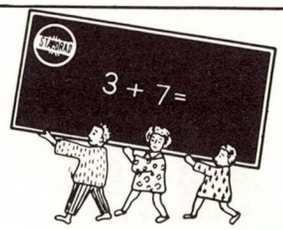
本 社 大阪市北区西堀川町15 TEL06－364－3056(代)
支 店 東京・神戸・広島・岡山
事業所 名古屋・岡山・札幌・苫小牧・浜松・滋賀
京都・高砂・三原・徳山・松山・新居浜・福岡・沖縄

奉仕感謝の店
タイル工事施工
株式会社 川岸窯業商店
本　社　大阪市西区靱本町２丁目98番地（靱本町バス停前）
電話　大阪 06(532)代0461　〒550
姫路営業所　姫路市北条口１２６番地（住友生命保険ビル７Ｆ）
電話　姫路 0792(82) 0999　〒670



トラフ・ヒューム管
ベンチレーター・マンホール
株式会社
三幸商會
大阪市北区与力町一ノ一〇
電話　大阪(358)　４０３１

営業品目　建設省認定の防火材料
セメント系吹付材　ソリジットスタイン　基材同等　０００３号
特殊リシン吹付材　エバウォール　基材同等　０００３号
アクリル系吹付材　エバーサンド　基材同等　０００４号
ヒル石吹付材　エバテックス　基材同等　０００４号
合同特許建材工業株式会社
本　社　大阪市東住吉区駒川町３－54　電話　(06)702－7814～７
東京事業所・名古屋出張所・高松出張所・福岡出張所

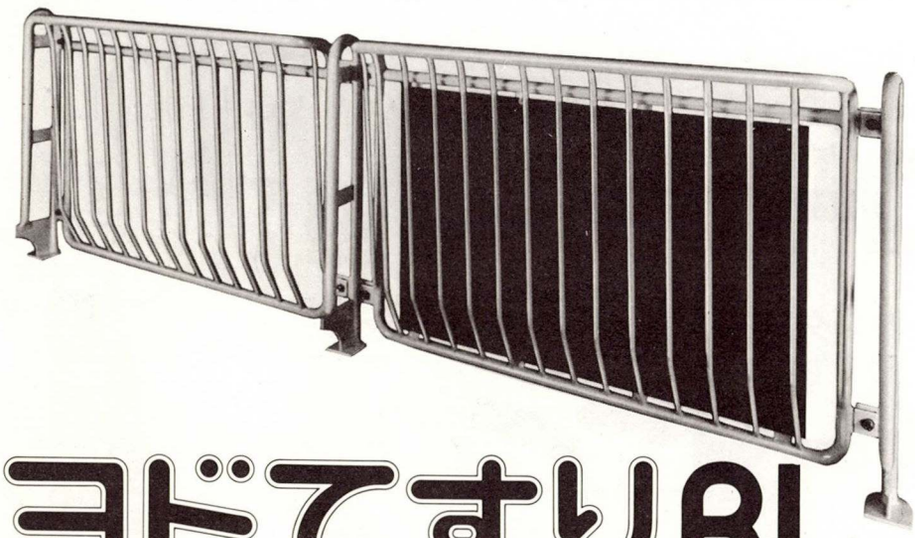


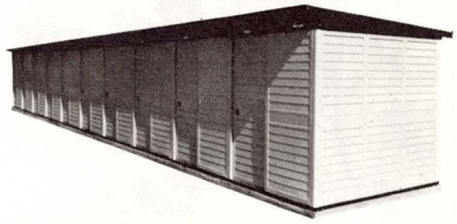
Standard Board&Slate
フタバ黒板
〒547　大阪市平野区加美北3－4－5　TEL 大阪06(792)5858㈹

内外装ホーロー建材及スパンドレル（ヨドウォル・ヨドスパン）
屋根折版（ヨドルーフ）販売及責任施工
サクラ建産株式会社
大阪市都島区都島中通２丁目１７番４号
電話　大阪(922) 代表4421～３

株式会社矢橋大理石商店
大阪支店
大阪市東区高麗橋２丁目９　野村ビル5階　電話 大阪(202)4905

性能はBL認定が保証！
その上に画期的に簡単な新工法とおしゃれなデザインをヨドコウが加えました。


ヨドてすりBL


ヨド物置 連続型

ヨドユニットバスルーム

ヨドコウ 淀川製鋼
本　社　大阪市東区南本町４丁目36番地　〒541 ☎(06)245—1111
東京支社　東京都中央区八丁堀4丁目3番地1号（京橋高市ビル）〒104 ☎(03)551—1171
営業所　札　幌(251)4777・盛岡(38)8111・仙台(25)7891・新潟(28)3784・千葉(43)0925
東　京(551)1171・横浜(641)9123・高崎(61)1281・静岡(53)0019・富山(32)2804
名古屋(571)2421・大阪(245)1201・広島(48)2431・高松(34)3611・福岡(781)6035
宮　崎(53)3161

資料請求券
建築と社会

# コーキングパテ

ウヅラ印



## 柏原瀝青株式会社

本社工場　大阪市西淀川区御幣島東２ノ５　電話大阪(471)1493～4・8267
第二工場　大阪市西淀川区御幣島西３ノ99　電話大阪(471)　０４２６

# パテタイル


全国で好評の……新興の内外装壁材を！

インテリヤ…カラーストーン…研出し仕上！
（旭化成ミュールコート・セット品）

## シンコーストーン

いつも美しい　ワンタッチ…洗出し仕上…

## ミュールストーン

（旭化成ミュールコート・セット品）

純日本壁の最高峰

ヤマト 聚楽

吹付…に
塗付…に
完全耐火
} 主材 石綿

● 全国有名建材店へ御問合せ下さい　● カタログお送りします

（株）新興建材工業所
大阪市西区南堀江通６丁目39番地　TEL大阪(538)2951～5・(541)5757～9
営業所　東京・高槻・明石・姫路・四国・中国

発売元

新興壁材工業（株）
大阪市住吉区粉浜本町４丁目２６番地　TEL 大阪（672）１６６１～３

（株）九州新興建材工業所
福岡市博多区上牟田八田町２６の１　TEL 福岡（41）５２２５～６

# 日進式 簡易間仕切 ディオ

オフィスでは人員の増減やシステムの改善等で，オフィスレイアウトも流動的です。取付，取はずしが簡単なディオは時代の要求にマッチした新しい簡易間仕切です。軽くて，剛性のあるディオパネル(イソバンド36)の表面は0.5%の塩ビ鋼板で構成され，美しい室内感覚を出しています。
(PAT.6件)

## 奥村重兵衛株式会社

本社 大阪市北区伊勢町22番地 〒530 電話(06) 312－4131(代)
東京 東京都港区新橋4－2 第29森ビル 〒105 電話(03) 437－3361(代)
福岡 福岡市博多区住吉2丁目16番27号 〒812 電話(092)291－0459(代)
名古屋 名古屋市西区倹町2丁目1番6号 〒733 電話(052)522－5436(代)
広島 広島市舟入本町19番13号 〒733 電話(0822)91－1533(代)
仙台 仙台市燕沢字西山5の18 〒983 電話(0222)52－2631(代)

年中見ていただける 皆様の見本室

## タイル 常設展示場

AM. 10.00～P.M. 5.00
日曜・祝日は休館

全国タイル展示協会
大阪市北区南森町46番地
八千代ビル南館2F
TEL (06)364－2059




好評発売中!!

新版 **建築工事検査の実際**
亀田泰弘監修
現場に即した試験・検査の技術を思切っていねいに解説した初の工事検査方法指導書で，技術の急速な進歩に伴い全篇にわたって新しく書き改められ，一層充実した内容のものとなっている。
■上巻 B5判・453頁 ¥6,000・送料¥250
■下巻 B5判・534頁 ¥7,000・送料¥250
上下揃 { 都内送料 ¥350 / 地方送料 ¥500

各種建築構造の計画・設計に役立つ実用便覧
**建築構造計算資料集**
中川 淳編著 全8巻
1 鉄筋コンクリート構造編① B5判・188頁 ¥2,500(送料¥200)
2 鉄筋コンクリート構造編② B5判・212頁 ¥3,000(送料¥200)
3 鋼構造編① B5判・225頁 ¥3,200(送料¥200)
4 鋼構造編② 近刊

増補改訂版 生活環境造りに好個の設計資料
**住宅団地の造園施設**
冲中 健著 B5判 ¥1,600(送料¥200)

快適な住環境を造成する為の技術資料
**住宅団地の土木設計**
小池正次著 B5判 ¥1,600(送料¥200)

コンクリート技術に関する好適の実務書
**実用コンクリート技術**
森茂二郎編 上巻 B5判・360頁 ¥3,200(送料¥200)
下巻 B5判・414頁 ¥3,600(送料¥250)

設計・施工に必要な接着工法の決定版
**建築の接着工法**
西 忠雄監修 B5判 ¥3,000(送料¥280)

月刊 **建築技術**
建設省建築研究所監修
年間購読料 ¥8,400(送料含む)
〔2月号〕 定価¥700

●ジェットパイル工法と実施例……八尋暉夫
●1976年・中国の地震……三東哲夫
●無機高分子材料の建築への利用……梶原鳴雪
●HPC工法による防水工法……大平昌男
●材料・施工の話題"配筋"……井上博ほか
●構造設計の考え方……村山実ほか
●環境建築の思想(6)厳粛なる自然……瀬尾文彰
●設備ユニットの問題点と今後の動向(6)……須貝 高
●構造計算データシート(46)……構建設計研究所

〔特集号案内〕
●軟弱地盤と建築……49年6月号 特価 ¥1,000
●中小規模の鉄骨建築・配筋の要点……51年1月号 特価 ¥780
●躯体生産技術の向上をめざして……51年4月号 特価 ¥780
●建築と接合……51年7月号 特価 ¥1,300
●住宅部品システムの普及……51年11月号 特価 ¥1,400

〒160 東京都新宿区北新宿1-8-1中島ビル8F
☎03〈363〉4211(代) 振替口座 東京0-72417番
有限会社 建築技術

特許・耐酸被覆鋼板
耐久建築屋根・外壁材料

# オリエンタルメタル

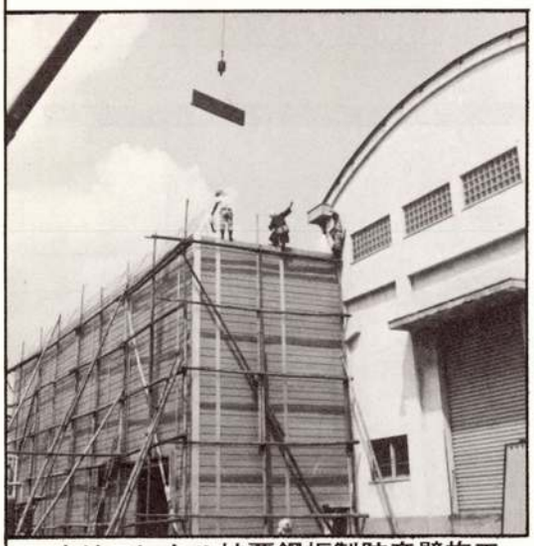
錆びない！
われない！
燃えない！

長尺物・色彩自由・責任施工

品種　オリエンタルメタル（O.P.M）
オリエンタルスーパーメタル（S.P.M）
オリエンタルスチールライト（S.T.L）
カラースーパーオリエンタルメタル（C.S.P.M）

波板規格　S小波　S大波　V波　ボックス波　Wジャンボ波　Vデッキ

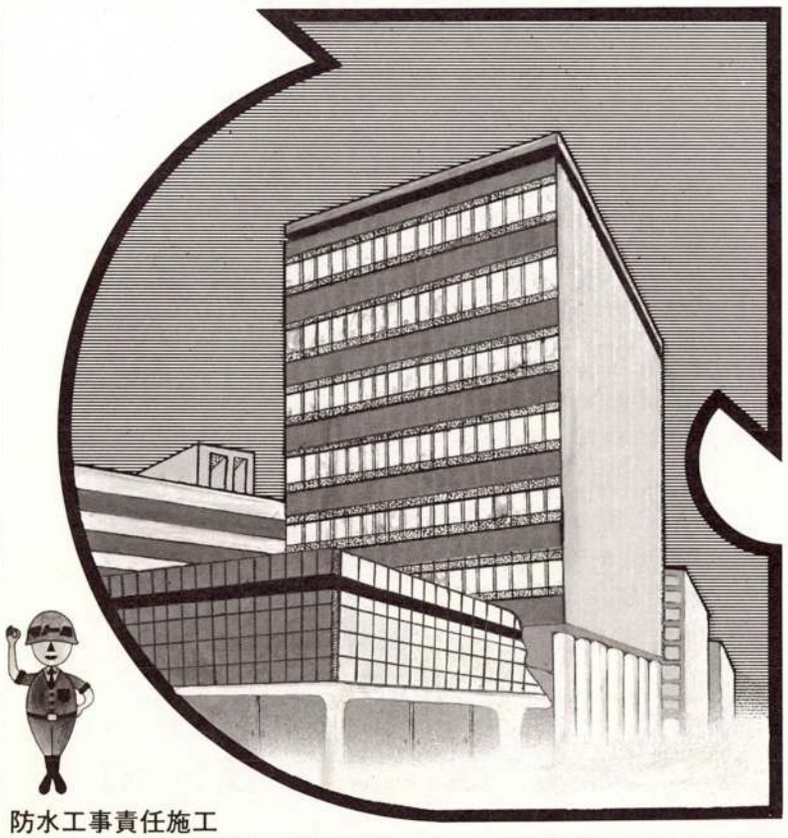
用途　平板・波板・棟包・雨押類・谷樋・竪樋・軒樋
ホーンタイト（防音壁）
換気装置〔モニター・ベンチレーター・ムーバー・エキゾスター（強制）〕


オリエンタル被覆鋼板製防音壁施工

## オリエンタルメタル製造株式会社

| | | | |
|---|---|---|---|
| 本社 | 兵庫県尼崎市昭和南通り3—26松本ビル | 電話 | 大阪(412) 5131代表 |
| 営業本部 | 兵庫県尼崎市長洲稲川新田44 | 電話 | 大阪(488) 1081代表 |
| 東京本社及工場 | 埼玉県蕨市塚越5丁目6番32号 | 電話 | 蕨 (42) 3115代表 |
| 大阪支店及工場 | 兵庫県尼崎市長洲稲川新田44 | 電話 | 大阪(488) 1081代表 |
| 九州支店及工場 | 福岡県遠賀郡水巻町頃末 | 電話 | 北九州(691) 2831 代 |
| 名古屋支店 | 名古屋市中村区泥江町1の24第2中経ビル | 電話 | 名古屋(581)2781 代 |

現場の信頼に応える


防水工事責任施工

## マノール製品

| | |
|---|---|
| セメント防水・防湿用 | 防水剤 |
| セメント急硬・止水用 | 急結剤 |
| セメント硬化促進用 | 早強剤 |
| セメント耐寒・防凍用 | 防凍剤 |
| コンクリート型枠脱型用 | 剝離剤 |
| ノロ湿潤型モルタル密着用 | 接着剤 |
| 塗布型モルタル密着用 | カプラー |
| 非加硫ゴムシート防水用 | ラバーシート |
| ウレタン弾性塗膜防水用 | ウレタン |
| 化学反応タイプ離型用 | リケーダー |
| セメント起泡・軽量・裏込用 | エスコート |
| 場所打抗モルタル混和用 | エアコール |

— セメント混和剤・助材綜合メーカー —

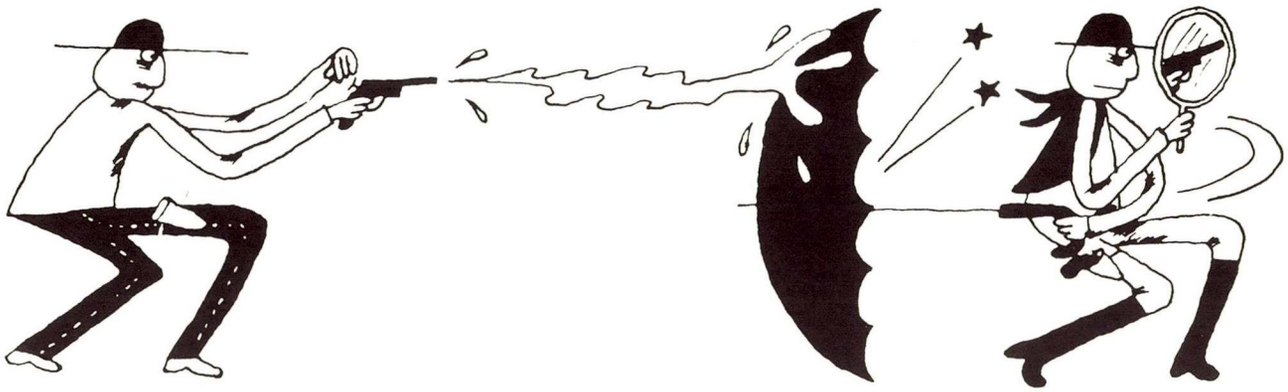
## 株式会社 油脂化工社

東京都品川区二葉1—18—8　☎東京(787)1131代表

| | | |
|---|---|---|
| 東北支店 | 福島市下野寺字遠原3—2 | ☎0245(91)1131代 |
| 関東営業所 | 茨城県土浦市大町14—3 | ☎0298(23)1131代 |
| 盛岡営業所 | 岩手県盛岡市月ヶ丘3—39 | ☎0196(45)1331代 |
| 大阪 | 大阪市東成区東中本2-17-26 | ☎ 06 (974) 1131 |

# 水に、スキをみせるな。

0.01ミリのスキ間でも、水は遠慮しません。〈日アス〉は、防水工事ひとすじに50余年。この小さなスキ間との、長いたたかいを続けているのです。もちろん、○シグマートによるウエルドシステム○特殊絶縁防水工法（特許ストライプ工法）○メルタン防水工法などの技術と、完全責任施工・年限保証が私たちの強力な武器。――――全国90カ所にもおよぶ〈日アス〉ネットワークの、水もモラさぬたたかいぶりに、ぜひご注目ください。



| 地区 | 会社名 | 所在地 | 電話 |
|---|---|---|---|
| 北海道 | 日本防水総業株式会社 | 札幌市 | TEL (231) 7511代 |
| | 日本防水総業(株)旭川出張所 | 旭川市 | TEL (32) 0084 |
| | 日本防水総業(株)釧路出張所 | 釧路市 | TEL (23) 2056 |
| | 日新建工(株)札幌出張所 | 札幌市 | TEL (221) 5015 |
| | 大和工業(株)苫小牧出張所 | 苫小牧市 | TEL (34) 3358 |
| 東北 | 日新建工(株)仙台支店 | 仙台市 | TEL (62) 4101代 |
| 関東 | 伊藤建材株式会社 | 東京都台東区 | TEL (842) 1431代 |
| | いわき建材工業株式会社 | 東京都中野区 | TEL (385)8153・(389)4846 |
| | 春日工業株式会社 | 東京都荒川区 | TEL (802) 3871代 |
| | 金岡工業株式会社 | 東京都新宿区 | TEL (363) 4341代 |
| | 北原建材工業株式会社 | 東京都渋谷区 | TEL (462) 5341代 |
| | 木下工業株式会社 | 東京都墨田区 | TEL (634) 0821代 |
| | 協立工業株式会社 | 東京都港区 | TEL (433) 1961・8485 |
| | 大東スレート株式会社 | 東京都足立区 | TEL (883) 3131代 |
| | 東京瀝青株式会社 | 東京都荒川区 | TEL (803) 3481～3 |
| | トーフジ工業株式会社 | 東京都千代田区 | TEL (252) 5903 |
| | 日新建工株式会社 | 東京都荒川区 | TEL (803) 2411代 |
| | 日本綜合防水株式会社 | 東京都渋谷区 | TEL (403) 0171代 |
| | 野口工材株式会社 | 東京都渋谷区 | TEL (444) 3531代 |
| | 鵜田工業株式会社 | 東京都千代田区 | TEL (263) 4861代 |
| | 富士工材株式会社 | 東京都江東区 | TEL (634) 0161代 |
| | 藤瀝青興業株式会社 | 東京都中野区 | TEL (362)5697・(369)5697 |
| | フタバ興業(株)東京営業所 | 東京都新宿区 | TEL (208) 0256代 |
| | 北条瀝青工業株式会社 | 東京都江東区 | TEL (643) 3963代 |
| | マサル瀝青工業株式会社 | 東京都台東区 | TEL (842) 6311代 |
| | 大和工業株式会社 | 東京都荒川区 | TEL (802) 4751代 |
| | 瀝青建材株式会社 | 東京都千代田区 | TEL (861) 2706～8 |
| | 有限会社神守建材社 | 横須賀市 | TEL (22) 4288 |
| | 金港瀝青株式会社 | 横浜市 | TEL (421) 6521～2 |
| | 不二防水工業株式会社 | 横浜市 | TEL (231) 4461 |
| | 石田建材工業株式会社 | 高崎市 | TEL (22) 3301～3 |
| | 石田建材工業(株)大宮支店 | 与野市 | TEL (53) 1225～9 |
| | 石田建材工業(株)宇都宮出張所 | 宇都宮市 | TEL (35)2816・(34)8424 |
| | 瀝青建材(株)宇都宮出張所 | 宇都宮市 | TEL (22) 9737 |
| | 株式会社奈良屋商店 | 水戸市 | TEL (41) 5141代 |
| 信越 | 同和建業株式会社 | 新潟市 | TEL (45) 2251代 |
| | 同和建業(株)長野営業所 | 長野市 | TEL (27) 0298 |
| | 株式会社仙嶺 | 松本市 | TEL (58) 3187 |
| 北陸 | 有限会社折橋政次郎商店 | 高岡市 | TEL (22) 0999 |
| | 有限会社小島工業所 | 高岡市 | TEL (23) 0391 |
| | 島屋建設株式会社 | 金沢市 | TEL (42) 5151 |
| | 石橋建材株式会社 | 福井市 | TEL (23) 0775・0885 |
| | 協和建材工業株式会社 | 清水市 | TEL (45) 2221代 |
| | 三井工業株式会社 | 静岡市 | TEL (85) 9151～2 |

| 地区 | 会社名 | 所在地 | 電話 |
|---|---|---|---|
| 東海 | 三信建材工業株式会社 | 豊橋市 | TEL (45) 8211代 |
| | 大池建工株式会社 | 名古屋市 | TEL (211) 1885代 |
| | 重喜防水工業株式会社 | 名古屋市 | TEL (991) 0111代 |
| | 辰己防水工業有限会社 | 名古屋市 | TEL (501) 1401代 |
| | 中央建材工業株式会社 | 名古屋市 | TEL (761) 6181代 |
| | 東京建材工業株式会社 | 名古屋市 | TEL (411) 6621 |
| | 東海物産株式会社 | 名古屋市 | TEL (721) 2211～5 |
| | 日本建材鋼業株式会社 | 名古屋市 | TEL (571) 5541～4 |
| | 宮崎建材株式会社 | 名古屋市 | TEL (331) 1531代 |
| 近畿 | 池田瀝青工業株式会社 | 大阪市 | TEL (699) 5757～9 |
| | 株式会社神原商店 | 守口市 | TEL (909)1433・(908)1282 |
| | 清水興業株式会社 | 大阪市 | TEL (372) 0250～3 |
| | 日新工材株式会社 | 大阪市 | TEL (541) 3785～6 |
| | 日新建工(株)大阪出張所 | 大阪市 | TEL (541) 1607～8 |
| | 日本綜合防水(株)大阪支店 | 大阪市 | TEL (361) 0471～5 |
| | フタバ興業株式会社 | 吹田市 | TEL (385) 2781代 |
| | マサル瀝青工業(株)大阪営業所 | 大阪市 | TEL (303) 0241代 |
| | マルエス工業株式会社 | 大阪市 | TEL (458) 4841～3 |
| | 有限会社丸藤商店 | 大阪市 | TEL (351) 2150代 |
| | 久下商店 | 京都市 | TEL (311) 2044～5 |
| | 東洋建材株式会社 | 京都市 | TEL (361) 9171 |
| | 中村瀝青工業株式会社 | 神戸市 | TEL (341)5884・1223 |
| | 棚田建材有限会社 | 神戸市 | TEL (841) 3551代 |
| | 有限会社ミサキ商会 | 和歌山市 | TEL (22) 3922 |
| 中国 | 東中国防水工業株式会社 | 岡山市 | TEL (72) 1221代 |
| | 株式会社三洋技建 | 大竹市 | TEL (2) 5155代 |
| | 三和防水工業株式会社 | 広島市 | TEL (83) 3366代 |
| | 豊永建材株式会社 | 広島市 | TEL (61) 6371～3 |
| | 大和工業(株)広島出張所 | 広島市 | TEL (71) 4687 |
| | 株式会社巴商会 | 宇部市 | TEL (21) 0760 |
| | 和光工業株式会社 | 松江市 | TEL (38) 1321 |
| 四国 | 大三工業株式会社 | 高松市 | TEL (51) 6811代 |
| | 徳島大三工業株式会社 | 徳島市 | TEL (31) 4161代 |
| | 株式会社マルマス河野商店 | 今治市 | TEL (32) 5000代 |
| | 株式会社山本商会 | 松山市 | TEL (31) 6261代 |
| | 大三工業(株)高知支店 | 高知市 | TEL (45) 4800代 |
| 九州 | 安藤工業株式会社 | 福岡市 | TEL (561) 7012代 |
| | 加茂装備株式会社 | 福岡市 | TEL (561) 6250 |
| | 日建工材株式会社 | 福岡市 | TEL (741) 6665代 |
| | 株式会社工材社 | 北九州市 | TEL (371) 1468～9 |
| | 安藤工事株式会社 | 長崎県 | TEL (2) 2200 |
| | 株式会社大二商会 | 宮崎市 | TEL (51) 6155代 |
| | 日新興業株式会社 | 延岡市 | TEL (3) 2455～9 |
| | 株式会社北原建材商会 | 鹿児島市 | TEL (23) 9395～6 |
| | 上原建設工業社 | 沖縄県 | TEL (09889)(2)2368 |

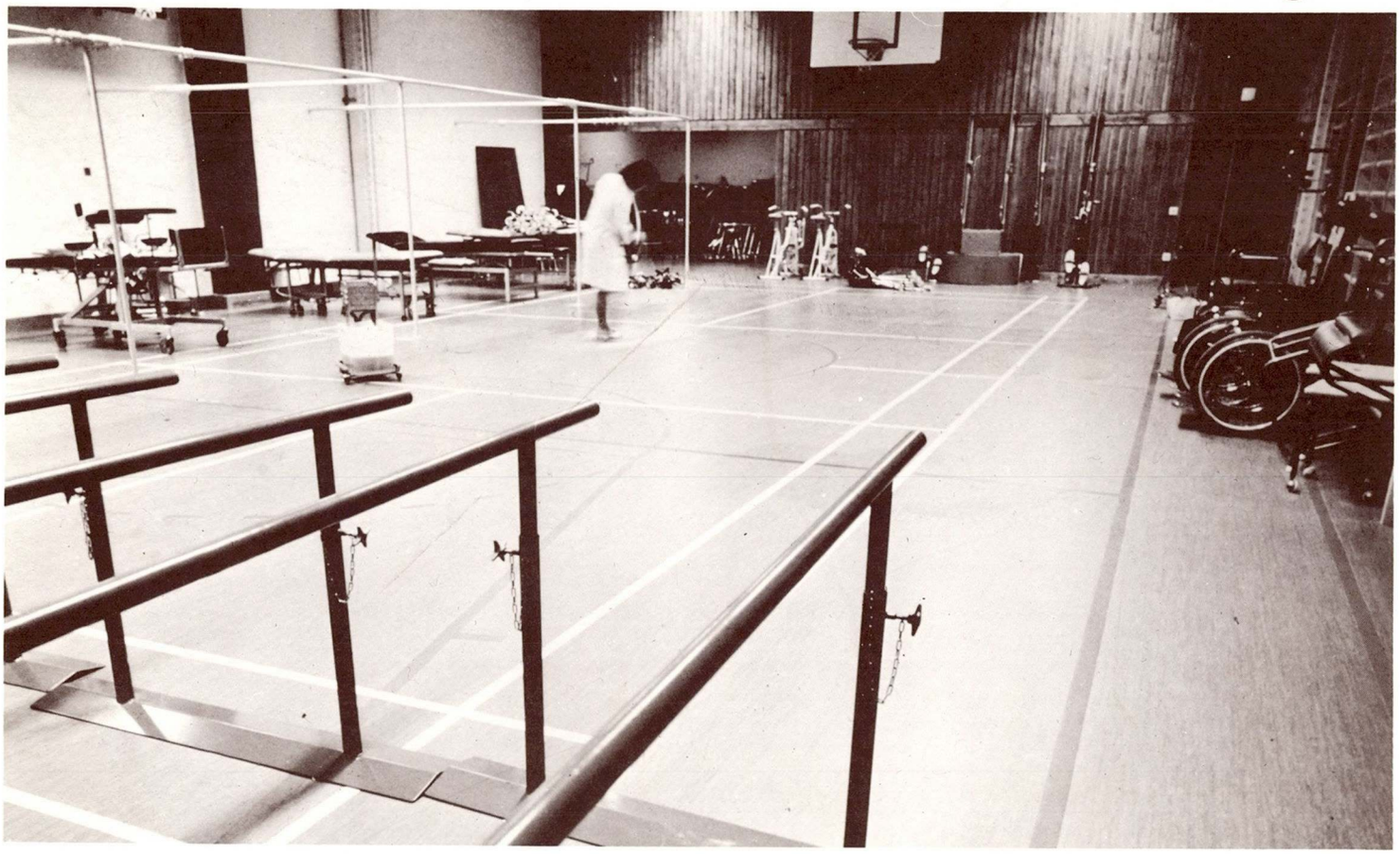
■建設省東計第240号認可

## 日本アスファルト防水工業協同組合

東京都足立区千住東2－21－28　　日新工業株式会社内　☎(882)2424大代
関東支部　東京都足立区千住東2－21－28　　日新工業内　☎(882)2424大代
中部支部　名古屋市千種区千種通り2-19(岐阜正ビル)　日新工業名古屋出張所内　☎(741)6257 代
関西支部　大阪市東淀川区瑞光通り4－30－2　　日新工業大阪支店内　☎(329)7737 代
九州支部　福岡市博多区博多駅前1－24－10　　日新工業九州出張所内　☎(451)1095 代

製造元／日新工業株式会社

# 福祉の国からやってきた。



スウェーデン生まれの公共床材 **アコスチフロア**（一般用） **ターケットジムフロア**（体育館用）

スウェーデン。社会保障が高度にすすんでいる国。病院、学校、老人ホーム、図書館、体育施設などのあらゆる公共施設が、もっとも充実している国。この人間中心の土壌から生みだされた、画期的な長尺床材、ことに吸音性、断熱性にすぐれたヒューマンな床材、これがアコスチフロア、ターケットジムフロアです。アコスチフロア、ターケットジムフロアは、その機能面、施工面における独特のメリットにより、北欧はじめ欧米各国の著名な設計者によって採用され、重要建築物に数多く使われています。そしていまや"世界の床材""新しい時代の床材"として高い評価を受けています。そのアコスチフロア、ターケットジムフロアが日本にもやってきたのです。

**●その優れた特長**

- □Acoustical——吸音性
- □Com fortable——快適性
- □Durable——耐久性
- □Safe——安全性
- □Hygienic——衛生的
- □Chemical Resistent——耐薬品性

**アコスチフロア／ターケットジムフロア規格、組成**

| 品名 | 規格 | 組成 | 色数 |
|---|---|---|---|
| アコスチ（一般用） | 厚 3.5㎜×184㎝×25m 幅 長 | 表層(80%) 塩化ビニール樹脂可塑剤、顔料、安定剤、充填剤 発泡層(20%) 塩化ビニール樹脂可塑剤 | 7色 |
| ジム（体育館専用） | 5.5㎜×184㎝×25m | | 1色（グリーン） |

価格…アコスチフロア—4,800円/㎡（材工共）
ターケットジムフロア—9,200円/㎡（材工共）
溶接—300円/m
} 300㎡以上

三星Pタイル
**田島応用**
TAJIMA OYO KAKO CO., LTD.

責任施工 **東西床協組**

大阪営業所 大阪市西区京町堀1-74 〒550 電話06(441)代表5951
東京営業所 東京都千代田区岩本町3-11-13 〒101 電話03(866)代表6101

建築と社会 ARCHITECTURE & SOCIETY 第58輯第2号
昭和52年2月25日発行（毎月1回25日発行） 昭和24年3月19日第3種郵便物認可
社団法人 日本建築協会 〒541 大阪市東区北浜3—37 電話大阪06(231)9648・9649・9640 振替口座大阪三九七五番
（表紙絵・小泉豊渡欧スケッチ） 定価六百円